當選の榮を得た人々（一）

高木德彌氏　中井忠三氏　高山孝行氏
李圭顯氏　古城梅溪氏　平山利治氏
肥塚正太氏　堀直喜氏　芮宗錫氏
澤田淸氏　金學濟氏　大村百藏氏
李康爀氏　韓翼敎氏　大垣丈夫氏

西班牙皇帝羅馬着

【羅馬十九日發電】スペイン皇帝及び皇后は十九日羅馬に來着し伊太利皇帝皇后より正式歡迎を受け直に宮廷に案內されたる後羅馬法王を訪問し最高の名譽を受けられた

電信電話線の保護
ケーブルの一大改良

【大阪電報】震火災による電信電話線の保護については當局に於ても種々研究中であつたが十八日歸阪した大阪遞信局大岩工務課長の齎すところ次の如し

今回東京に於ては右電信電話線ケーブルの完全なる防水火鋼管を使用する事となつたが此の鋼管は米人ロバートソン氏の發明に係るもので薄い鋼鐵板の兩面にアスベストとアスファルトの化合物を約二分の厚さに塗りつけ繼目も同氏發明の或種の藥品に依つて獨特の接法を施されたものであるが而も其の繼目はリベットで接合されたるより以上强固であるのみならず水一滴浸潤せぬので防水上にも極く氣合である遞信省工務課では更に耐火試驗の爲め大火壺にコークスを燃やし約一時間半火にのせて見た所表面が漸く人間の肌位の温みを感じただけで中のケーブルには何等の障碍を認めなかつたので今後橋梁添架のケーブルは全部この防水火鋼管で包裝する事になつた大阪でも殊に多い橋梁添架の各ケーブルに右の防水火鋼管の包裝を施す豫定であると

東京手形交換高

【東京電報】東京商業會議所調査にかゝる同所前週中に於ける手形交換高は枚數十一萬二千八百三十五枚金額四億五千八十五萬九千圓にして前年同期に比すれば枚數に於て八萬五千八百四十八枚金額に於て一億七千〇三萬六千圓を各減少した事になる

遞相內相を訪問
要件は埋設物整理

【東京電報】犬養遞相は二十日午前十時十五分外櫻田町內務大臣官邸に後藤內相を訪問し會談三十分間にして辭去したが右につき內相は曰く『今日犬養君と逢つたのは地下埋設物の整理に就て談合したのである電柱を地下線として整理するには一哩につき三十萬圓即ち四十哩で千二百萬圓を要する譯であるが今日の財政狀態では直に之を實施することは出來ぬ併し將來之を實施する爲めに今日其地盤を設備することは必要である尙新政黨樹立に關しては何等談合したことは無い云々』と

東京資金
預金十八億圓　貸出廿二億圓

【東京電報】東京手形交換所の調査にかゝる同所組合銀行五十行の前週末現在に於ける資金勘定は預金合計十八億二千四十五萬一千圓貸出金合計二十二億六千六百九十四萬五千圓、金銀在高一億一千百六十三萬五千圓にて前々週末現在に比し預金千五百三十七萬三千圓を減じ貸出に於て百二十八萬五千圓、金銀在高一千百三十四萬圓を各々增加した更に前年度同期に比すれば預金二百六十一萬三千圓貸出三億五千六百二十七萬圓を增加し金銀在高五百九十一萬二千圓を減少してゐる

大阪米肩替りと軟派の態度

【大阪電報】米市場は十九日後場引跡に於て軟將三木買ひに解合ひ成立の交渉が進められたが二十日朝先限り五萬石の付出し發表された而して右は內三萬石は山田が肩替りを爲し二萬石は地場强氣に買ひ米を爲し何れも後場止と云ふ値段らしく之が爲め問題視された軟派の兩まり玉も之れだけ減少した譯であるが同時に當限にも淸水野崎店より解合出來し付出しがあつたが是は双方來客筋の玉であると云ふ形勢非となり軟將續々陣容を亂して來たが而も兵庫筋と稱する山田は別項の如く三木の賣玉を肩替り自己賣立て六、七萬石を擁せるところへ斯かる態度に出たので昨今軟派の中心勢力として一般の注視を惹いてゐる而して同手筋は單に定期師と云ふのではなくて內外の正米を手廣く取扱ひ過去に於ても定期に負けて正米に出て巧みに利を拔き居れる例も多く殊に今次肩替りせるについては必ず確信ありとも見られてゐる

日銀帳尻（東京電報）

十九日の日銀帳尻は左の如し（單位千圓）

發行高		一、三二七、〇五三
比較	增	一、六〇三
內譯準備發行		一、〇六〇、八六四
比較	減	一一、九九
限外發行		九〇、一八九
比較	增	二、八〇三
貸出		四八五、一六四
比較	增	七七八

關東州阿片令問題
更に新案を作成されよう

【東京電報】原內閣時代樞密院に御諮詢あらせられ加藤內閣の末期に於て遂に撤回した例の關東州阿片令は目下外務省に保留しあるが當時の伊集院長官は外務省に相當反對ありたるも樞府の修正案に同意を表し改めて同院に御諮詢を奏請する等の處伊集院氏が外相となるや此の修正案に對し外務省少壯連に不滿を抱く者多く若し之を修正するに於ては樞府の反對あるを以て伊集院外相は目下苦慮中の由であるが結局新案を作製する事となるであらう

全國商議聯合會
震災後の産業問題を議せし
朝鮮よりの提案も附議せらる
大村京城商議書記長談

十一月一日より同四日迄名古屋に於て開會された全國商業會議所聯合大會に出席せし大村京城商業會議所書記長は此程歸任、東京方面に於ける會議の狀況及東名古屋に於ける朝鮮陳情委員の動靜に就き左の如く語る

名古屋に於て開催された全國商業會議所聯合大會は珍しく意氣の緊張した會合であつた各地より提案された議題は三十五件で震災後の産業問題に限ると云ふ事であつた初日は議題の說明質問に終り全部の議題を左の五部に分けて審査する事になつた

一、金融に關する件
委員長（福岡市都商議會頭）朝鮮よりの委員（京城大村仁川阪倉）

二、交通に關する件
委員長（神戸商議會頭）（朝鮮よりは加はらず）

三、産業に關する件
委員長（大澤京都商議副會頭）朝鮮よりの委員（京城陳ノ內）

四、帝都復興に關する件
委員長（山科東京商議副會頭）（朝鮮よりは出でず）

五、國費の節約に關する件
委員長（井阪橫濱商議會頭）（朝鮮よりは加はらず）

第一、日銀金利引下に關する件
右が最も喧しく理由とする所は日銀金利が今日の如き高步では商工業の不便を來すこと少からず各銀行は殆ど日銀を標準とする故に日銀金利の引下はやがて各銀行の引下げとなり金融經濟上好影響を來すことゝなるが然らば之を如何にして引下げるかといふことについて名案浮ばず終に東京、京都、大阪、橫濱、神戸の六大商業會議所が委員となつて調査を進めることになつて打切り次ぎに名古屋商議提案の

第二、日本銀行の保證準備の擴張を望むに移つたが懸案の理由は明治三十二年三月一億二千萬圓の制限外發行額を定めてから以來今日迄何等の擴張がない從來此制限外發行の勅發の爲め經濟界の動搖を招いた事は少くない、依つて金融の安定を期する爲右提案の實行を望むと云ふにあつて滿場一致を以て可決された、後は種々の議案多數なりしも煩を避くる爲め略して一案とすることになり即ち商工業資金疏通に關する件に一括したが其中朝鮮に關するものは『朝鮮滿洲に於ては其特殊銀行會社の機能を充分に發揮せしめ目下の金融緩和に貢獻せしむること』とし次に

商工業信用破壞防止に關する件に就て大激論が行はれ東京と大阪とが口角泡を飛ばして自己の主張を高調したのは實に痛快であつたが遂に否決に終つてしまつた商業に關する建議の內に朝鮮に於ける産業保護の要望を加へんことを提議したが朝鮮滿洲と雖も日本全體から見れば同じく一地方であつて特殊取扱の必要なしとの理由で打消されたのは返すぐも遺憾であつた

朝鮮に關する問題は諸君以上に考慮を拂ふ
との山本首相の言に一同力を得た
朝鮮協會々館設置は結構

名古屋の商議聯合會を終へて東京に出たが古城荒井の兩氏は一夜先に出京されたとの事で八日の夜にけ朝鮮商議聯合會の陳情委員も着京、宿舍は帝國ホテルに賴んで漸く夢を結ぶことが出來たが何分旅客が滿員で一室に三人乃至四人のザコ寢と云ふ有樣後から弓削さんも見えてホテルは大賑ひだつた、着京後は大に運動に努めたが

總て當路の諸公

其他有力筋共に朝鮮問題に就ては好感を持つて迎へて吳れたのは實に感謝の外なかつた有吉政務總監は非常に熱心で十一日には總監から呼ばれて是迄の經過、並に將來の採るべき方針等に就き打合せをなしたが事業公債に就ては全部打切りといふ當局の方針であつて朝鮮なるが故に繼續は出來ぬから打切りの外なしとし唯之が爲に人心の不安、事業の沈衰に付いて憂ふべきものあるより事業費として一千萬圓を得ることゝなり更に商議聯合會市民大會兩方の陳情委員が詳細說明を加へたので一層好感を買つた次ぎに市民大會の委員は首相の諒解を得ることに努めたが首相の答辯は朝鮮に關する問題は寧ろ諸君以上に考慮して居るとの事で大いに力を得た次第である。實際中央政府では每日閣議で而もそれが夜に入るので仲々會見が出來ず、各大臣の多忙さは實に想像以上であつた。商業會議所聯合會の委員が山本首相に會ふのに平壤會頭の福島君が首相の令息と懇意で知己であつたのを幸ひに令息を通じて漸く會へたと云ふ樣な始末であつた、前述の如く各要路大官が吾々の豫想以上に朝鮮に好意を表せられた事は眞に

喜ばしい次第である

併しいくら好感を持つて居ても背に腹は代へられず悉く要求通り許容して貰ふ譯には行かなかつたが唯有吉政務總監の骨折で朝鮮事情宣傳の爲に朝鮮協會々館の設立を見ることになつたのは喜ばしいことである

總督府圖書館長特別任用令
今日の閣議に附す

【東京電報】二十一日の定例閣議では同日午前中樞密院會議で決定さるべき朝鮮總督府圖書館長の特別任用に關する件を決定した後特別會計豫算の大正十二年度實行豫算並に十三年度豫算を附議する筈尙二十三日の定例閣議は新嘗祭の爲め二十二日に繰上げ帝都復興豫算を附議の豫定である

當選の榮を得た人々（二）

金允鎭氏　金錫泰氏　方奎煥氏
武上安一氏　竹內菊太郎氏　閔溶鎬氏
劉銓氏　福島淸一郎氏　李軫鎬氏
三上豐氏　服部豐吉氏　劉文煥氏

朝鮮鑛業界の變遷（一）
發展の基礎は年と共に鞏固を加ふ

朝鮮は、諸種の鑛物に富み從つて鑛業の起源頗る遠し、古代の鑛業制度に就ては文獻の徵すべきものなくして之れを詳にする能はざるも日本の保護國となれる以前に於ては李朝の施政亂脈を極め民智開けず資力乏しく百工委靡し鑛業は二三外國人の經營に係るものを除くの外見るべきものなかりしが日本の保護國となるに及び韓國政府は日本の忠言に聽き

時弊を匡救せむが爲

明治三十九年鑛業法及砂鑛採取法を發布したるが之れ朝鮮に於ける鑛業制度の一大變革である、爾來鑛業は漸く發達の緒に就き更に明治四十三年八月日韓の併合宣せられ朝鮮の政治的位置愈々安定するに及び鑛業は益々發展の域に向ひ大正五年舊法を廢し朝鮮鑛業令を實施するに至り鑛業に關する制度の完備と共に鑛業の保護益々厚きを加へた時偶々歐洲大戰の勃發に會し朝鮮の鑛業は一時空前の活躍を呈したるが戰後の需要減退と一般經濟界の變調とに依り現今甚だしき苦境に陷つたが之れ畢竟大飛躍後の沈靜にして以て常態となすべからず

靜かに過去を

考ふる時は鑛業發展の基礎は年を重ぬるに從つて其鞏固を加へつゝあるは否むべからざる事實である今併合後の鑛業一般狀況に付左に之を敍述すべし

一、出願 鑛業の出願は逐年增加し大正五年乃至大正八年の如き鑛物價格の昂騰と一般經濟界の好況とに依り一年の出願件數三千乃至六千件の間を上下せるも世界大戰の終熄以來鑛物市價の暴落に因る企業心沮喪の爲大正九年には出願件數一千百二十二件大正十年には一千二百九十一件に減少した內鮮外人鑛業出願の狀況は明治四十三年以降大正十年迄の出願總件數二萬三千三百七十四件の中內地人出願一萬四千五十四件朝鮮人出願六千百十六件にして外人出願は大正五年四月鑛業令の新規の許可禁止に至る迄の出願總數二百四件である鑛種別鑛業出願の狀況は金銀鑛の鑛業出願年々最多數を占む唯大正五年に於て『タングステン』水鉛鑛大正六年に於て黑鉛大正七年に於て石炭鑛業大正九年及十年に於て石炭が鑛業出願中の最高位を占めたるは戰時並に戰後に於ける經濟界の特殊事情に基くものにして一般に之を謂へば朝鮮に於ては將來と雖も金銀鑛が常に出願の首位を占むるものと推測するを得べく金銀鑛に亞ぎて出願の多きは黑鉛鑛石炭鑛等であらう

二、鑛區 鑛區に就いては新規に設定せらるゝ鑛區數逐年增加し最近に至りては一年五百乃至千を數ふるに至り從つて存續鑛區數亦增加し明治四十三年末現在七百四十鑛區に過ぎざりしもの大正八年末には二千八百五十八鑛區に達した、されど大正九年に至り鑛物市價暴落の影響を受け漸次減少して同年末現在は二千五百十五鑛區十年末には二千三百七十九鑛區となつた內鮮外人別所屬鑛區の狀況は逐年增加せるも外國人所屬鑛區は大正五年新規鑛業權享有を禁じた爲爾來漸次減少しつゝあり今其增減の狀況を示せば內地人所屬鑛區は明治四十三年四百五十鑛區なりしもの大正十二年には二千一十六鑛區となり朝鮮人所屬鑛區は明治四十三年二百四十九鑛區なりしもの大正十年に於て三百四十二鑛區となり外國人所屬鑛區は明治四十三年四十一鑛區なりしもの大正十年には僅に十一鑛區となつた

殖銀産業貸付金

十月中に於ける殖銀の産業公共貸出金合計は二百廿五萬四千二百九十一圓にして之が回收金額百四十六萬九千三百九十三圓差引純增十月中に於ける總貸出純增加額は七十八萬四千八百九十七圓である更に之を昨年同月末に於ける貸出高と比較すると約二千三百七萬二千九百六十九圓の增加にて今十月末現在貸出用途別を示せば左の如し（單位圓）

行政一、四一六、一二八、敎化三、六五三、九七六、衞生一、〇八二、三五三、水利事業一九、六九二、一六七、土地改良一四、七九二、四六三、農業一九、九〇六、四一二、林業一〇二五、九三七、鑛業七五二、三〇八、商業八九、八一〇、工業三、六六九、四六七、水產一、七五五、八二四、電氣瓦斯三三三、九一二、醸造一、〇二四、〇一八、土木四〇四、二七三、鑛業二五二、六七七、商業五、三三二、九五五、土地家屋九、一三一、八六九、負債整理五、〇八八、八七八、旱害救濟七八三、〇八三、其他四七六、八一〇、引受債券四六七、〇〇〇、別途當座貸越三、七一〇、七九六、普通當座貸越七、五八九、年賦貸付金四、〇四八、二四九、定期貸付金一三、三四三、一四九、合計一一八、四五七、九七四

京城府議選擧結果
投票總數九千三百二人棄權者二五六四人

京城府協議會員選擧は既報の如く二十日午前八時半より府內南大門小學校に於て施行五時半投票を締切り六時半開票（八時中間締め切り）十一時終了したるが當選者左の如し

四七四票	高木德彌
三一八票	中井忠三
三一二票	高山孝行
二八一票	李圭顯
二六九票	古城梅溪
二六二票	申昇均
二五九票	平山利治
二四六票	肥塚正太
二三七票	堀直喜
二〇一票	芮宗錫
一九八票	澤田淸
一九五票	金學濟
一九四票	大村百藏
一七八票	李康爀
一七六票	韓翼敎
一六六票	吳兢善
一六六票	大垣丈夫
一五六票	全聖旭
一五六票	金允鎭
一五四票	金錫泰
一四九票	方奎煥
一四七票	武上安一
一四六票	竹內菊太郎
一三三票	閔溶鎬
一二一票	劉銓
一一七票	福島淸一郎
一〇九票	李軫鎬
一〇二票	三上豐
九八票	服部豐吉
九七票	劉文煥

有權者總數 九、三〇二人（內地人四、三六一鮮人四、九四一人）投票數六、七三八人
無效票數 二二五、棄權者數二、五六四人、有效票數六、七三八人の內
次點者 八七票安藤靜▲八三票梅林卯三郎▲七八票曾我勉▲七六票元悳常▲同申章熙

總監歸任挨拶

有吉政務總監は中村秘書官を帶同し二十日午後三時昌德宮に伺候し李王殿下に對し歸任の挨拶をなした

大防コール引締り

【大阪電報】連日の資金東流と市內の手形動き遊金激減を來し出會ひ稍々難澁を見るに至り二十日のコール市場は割引三厘方躍進し翌日もの一錢七厘無條件一錢八厘となり從つて長期ものにも出手の緊張を促し月越無條件二錢二厘と二錢高を示し三十日物一錢九厘と一厘高に推移した而し六十日物及び手形は變らず

淸津稅關棧橋修理

【淸津】淸津稅關の棧橋は近來大分腐朽したので當局では根本的修理を企て目下著々工事中であるが總工費二千圓で從來のよりは約三間長く沖合（但し防波堤內）に突き出すのであるが當局では今年一杯に竣工せしむる手筈を取つて居る

茂山淸津直通電信

咸北道茂山は國境警備上主要の地で爲に市內電話の交換を開始したが地況益々發展の趨勢にあるので續いて遞信局では同地から淸津方面へ直通電信線を新設すべく計畫し工事中であつたが本月二十日竣成し直に通信を開始した

國協支部發會式

國民協會新義州支部は此程發會式を擧げ役員選擧をなしたが會員は二十五名で錦織府尹、神宮警察部長及び金虎聲氏を顧問となし總務に李圭鎔、金泰淳、梁周洪の三氏評議員に李昌□氏等八名幹事に金志益等五名が當選した

新義州郵便局移轉

二十一日附告示を以て新義州郵便局を大正十二年十一月廿一日より平安北道新義州府榮町に移轉す但同局に於ける電話交換事務は當分の內舊局舍にて之を取扱ふ旨公示

公會私會

◇志方樂天氏講演 十日入城以來市內各學校にて講演を續けつゝありし京都報德會幹事志方樂天氏は廿一日更に西大門小學校龍山彌生遊廓等にて講演すべく引續き朝鮮全道各主要地において社會敎育其他に關する講演を行ふ豫定

ヨシアシ

◇東拓ではいよいよ社有地を賣出したやうだ、いゝことだ、だが申込者はまだ一人も無いとは心細い。

◇選擧場へ府金庫出張所などは京城でやる新しき試みのこれも一つだと、然し何だか相應しくない。

◇關東州阿片令の更に紛擾をやるだらうと云ふ噂がある下司な心を起すと中毒するぞ

◇英佛協議破綻かを巴里發電は報じて來た、兩國の立場が明瞭になれば不思議は別にあるまい。

◇領事會議は絕對秘密で馬鹿に有名になつた、秘密にすれば暗鬼を招くものと見へる。

◇コンドの新聞記者は馬鹿に小さくなつた、宛名欄は非常に優遇し記帳人のところは思ひきつて虐待したもんだ

當選御禮
今回京城府協議會議員選擧に際し當選の榮を得候段偏に有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く奉感謝候右乍略儀以紙上御禮申上候
大正十二年十一月二十日
堀直喜

當選御禮
今回京城府協議會議員選擧に際し當選の榮を得候段偏に有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く奉感謝候右乍略儀以紙上御禮申上候
大正十二年十一月二十日
澤田淸

當選御禮
今回京城府協議會議員選擧に際し當選の榮を得候段偏に有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く奉感謝候右乍略儀以紙上御禮申上候
大正十二年十一月二十日
大村百藏

當選御禮
今回京城府協議會議員選擧に際し當選の榮を得候段偏に有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く奉感謝候右乍略儀以紙上御禮申上候
大正十二年十一月二十日
韓翼敎

當選御禮
今回京城府協議會議員選擧に際し當選の榮を得候段偏に有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く奉感謝候右乍略儀以紙上御禮申上候
大正十二年十一月二十日
大垣丈夫

當選御禮
今回京城府協議會議員選擧に際し當選の榮を得候段偏に有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く奉感謝候右乍略儀以紙上御禮申上候
大正十二年十一月二十日
方圭煥

當選御禮
今回京城府協議會議員選擧に際し當選の榮を得候段偏に有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く奉感謝候右乍略儀以紙上御禮申上候
大正十二年十一月二十日
武上安一

當選御禮
今回京城府協議會議員選擧に際し當選の榮を得候段偏に有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く奉感謝候右乍略儀以紙上御禮申上候
大正十二年十一月二十日
竹內菊太郎

當選御禮
今回京城府協議會議員選擧に際し當選の榮を得候段偏に有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く奉感謝候右乍略儀以紙上御禮申上候
大正十二年十一月二十日
福島淸一郎

未曾有の激戰裡に
協議員總選擧終る
見事中原の鹿を射止めた幸運の人は誰？
萬事は偉大な時の力が解決した

識者の注目多な意味に於て思ひ出の多かつた大正十二年度も將なんとする十一月二十日、各府面協議員は一齊に改選された、蓋を開けて見れば宛から豫の如し、悪戰苦闘見ン事中原の鹿を射止めて笑窪に入れる人もあらう、思ひ設けぬ番狂はせで呆然として空行く鷹の油揚げを眺めて苦笑する人もあらう、さしも猛烈を極めた總選擧も既に終つた、併しながら此の大難關をパスしたので萬事が解決したのではない、寧ろ當選した事に依つて徐々責任の重大なのを思はねばならぬ、此の行き詰つた時局を奈何に解決するか、夫れは當選者の全責任であり且第一の義務である、多數民衆の興望を擔ひ此の榮ある重大任務に就いた新議員の顔觸れ——本稿締切迄に到著の分——は左の通りである

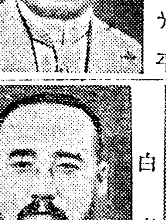
釜山（定員二十名）
伊藤庄之助 武久捨吉 香椎源太郎 大池忠助 榎本阿津美 小原爲 坂田文吉 市原千藏 石原源三郎 川嶋喜彙 大山儀一 深見彦四郎 本田常吉 吉岡重實 秋乃有 芥川完一郎 水野嚴

仁川（定員十六名）
荒井信之 李祖遠 文尚宇 河野竹之助 後藤連平 加來榮太郎 平山松太郎 張錫佑 丹羽茂三郎 美濃谷榮次郎 力武嘉次郎 藤井八重藏 鄭順澤 高木助市 金相圭 丁致國 井上藤香

平壤（定員二十名）
米命基 金允福 李基燦 瀧本理 孫壽卿 內田錄雄 奥田英一郎 丸山理平 黄錫煥 鄭奎鉉 辰巳彦三郎 小林文二 楊濟謙 鮮于錫 白潤植 韓允燦 康秉鈺

新義州（定員十二名）
李春燮 一柳村五郎 松尾六郎 藤井定太郎 中村廣吉 多田榮吉

增田光平

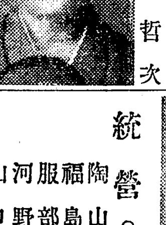

岡本茂

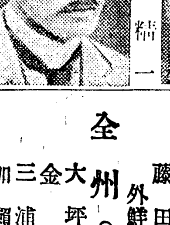
横江重助

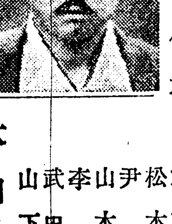
朴在肅

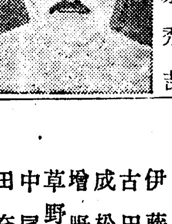
張晩拜

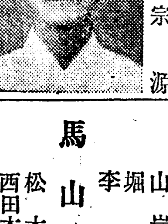
白孝俊


松隈哲次


中込精一


本田保太


藤原秀吉


金宗源

統營（定員十二名）
陶山美賀藏 福島彌市良 服部源次郎 河野峰吉 山口精 藤田熊吉 外鮮人側六名

全州（定員十二名）
大坪三津男 金炳殷 三浦隅吉 加瀬雄三 崔 大木良作 松本福市 尹 山本悦造 李 武田克次 山下猪三郎

大田（定員十名）
伊藤健藏 古田晋吉 成松宇多吉 增野松弌 草野富士太郎 中尾常次郎 田奈部庄吉 山岸秀太郎 堀米吉 李遠寧

馬山（定員十二名）
松本多三 西田木惣市 相良勝太郎 三宅吉郎 夏目哲三 吉村虎治郎 大田槌五郎 康 徐 弘重鶴之助 井上義理 金致洙

元山（定員十四名）
杉野多市 南忠熙 新谷新七 平松龜太郎 小島守治 孫祚鳳 金容浩 朴敏龍 岩男百造 矢野榮作 金鍾運 岩中半六 本岡卯之吉 鳥居千三郎

海州（定員十二名）
貴志新五郎 隅利吉 萬代龍助 清水房吉 鈴木平四郎 蟻末治右衞門 幸承禧 吳敦根 金泳澤 吳世暐 崔景台 韓泳燦

清州（定員十名）
本多繁造 人見卯七 方寅赫 澤田藤兵衞 前田平太 青木正雄 元光渓 江上小三郎 川島由三郎 李謙求

群山（定員十二名）
赤松繁夫 樋口虎三 花岡鶴松 大澤藤十郎 西村又三郎 中柴萬吉 上田榮吉 香原嘉太郎 趙重煥 光富喜八 增田吉次 邊光鎬

咸興（定員十四名）
金薫 鷲坂主稅 畑本逸平 寺本光太郎 金洙根 趙昌夏 柳秉義 朴容夏 高義鎭 金魯善 金洙善 金山福太郎 洪成殷 九貫正二

清津（定員十二名）
齋藤武幹 岩田正巳 中村太郎左衞門 宇鱗源 阿久津榮絲 高田畑造 濱田千代松 友永兼太郎 李應 崔秉權 笠原三右衞門 伊藤智祐

鎭南浦（定員十四名）
中田紋三郎 重枝太栞 柳原龜一 野田良二 林炳日 金熙善 立川六郎 服部角二 府中喜八郎 伊丹儀平 張瑞奎 長載坤 李鍾燮 金洙衞

開城（定員十四名）
久野傳次郎 金興祥 山崎三郎 宮崎金藏 朴鳳鎭 孔聖學 金正浩 崔進永 崔漢永 金謹 金昌勳 孫鳳祥 林晃植 黄柱東

木浦（定員十四名）
入江辰三 伴諒輔 松井邑次郎 石森武男 長野虎太郎 奈良次郎 村上直助 佐藤秋二 金商燮 金鳳魯 李根厚 徐允昌 山野瀧三 李祥奎

公州（定員十名）
丸山虎之助 田中清一 松浦延輔 牧野秀松 藤澤英夫 田口駒一 岩山幸太 大西吉 岸田勝三郎 金甲淳 徐範淳

光州（定員　名）
松井理三郎 島村民衞 金相淳 谷口隆 玄俊鎬 坪井盛太 藤本一二郎 佐藤秋藏 吳憲昌 朴揆一 諸山猪藏 李起晧

鳥致院（定員十名）
飯島久平 益田正一 金 八十川耳 柴田定助 杉岡恒次郎 泉兵次郎 稻永八 李憲洙

大詔捧讀式

【旅順】關東廳では十七日在廳職員一同を別館會議室に集め大詔捧讀式を擧行した、先づ兒玉長官は滿場緊張の裡に恭しく捧讀して式を畢つた、長官は更に管內官衙並に各學校に對して詔令を發し其聖旨の貫徹に努めた

京城淸津間 電線故障
寒氣の爲か

【淸津】京城、淸津間の電線は昨今故障頻發の模樣で十三日以來十六日までに咸興新浦附近、鏡城、淸津間、吉州、城津間等故障を生じた、原因はハッキリしないが多分寒氣の爲め降雪の關係等であらうと

穀類買出資金

【淸津】毎年出穀季に入る當地淸津商人は買出資金として三十萬圓內外の資金を銀行から融通を受けて居たのであるが今年は例の震災餘波を受けて銀行の引締めが嚴へられ一般に穀類商は不安に陷つて居たが當地の三銀行支店（鮮銀、殖銀、商銀）共本件に關しては相當の諒解あり內地の夫れの如き極端なる緊縮方針を取らぬ模樣なので關係業者は大喜びである

地方人事

▲生田淸三郎氏（平北道知事）新道廳舍檢分の爲め十七日來新十八日歸任（新義州）
▲齋藤欽二氏 新義州高普校長から平壤高普校長に榮轉（新義州）
▲園田鋼吉氏（新任朝郵重役）家族同伴十八日夜著豫定七時半北行（釜山）
▲藤井團太郎氏（平北義州郡守）十六日來新十八日歸任（新義州）
▲神保信吉氏（辯護士）十六日平壤へ十八日歸任（新義州）
▲丁少將（延禧鎭守使）張氏の召電により奉天に向ふべく十六日淸津に出で南航京城に出發した（淸津）
▲藤本仁川米檢所長 十八日朝黃海道方面へ出張二十三日歸仁の豫定（仁川）
▲生田淸三郎氏（平北道知事）十九日出城（新義州）
▲岩佐三枝雄氏（新任安東副領事）廿三日著任の筈（安東縣）
▲峯幸松氏（關東憲兵隊長）管內事務檢閲の爲め十九日來安即日京城へ（同上）
▲重信文敏氏（咸南內務部長）來元中の處十九日歸咸（元山）
▲關武男氏（咸南農務課長）右同上
▲小木辰之助氏（朝郵元山支店長）晉州丸遭難者追弔法會臨席の爲淸津へ出張中の處十九日夜歸元
▲船田拓殖事務官 十九日觀察のため來仁即日京城へ（仁川）
▲山澤和三郎氏（京畿道學務課長）十九日學事視察の爲め下仁即日歸城（仁川）
▲土師全南警察部長 古賀高等課長中澤齊野兩警部を随へ長城警察署巡閲の爲め十九日出發二十一日歸任（光州）
▲小西釜山府尹 歸省中の處十九日夜歸任（釜山）
▲堀井儀作氏夫人 釜山府立病院に入院加療中の處十九日死去享年四十三葬儀は二十二日土城町妙心寺で執行（釜山）

咸南米豆檢査
標準査定諮問會
現行檢査の改變を迫る

【元山】昨年の恒例に依る咸南米豆檢査標準査定諮問會は十八日元山商業會議所樓上で開催された、當局者側として軍信內務部長、藤林商工課長、農務課長、檢査所長、筒木檢査所主任長代理、影山技手、尚木檢査所主事を初め道內各檢査出張所員、及特に江原道から加藤鐵原檢査所長も列席し、當業者からは元山の藤谷、佐藤兩元老を初め十二名を筆頭に咸興、興上、新上、高原、洪原、新浦、北靑、端川、永興各地から兩三名つゝ總計三十名の多數出席者及び檢査員にして石原府尹、本間商議會頭、府吏員新聞記者等列席し午前十時から午後六時迄の長時間終始非常な緊張の下に會議された、諮問會頭の開會を宣し、續いて檢査所長の米豆の品種改良、生產增加、輸出增進等に關する演示あり、先づ會議に入り、先づ諮問事項第一大豆の生產改良と檢査の改正を取引先きに適應する方法如何を議題に供し、當事者側からの意見の陳述あり、續いて本會議の眼目たる諮問事項第二現行檢査程度に變改を加ふる必要ありや、若し有りとせば意見及其の程度如何の審議に入る、本問題に付いては去る九月五日附本紙所載『元山の發展策如何（上）』の題下に詳報した通り、元山側當業者に在つては以前に之が改正を熱望してゐる處で其際も陳述委員を上道せしめた程は獨り元山のみならず全道の當業者が等しく熱望する處らしく意見百出議論に花が咲き頗る猛烈に當局に向つて突撃した、當事者側の論ずる處は、咸鏡南道に於ては大豆の品種改良の爲め嚴重なる檢査規則を設け改良種の合格品に非ざれば絕對に輸出を禁止してゐる、現に在來種黑目大豆の如き尚相當の生產あり而も其品質も比較的良好で改良種四等合格品よりも石一圓高を以て喜んで需要されてゐる、然るに在來種として檢査に合格せざるを以て取扱ひの方法無く之が爲め生產者取扱ひ者共に極めて不便と不利益とを蒙つてゐる且改良種と雖も檢査に合格せざるものは之が輸出を禁止してあるが故に不幸にして不合格品となつた場合生產者の蒙る不利益不便は甚大である、而も此の檢査規則が全鮮統一的のものであれば又止むを得ざる點もあるけれ共、獨り咸鏡南道のみが極端に嚴重なのみで他道は比較的寬かであり、第一境を接して居る咸北江原道が既に夫れで從來江原道產大豆も隣接地產ものは悉く元山に集り相當市場を賑かし居たが、右規則の實施以來感々仁川釜山等の遠隔地へ廻し元山への出廻りは殆と皆無となつた元山市場の衰微も一は此の點に因して居る、又咸北から小豆が出廻つて來るが之亦檢査規則に縛られて元山を素通りして仁川其他へ橫取りされる商人としては之以上の苦痛は無い、故に右檢査規則を他道同樣にするか然らずんば在來種若くは不合格品と雖も輸移出可能なる樣適法を講じ例外を設けて貰ひ度いと言ふのである當局者側に在つて當日即答する處は無かつたが、當業者側の意の存ずる處は大體諒とした模様であるから或る點まで希望は容れられるであらう

仁川學校豫算

【仁川】仁川學校費十三年度豫算は目下府に於て資料の査定をなしつゝあるが編成の大體方針として緊縮は免れ難く學校當事者の語る處に依れば『緊縮方針に基づき積極的施設の不可能を餘儀なくされてゐるから苦痛を感じてゐるが校舍も既に竣工に近く明年度の豫定計畫になる普通學校三學級増加は就學志望兒童收容上是非共適宜の措置を採らなくてはならぬがこれが經和上來年度から十七年度迄の繼續事業で增級の計畫があるこれに伴ふ諸經費の膨脹と別途を以て教員の宿舍新設並に運動器具の適宜施設の計畫もあり勞々增級に伴ふ敎員三四名を增聘する筈である、が右諸經費は一般歲入費を以て之に充當することゝならう何れにしても月並式を脫し他に新計畫の豫定もないから明年度仁川學校豫算が平凡を免れまい』と

平北 大々的に擧行する
道廳移轉祝賀大會
各委員悉く部署につく

【新義州】新義州府に於ける平北道廳移轉祝賀大會は豫定通り其打ち合せ著々進行し十八日夜會長に推薦された各委員の分科會を開催し各委員は其係々にて係長及副係長を互選し引續き打合せをした因に委員左の如く向費用は全部府民の寄附で少くも一萬圓には達する豫定で既に諸般の準備に著手した

▲接待係 多田榮吉（係長）野手耐、金甚鴻（副係長）井口文彦、上野衛、中村三之助、諏訪原義憓、五島守、岸川益一、吉敗要助、山本庄五郎、池田眞藏、古山佐十郎、沼波福松、井上秀久、中村勉三、久留島群造、秋尾淸見、我妻長五郎、小川延吉、川村稀佐夫、宋濟元、島田恂治、中尾太、吉元久藏、宮川肇、志水高次郎、神宮興太郎、仁禮精蔵、齋藤欣二、藤本篤常、白石隆美、西脇半助、賀屋潤、永井正夫
▲裝飾係 神保信吉（係長）朝日奈淸九郎、金載汶（副係長）足立秋生、河野惠治、阿部繁男、永井寬讀、野原藤次郎、佐藤貞一、楓山嘉六、佐川駒一、北方捨吉、中込精一、本田保太、大谷松次郎、永井雅之、太田千代造、加藤鐵次郎、岡本茂、桑原京太、金宗源、李熙廸、朴在肅、張世國、朴志簽、劉希恒
▲餘興係 石原松郎（係長）毛利好彦（副係長）藤原雅一、栗原藤四郎、奈良井助市、磯谷島藏、石原柱造、渡邊貞一郎、渡邊治太郎、島本寅弌、田中成信、中村恒三郎、藤尾良太郎、角正表、鄉野勝一、金宗湖、森本長市
▲宴會係 加藤鐵治郎（係長）宮川肇（副係長）篠淵字平、張晩拜、神保信吉、岡本茂、鬼頭虎藏、荒木要次郎、片岡和三
▲寄附係 永井雅之（係長）楓山嘉六、朴在肅、李熙廸（副係長）佐藤貞一郎、松次郎、本田保太、大谷松次郎、太田千代造、加藤鐵次郎、岡本茂、桑原京太郎、獨孤烈、朴志簽、李秦永、李內河、劉希恒
▲會計係 横江重助、阿部國造、三宅富治、青木咲吉
▲庶務係 松隈哲次（係長）片倉和三（副係長）增田光平、小野明治郎、伊藤茂雄、久保寅吉、福原多豆麿、張文瑞、伴富代次、內田秀次、島田克巳、穆野儀三郎、朴政、金志昀

祝賀歌詞募集

【新義州】新義州府では今回の道廳移轉祝賀會に相應しい祝賀歌詞の懸賞募集をする事となつたが右は唱歌（七五調の今樣體で四章以下平易にして雅正なるもの）鴨綠江節の二種で匿名にて差支ない締切は十一月二十八日宛名は新義州府廳內道廳移轉市民祝賀會宛賞金は唱歌の部一等一名（十圓）二等二名（五圓宛）鴨綠江節一等一名（五圓）二等二名（三圓宛）三等二名（二圓宛）審査員は新義州府尹學校職員及在住新聞記者連である

稻多收穫品評會
水原外四郡

【水原】水原、振威、利川、龍仁、安城の五郡に於ける稻多收穫品評會成績は八郡品評會を機とし水原に於て發表されたが之より先各郡の實地に就き交互審査をなしたる結果出品總數三百十六點の內豫備審査の結果二百十九點は失格し殘り九十七點に對し八名の技師審査の結果特等三點一等七點二等二十六點三等三十五點の擬賞數を示した之が槪況に就き當局者の語る處に依ると九十七點中平均反當り籾收量は四石二斗七升二合で五石以上のもの十點、四石以上のもの五十五點、三石以上のもの三十二點である而して反當り植付株數の多きもの（五六十株）最も收量多く之に反するもの收量少く株數の最も少きは二十五株で其他肥料の配合適否赤米の混入植付時季の適否等將來改良すべきもの多々あるも成績は槪して良好であつた、擬賞郡別を示せば左の通りである

郡名	特等	一等	二等	三等	計
	人	人	人	人	人
利川	一	一	三	六	一一
龍仁	—	—	四	五	九
安城	—	六	五	三	一四
振威	一	—	四	七	一二
水原	一	—	四	一四	一九
計	三	七	二六	二九	六五

同居して居ても
選擧權は有る
有効となつた葭濱氏の異議申立
新判決例開かる

【元山】府協議員選擧資格の件に付き元山泉町二丁目葭濱信夫氏（東拓元山支店庶務係長）から府廳に異議を申立て、府廳は『獨立の生計を營む者と認め難し』との理由で申立てを却下し、葭濱氏は『獨立の生計を營む者なり』と主張し見解の相違から更に道知事に對し不服の申立をなし知事に於て如何なる見解を下すかは頗る興味ある問題である事は當時報道した通りであるが、知事に於ては葭濱氏の申立通り『葭父忠太郎氏と同居はするも、コハ生活の便宜上より出づるものであつて、事實に於ては獨立の生計を營む者にして只形式上一つ軒下に住つゝあるに過ぎず』との見解の下に『葭濱氏は選擧資格を有する者』と判決した葭濱氏と同樣の立場に在る者は世間に多く今迄は不公に附して居た者が多かつたのであるが之れに依つて一新判決例を示した譯である

水原品評會
褒賞授與式

【水原】水原外七郡聯合物產品評會褒賞授與式は既報の通り十八日午後一時より水原公會堂で擧行された、第一號報燭竹を合圖に來賓及出品人入場し君ヶ代の合奏に次いで審査長の審査報告あり郡知事より褒賞を授與し終つて式辭を述べ次いで稻多收穫品評會の褒賞授與式に移り金長の開會の辭に次ぎ道知事の告辭あり審査報告並褒賞授與者總代成郡代表小島治氏の答辭あり閉會午後四時より宴に入り水原各料亭の美妓の斡旋にて和氣靄々裡に薄暮散會した當日の主なる來賓は西村勸業局長時實知事馬野警察部長其他八郡の有志等無慮二千名に達し近來稀な盛況を極めた

元山公友主催
實業講習會
十九日から開催

【元山】元山の建設に貢獻すべく遠大な理想の下に元山中堅青年を以て本年創立組織された公友俱樂部は此の理想實現の爲めに創立以來凡ゆる方面に向つて極めて眞摯にして着實な活躍を試み居るが今度府廳、商業會議所等の後援を得て實業講習會を開催する事になつた各方面から非常なる賛同共鳴を得て既に講習生申込者も內鮮人五十餘名の多きに達したので十八日夜商業會議所樓上で盛大なる發會式を擧行し、十九日夜から開講する事となつた會場は在郷軍人俱樂部階上大廣間を充當し向ふ六ヶ月間で終了の豫定で、科目講師等左の如く夫々專門家を依賴し實用主義の意義ある講習たらしむる筈で、之がため同俱樂部員各自は可成の負擔犧牲を拂ひ講師も亦其主旨に賛同し殆ど獻身的に出講する事を諾した、青年團として斯くの如く有意義且社會奉仕的大事業を遂行した事は全鮮に於いて殆ど嚆矢であらうと一般に美擧を賞讚されて居る

▲主事 公立元山商業學校長富田茂一氏▲教務主任 東拓元山支店庶務係長公友俱樂部員葭濱信夫氏▲庶務主任 同俱樂部員古賀貞造氏▲法制大意 富田茂一氏▲經濟學 葭濱信夫氏▲商事要項商品 殖銀元山支店次席檀子島莊氏▲倫理 元山高等校長平岡一男氏▲簿記 元山商業教諭井藤氏▲水產大意 元山稅關加納竹藏氏▲商業算術珠算 古賀貞造氏▲商業作文 葭濱信夫氏▲鮮語 十八銀行元山支店任氏

因に右講習は夜學とし毎週月水金の三日開講の筈である

淸州修養團發會式

【淸州】修養團淸州發會式は十七日に擧行する豫定であつたが牧野秀氏が全北に於て自動車故障の爲め負傷したので止むを得ず期日を十八日に繰延べた午後二時半小學校講堂に於て開會京城より蓮沼本部長、京日支配人泥谷兩氏を始め知事參與官各部長の臨席に三十名の出席ありて盛會裡に立野支部長の勅語及大詔奉讀に續いて總督外祝電の披露並に知事池本書記長の訓示朴知事泥谷京日其他の祝辭等あり最後に支部長の答辭にて式を終つた出來當地の會員は從來各方面にて數個の團體を作り其修養を實行しつゝあつたのが茲に統一されたので比較的意志の強固な團員のみを收容して居る

釜山實業青年總會

【釜山】昨年十月夙々の聲を擧げた釜山實業青年會は創立一週年に達したので十八日（第三日曜日）を卜して午後五時から大平館に於て記念總會を開催したが定刻開會を宣し會長の挨拶、會務、會計報告あり役員の改選を行ひ來賓香椎釜山商業會議所會頭、釜山同胞會頭、川島時報社長等の演說あり閉會午後六時半より餘興に移り午後十一時半盛會裡に散會した

商議懇話會延期

每月廿日に催さるゝ事となつて居る釜山商業會議所役員懇話會は恰も當日は府協議會員總選擧の當日となつて居るので日を改めて開催する事に一時延期さるゝ事となつた

英義間自動車經營

【英陽】大邱の齋藤自動車部は青松英陽間の岡田氏より自動車並に義城青松間、青松英陽間の運轉權利を買收し去る十日より運轉を開始した爲め從來不定期の不便を緩和し同地方一帶の交通は非常の便利となつた

現業事務檢閲

二十一日より三日間滿鐵安東鐵道事務所にては同所長、庶務、工務、營業、運轉の各主任等十餘名出張して同管內各驛の保線、機關、列車、檢車、通信各區の現業機關事務を檢閲する豫定である（安東縣）

光州有隣會總會

【光州】光州有隣會は十九日午前十時より同事務所に於て總會を開催淸原理事長代理として開催の辭を述べ大正十一年度の事業報告あり次いで評議員會開催前例により幹事には五味淸院院長土師警察部長を選定した（光州）

釜山の猩紅熱
防疫委員任命

【釜山】本夏一度終熄を見た猩紅熱は既報の如く本月初めから又復發の兆あり多きは一日六名の新患者を出したるが如き油斷ならざる猖獗を來して居るので時節柄再び春以來の猖獗を繰返すが如き事ありては一大事と府廳警察方面では非常に神經を過敏にし道よりは原衞生課長釜山に出張し之れが撲滅に對し種々打合する處あり當局としても充分之を鑒し之が防遏に努めて居るので未だ本春の如き猛威を逞しうするに至らず十一日釜山中學校二年生一名と市內に二名の患者を出したる以來十四日迄は一人の新患者を出すに至らなかつたが十五日釜山第一商業學校二年生一名更に十八日に至り高等女子校生徒に一名の新患者を出し商業及び女學校の如きも休校の已むなきに至り容易に終熄の模樣を見ないので更に一段の豫防充實の爲め海港檢疫と相俟つて陸上方面に對しても道より夫れ／＼防疫委員を任命して徹底的撲滅に努むる筈である

全州も
猩紅熱續發す

【全州】全州で先般來猩紅熱患者續々發生し小學校生徒中から四五名同患者を出したので五年に限り一週間の休校をした

高島氏講演

滿鐵社會課では高島平三郎氏を招聘して先程から滿洲各地に講演開催中であるが廿一日午後六時半から安東公會堂で講演開催の筈（安東縣）

震災活動寫眞

廿二、廿三の兩日安東第一小學校で午後六時半から震災慰問救護團報告活動寫眞會開催入場料は無料である（安東縣）

金海岡氏

朝鮮醫學界の重鎭海岡金圭鉉氏は南鮮勝地探勝の途來滿したので二十五日道醫會議室で自作の書畫展覽會を催し餘興をもなす事にした

白蛇の留守 (十)
巖谷小波
堅山坦畫

「オイ龍宮へ行つてるのか」
新太は半分驚き顔の樣に云ひましたが、先方では益々押されたと思つたか、
「然うだよ。もう疾うに行つたぎりどうしたんだかちつとも歸らないんだ。それで留守番を頼まれたんだが、から永くなつちややりきれない……所へ丁度お前が來てくれた。ほんとに好い所へ來たなア。ちよつくら私に代つてくれ！」
と、こんな事まで云ひ出しました。
新太もこれに一寸驚きました。
はじめて會つた龜の子が、自分を見かけて留守番を代つてくれ――ひよんな事になつたと思ひましたが、元よりのんきな男ですから、此方からも氣輕に
「ウン、頼むんなら代はつてやらうか。だがお前は何處へ行くんだ？」
「私かネ。私は一寸沙を見に行くんだ」
「沙は相變らず高いよ」
「そいつは困つたなア。まだ低くならないのかなア」
と、ひどく失望する樣子ですから新太も聞き咎めて、
「沙が高いといけないのか。何か困い事でもあるのか」
と、流石に沙當を氣にして尋ねました。
すると龜の子は頭を掉つて、
「何も困つて事はないが、卵が産めなくて困るんだ」
と云ひます。
一體龜の子と云ふものは、卵を海邊の砂の中に産むのです。所が此頃の樣に沙が高いと何處の砂濱も皆水につかつて、思ふ樣に産む事が出來ない、それを龜の子が弱つて居るのだなと、新太は漁師だけにすぐ解りました。
「なるほどそりやア氣の毒だな。それぢやア折角おれが代つても卵を産みに行く事は出來ないから、驚はない。其邊へそつと産んどきなさいな！」
と、無造作に云ひましたが、龜の子は頭振で、
「そんな事が出來るもんか。そんな邊へうつかり産んで見なさい、白蛇が直ぐ取つて食つてしまふ！」
「なるほどそれもさうだなア」
「だからちつと遠くとも、沙の退いてる濱を見つけて、いそいで卵を産んで來るからそれまで此所に待つて下さい！」
と、から云ふ中にもう龜の子は、ノソノソ洞から這ひ出しましたから、新太も仕方無しに、
「そんなら成る丈け早く歸つてくれよ！おれだつて用があるんだからあんまり永くは閉口だぜ」
「大丈夫！龜の子だつて馬鹿にゃ出來ない。急く時は速いんだ」
こんな言葉を交す間に、龜の子の姿は見えなくなつてしまひました。

そこで新太も、いよいよ洞の留守番と云ふ事になりました。それも初めの間は、好奇心が手傳つてゐたものですから別に苦にもならず、洞の中へ這ひ込んで、自分もやはり龜の子の樣に、例の石の上に坐り込んで四邊を見まはして居りましたが、その中にそろそろ退屈して來たので、まゝよ一服やつてやれと、腰の煙草入を取出して、煙管に煙草をつめ、燐寸を擦つて火をつけやうとしますのに、洞の中は濕つて居るので、思ふ樣に火が出ません。しきりに舌打をしながら燐寸の二十本も無駄にした揚句、やつとの事でパッとついたと思ふと。これは如何にその火の中から、さも恐ろしい聲がして、
「コラ、何をする！」
と、叱りつけるものがあります。
新太はギョッとして、前を見ますと、何時歸つたか洞の主の白蛇が、酸漿の樣な眼を光らして其所にとぐろを卷いて居りました。

一般への奬勵に 國母陛下も銘仙を 御着用遊ばされてゐる 銘仙の時代來る

災禍に傾き易かつた人々の心が漸く實質を尊ぶといふ樣になつて來たのは本當に悦ばしい傾向で、從來非常に上下の隔てを見せてゐた婦人服なども東京聯合婦人會の決議によつて、その

最高標準 を銘仙に選定した事など一層若い人々の心を引緊めて行くもので、殊に畏くも國母陛下には銘仙を御着用遊ばされて一般への奬勵を遊ばされてゐる旨拜聞する、これまでとしても各階級を通じて需要の多かつたのはこの銘仙であるが同じ銘仙と云つても産地によつて種々あり、普通使はれてゐるものは堅純絹の縞織物即ち縞銘仙が多かつたが陛下のは純白玉糸を使つてある物が最も堅牢なものとされてゐて、昔から

秩父銘仙 がさうした手堅さで名をなしてゐた、然し在來の秩父物はとかく流行の點において、伊勢崎物などに比べては話にならないほどであつたが、既に此の震災前より秩父工業界の一大新展を計つてゐた秩父銘仙は今秋驚くべき意匠のものを出すやうになつた、近來呉服店頭を見ても銘仙流行の魁とも云ふべき面白い縞柄や絣を織出したものが澤山にある

基調色は 眞に茶系統に臙脂であるが外出着として年輩を問はずふさはしいものが澤山見受けられる、殊に大島紬風に織つた秩父大島などはその實質においては本場物に劣らぬだけの耐久性を持つてゐると云ふ事で、値も一時二十圓を唱へてゐたが縞十二圓前後の絣十五圓前後と云ふ安さを見せて居る、兎に角秩父がかく驚くべき新生面を見たといふ事は銘仙奬勵の上に本當に意義ある事と思はれる

職業婦人 (四)
小さい窓から 手先きだけ
遽ただしい客を控えて 慌しい出札女事務員 (中)

京城驛の狹いプラットホームに乘客の慌しさを一入感るやうに殆ど雪崩れ込む、改札口も出札口にも先を爭ふは群衆心理で雪崩の樣に押しかける、その一人々々は北は北海の果て石狩から南は九州鹿兒島の端し々々までも及んでゐる京城驛でこれ等の旅客を相手に立ち働いてゐる出札係の女が九人ある驛内は勿論省線各驛の驛名を覺える丈けでも大抵ではないのにそれを即座に出札しなければならぬ出札女事務員の日常生活も大抵でない、一分遲れても列車は遠慮なく發車して乘客は次の列車まで長い時間を待たされる、こんな失態を仕出かしたが最後無遠慮な乘客は火のつく樣な苦情を浴びせかけるが如何に忙しいからと言へ夜十一時頃の賣上切符の清算で缺損でもあつたら金額の如何に拘らず自辨しなければならぬ、迚もブッキラ棒な男性には出來さうにもない、選何した職業に定まつた樣に十五六歳から二十四五歳までの女事務員が選まれる

午前八時から午後八時まで、午後八時から翌朝午前八時までの二交代で薄暗い狹苦しい出札窓で腰落付ける間もなく立つたまゝで賃金の應答から出札までしなければならぬ

『少し馴れて參りますと驛名さへ聞かして貰へば四百餘の小出驛に自然手の方が參る樣になります仲には北海道だの紀州線だの山陰線など比較的耳遠い驛名を言はれますと初夫切符を作つたり、中には學校職員や軍人學生の割引切符も作らなければなりませんし、又驛とは何等係はりのない下關から大阪まで幾程かと聞いて來る人もあります、驚くほど東京へ參るにしましても三十餘種類の線路系統がございますしお客さんから見る以上に面倒なものです』といふ

□

聞いて見れば自分一人が旅行者の樣に發車間際に駈込んで來て『さあ汽車に遲れる』と言ふので行く先き驛までの賃金も調べずいきなり十圓紙幣數枚を放り出して出札女を責立てるなどは乘客の道徳ではない樣だ、出札女の困らされるのは皆んなこんな乘客である、勤務中の彼女等は餘談はおいて食事さへも自由でない、いま少しでその日の清算を終つて温かい自分の家に歸らうとする間際に來て出札を請求する暫く待たせると小言を食ふ、折角やりかけた清算はおじやんになる、

晝勤と交代した夜勤者は翌早朝の一番列車から出札しなければならぬ日給は九十錢から一圓八十錢位までと言はれてゐるが最初の間は何うしても平均二圓の損失を生じて辨償させられる相である

□

記憶がよくつて手先きが器用で敏捷なることを必須の條件とする驛局では神經は緊張しても良心は麻痺させてはならぬと口の酸くなるほど言つてゐるから此方では萬事に注意して緊張して仕事をしてゐるが何しても短い時間に、女の手で滿洲朝鮮内地に亙る切符を調製する丈けでも容易でないのに賣上の精算から應答までしなければならないのだから時には乘客の機嫌も害ねるやうな事もあるでせうがいま少し此方にも御同情下さると苦情の幾分は和らぐことゝ思ふ」

平素の不衛生で 秋の毛脱が甚しい
頭の地に注意せよ

年の事ながら秋になると兎角脱け毛といふ事に多くの人々はなやまされるやうですが、秋の脱け毛は病後の脱け毛とも違ひ又病後のものでもなく、それは丁度秋になると凡ての動物の毛が脱けかはるやうに又木の葉が枯れ落ちてしまふのと同じ理で、人間の毛も限られた

生命 をもつて生えて來た以上ある時期に達すると必ずそれは脱け落て更に新しい毛がそのあとから生えて來るのです、それ故秋の脱け毛といふ事は自然の理であつて決して心配する必要はないのです、しかし平素不衛生であつたり又夏期食物の不衛生から秋の脱毛が普通の人よりも多くなるといふ場合がよくあります、又其人の

體質 によつて多く脱け落ちる人々も少くありません、殊に毛の細い切れやすい人で、しかもうすいといふ人などは、どうしても普通の人よりも多くありますから、すべてこれらの人々は平素の手當に注意しなければなりません先づそれには第一に毛の滋養分を吸收する事ですが、第一に内部的に食物に、鷄卵、沃土、カルシウム等の多く含まれてゐる物をえらんで毛に

榮養 を與へ、外部的にはあまり刺戟を與へぬふのりのやうなもので度々洗ふ事、それも只洗ふのでなくよく頭の地を洗ふやうにして、そしてマッサージを施し血液の循環をはかる事が大切です、成るべく今日洗ふといふ二日ばかり前に、水油を頭の地から毛うらにかけて澤山につけておいて洗ふと毛の爲に非常によいのです、そして常にはふけとり香水をガーゼの樣なものにひたして頭の地をよくふき、ふけや垢をとるやうにして髮を結ひ

水油 でなしにポマードやねり香水のよいものを櫛く刷毛で髮につけてをきます。しかしさうしてゐても秋はある程度までのぬけ毛は致し方がありませんから、特別脱けるといふのでなければ少しも心配する必要はありません

洋服の始末
トランクの中に 亞鉛板の箱を入れて

洋服の洗濯や整理を營業にする支人筋に仕まひ方の多年の經驗を聞いてみると『外人の家庭ではトランクの中に亞鉛板でこしらへた箱を入れ其箱へ服をしまふが箱には豫めハンダを引いて置く蓋をしてから、更に隙間にハンダを引いて

外氣 の通はぬやうに來年まで密閉して置く、日本の家庭で今直ぐ亞鉛箱と云つても間にあふまい大きなボール箱でも何でもよい共箱にナフタリンなり樟腦なりを入れ服を納めたのち半紙で念入りに目張りをして置けば格別冷藏庫などへ入れて置かなくても大丈夫である、箪笥へ入れた儘にして置いたり衣桁へ掛け放しして置いたりしては乾度

濕氣 を空中から吸込んで黴を生ずるやうになる、仕舞方はそれで宜いとして其際決して忘れてならぬことは豫め充分陰干しをして服地を乾燥すること、砂埃や喰べこぼしの汚點を充分に拂拭し洗脱して置くことである

京城の看護婦の 免許狀
下附二百三十五名

最近道衛生課が調査した京城府の看護婦免許證數は内鮮外人共で二百三十五名で内地人が百九十四名鮮人二十七名外人十四名であるが大正三年十月に府令第一五四號で看護婦規則が施行されて同年十一月二十六日免許狀を下附されたものが最も古い、そして其當時の人達で免許狀第二號を持つてゐる福田タマこが筆頭で第一號の村越シツは大正六年に廢業屆を出してゐる福田と云ふ人は明治四十四年四月八日總督府北病院で看護各科を卒業したのであるが看護中での年長者は同じ大正三年に免許を受けた長尾チカさん、これは明治九年生れと云ふから正に四十八歳のオールドで最年少者は三十七年生れの、十九歳どころであるが此間に廢業したものが百十名あり免許狀は返還せぬが開業してゐないものも約半數ある見込である因に外國人で逸早く免許狀を取つた人は目下セブランス病院に居る米國生れのテイ、イーラドロー(一八七九年生れ)とナオミ、エリアンメーソン(一八八四年生れ)の二人であると

眠れる愛婦!! 大改造を決行
民衆を主體として新計畫

震災後目覺ましい活動を續けてゐた愛國婦人會にては今回事務總長谷口留五郎氏の更迭を斷行して其後任には前慶尚北道知事現濟生會理事柿沼竹雄氏を任命し閑院宮妃殿下の允許を得て十四日正式に發表された此の更迭の裏面には眠れる愛婦との非難のあつた同會が震災を機會に罹災民の救濟其他の婦人事業に活躍を開始したがこれを機會に同會の大改造を行ふ事になり二十年來の宿弊の改正を行ひ從來の一部二部制を廢して社會部庶務部會計部を設けて合議制をとり民衆を主體として種々の計畫を進める事になつたが先づ第一著手として職業婦人紹介所の大擴張を行ひ託兒所の新設と獨身婦人數名のバラックを作つて社會事業の爲力を盡す事になつた、

家庭覺帳
靴の中も清潔に

靴は汚い物だときめてしまつて、ベタベタしたり鼻をつく樣な臭氣がして居ても本氣で困る人が多い中も外と同じやうに時々手入れをしたいものである、中性アンモニヤを布に浸して爪先迄萬遍なく三三度拭ひ直しては拭く、拭たら是非充分乾さないと靴の爲にも惡いし又直臭くなる。

次回新小説豫告

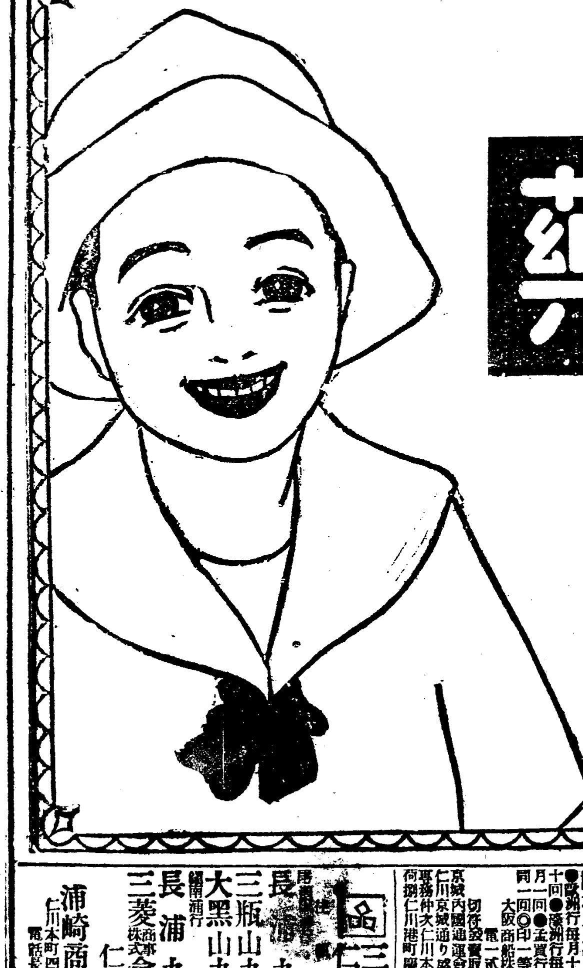
連載中の新小說『魂の力』は愈々百二十回を以て大好評裡に終了を告ぐることゝなりました引つゞき掲載すべき新小說は

災後の戀
上司小劍
挿畫 伊東深水筆

一夜のうちに、大東京の半を焦土にした恐ろしい災の後にも、優しい戀の花のみは、大震地に散らされず、大火事に焼かれず、もとの美しい形をして咲き殘つてゐる。大自然の力も、男女の强い一念をどうすることも出來なかつた。燒跡のバラックに咲くこの戀の花が、これからどんなに世の荒波に揉まれて、いかなる實を結ぶであらうか。町家の娘と或る詩人との戀！若い二人は流れ流れて、遂く新領土へまでも彷徨つて行く。哀れ深い物語りがこの一編である。探材清新、構想斷奇、且作家は我國文壇の大家として既に定評あり必ずや熱狂的歡迎を受くることゝ信じます

朝鮮の讀者に見ゆるは 今回が初めて！
自分の名を署して朝鮮新聞に掲げられた『二つの秘密』は斷じて自作ではない
上司小劍

京城の朝鮮新聞とやらに、私の作として『二つの秘密』と題する長篇が載つたことがあるさうな。私には今日まで『二つの秘密』といふ作はない。多分何かの間ちがひか同名異人の作であらうと思ふ。しかし、さうした間ちがひや、同名異人は、私にとつて甚だ困つたことである。聞くとも、東京の文壇――日本の文壇――には、私と同姓同名の人があない筈である。小說は商品でない。作者の姓名や商標を登錄して商賣をしてゐるのでないから、僞ものが現れたとてそれをどうするといふわけにも行かないか知れないが、それだけ、徳義上から言つて許されない問題であらうと思ふ。たとへばこゝに徳川家康と名乘る人が現れたとて、其の子孫から彼れ是れ苦情は言はれないであらう。しかし、おこがましくも徳川家康と名乘る人はいくら鐵面皮な人間にもないやうである。何等の影響を其の歷史上の本人にも、或は現存の子孫にも及ぼさない人間の名前にでも、さうした遠慮はあつて欲しいものである。まして作家として立つてゐるものゝ姓名を其のまゝ名乘つて、同じやうに小說などを書くといふことは、書いた人に取つて別に何ともないか知れないけれど、書かれたものには、ずゐぶんの迷惑であることを察していたゞきたい――しかしこんなことをいくら繰かへしてみたとて、鐵面皮な恥知らずにかゝつては往生である。――今度この京城日報に私が長篇を書くにあたつて、ほんたうの私が朝鮮の讀者に見ゆるのは、今回が最初であることを說明させていたゞくにとゞめやう。



可愛い我が子が大事なら

ホシ小兒專門藥

ホシ小兒胃腸藥
ホシ小兒下痢止
ホシ小兒下劑
ホシ小兒風藥
ホシ小兒袪痰藥
ホシ小兒疳の藥
ホシ小兒虫下し

一 可愛い小供が病氣の時、どの藥を、どれ丈け服ましたら良いか、と誰方でも心配なさいます。
二 ホシ小兒專門藥は小兒の服み好い樣に、又小兒の服む丈けの分量に作つてありますから、藥を好かない子でも喜んで服みます。

星製藥株式會社

鯨 尾羽毛 專業問屋
(發賣元)下關市唐戸町
平井成一商店

朝鮮郵船定期
朝鮮郵船株式會社 電話 光化門 長
○釜山支店 佐藤町
●元山支店 海岸通
●仁川出張所 海岸町
●京城代理店 黄金町

●元山代理店 吉田運輸會社
淸津 丸 十二月三日 大阪行
會寧 丸 十一月廿六日 下關行
咸鏡 丸 十一月廿五日 江原道行
立神 丸 十一月廿九日 敦賀行
平壤 丸 十一月廿三日 淸津直行
咸鏡 丸 十一月廿五日 淸津行
京畿 丸 十一月廿六日 雄基行
淸津 丸 十一月廿六日 浦鹽行

○釜山代理店 大池廻漕部
昌德 丸 十二月四日 横濱行
新義州 丸 十二月一日 大阪行
會寧 丸 十一月廿八日 下關行
飛山 丸 十二月三日 全羅南道行
京畿 丸 十一月廿三日 北鮮行
南津 丸 十一月廿四日 浦鹽行
京信 丸 十一月廿六日 鬱陵島行
京城 丸 十一月廿五日 江原道行
濟州 丸 十一月廿五日 濟州島行
昌原 丸 十一月廿三日 木浦行

○木浦代理店 商船合名會社
昌德 丸 十二月三日 横濱行
新義州 丸 十一月廿九日 大阪行
京信 丸 十一月廿二日 釜山行
興 丸 十一月廿二日 濟州島行
公州 丸 十二月一日 多島海行
全州 丸 十一月廿七日 仁川行
ひよどり 丸 十一月廿二日 鎭南浦行
江原 丸 十一月廿三日 濟島大連行

○仁川支店 廻漕部
昌德 丸 十二月一日 横濱行
新義州 丸 十一月廿七日 大阪行
ひよどり 丸 十一月廿五日 鎭南浦行
全州 丸 十一月廿二日 木浦行
三河 丸 十一月廿一日 濟州行
松德 丸 十一月廿四日 鎭南浦行
江原 丸 十一月廿六日 (大連行 清島芝罘)
平安 丸 十一月廿三日 (安東大連 青島行)

大阪商船出帆
仁川出帆
●大阪行(群山木浦經由)
○天智丸 十月 日午前三時出
○宮島丸 十月 日午前三時出
○大信丸 十月 日午後三時出
●南浦安東縣行
△東昇丸 月 日午後三時出
△第七原田丸 月 日午後三時出
元山出帆
●城津清津行
新高丸 十月 日 午後五時出帆
●釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
北鮮丸 十月 日 午後四時出帆
大連出帆
●上海福州基隆高雄行
(但し○印は青島寄港)
湖北丸 十月 日 午前三時出
盛京丸 十月 日 午後二時出

內地各港出帆主要航路
●歐洲行毎月十三回●南米行一年十回●濠洲行毎月一回●北米行毎月一回●孟買行毎月二回●南洋行同一回◎印一等御斷△印船客御斷
大阪商船株式會社仁川支店
電一弐・弐一〇・五五

京城 切符發賣取扱所
京城 內國通運會社支店 電話七〇番
仁川 京城通り 旅館 電話一六番
事務仲次 仁川本町 慶田組 電話二八四番
荷捌 仁川港町 慶田組 電話四二二番

三菱商事 船舶
仁川出入
長浦丸 十一月 日出入
三瓶山丸 月 日
大黑山丸 月 日出入
長浦丸 十一月 日入出
三菱商事株式會社船舶部
仁川代理店
浦崎商店回漕店
仁川本町四丁目 電話長五〇番 長一八〇番

京城府議選擧の開票

候補者の運命を秘めたる 謎の箱は開かれた
係員の讀上ぐる氏名に
胸を轟かせる各派の運動員

廿日の午後五時半の投票を締切りに四十餘名の京城府議候補の當落の秘鑰を祕した投票箱は默々として秘められてゐる、午後六時三十分二十名の府協議員を生み出だすべき投票箱は選擧監督官京畿道中津留課長、谷選擧管理者、大和、和田外二名の選擧立會人の立會の下にギーッと開かれ卅餘名の吏員の手に依つて三つ折になつた投票用紙は開封整理され十枚宛一と括りにされる。午後六時半、選擧開票時より選擧場内の候補者參觀席には各派參謀連は胸を騒かして息を呑むでゐる、選擧場内採點場は三組に分離されてゐる午後七時半、朗讀者の一人は聲張り上げて『高木德彌』と讀み上げる續いて『中井忠藏』『芮宗錫』と讀み上げる、その後から復誦して『誰某何點』と呼ばはる、選擧場内に形勢如何を氣遣ふ參謀帷幄の連中の心中は讀み上げられる度に一喜一憂する會場外にも事務所連絡の事務員等が詰かけ窓の外から一心に耳を傾てゝゐる『古城管堂七十點』と呼び上げる度に各派參謀等は窓側に來て窓外の連絡員にこの數字を傳へ、各事務所に陣取つてゐる各候補の許へ通達せられる、午後八時中間發表では高木候補の百八十三點が最高で高山百一票中井氏の百十四票平山氏の九十票古城氏の八十一票等である

滿を引いた 其の夜の當選者
陽氣な歌の聲も洩れた
平山利治氏は語る

遂に四十餘名の立候補の當落の岐れ路は去つた、當選の榮を擔ふた候補者の事務所は光り眩しく絃歌の聲さへ洩れて賑かなのに氣の毒なのは不幸にして選に洩れた十餘名の候補の戸じまりを固くしてかたりとも音のせぬ家である、當選の帯を廊らして黄金町二丁目平山利治君を訪ふ、事務所には參謀連が詰め切つて、歡樂笑語が洩れてある階上には呑氣げに鼻唄さへも聞えて來る、平山氏は語る『立候補當時は堂々たる政綱を提げて立つた候補者が議員に當選すると官廳に職を奉ずる關係其他の情實因縁に依つて之が主張實行に當つて

英人三名も 虐殺さる
湯原自警團の暴行

震災の當時相州湯ケ原温泉附近の熱海線軌道で英國人三名を虐殺した事件は此の程發覺し横濱地方裁判所神奈川縣警察部等よりは係官が出張同地自警團三十名を取調べの上令状を執行し横濱刑務所に收監された（横濱電報）

水臭い夫婦
警察へ訴へ出づ

二十日午後七時半頃鍾路署に四十六七の鮮人男女二名が出頭して、男の方が女を指さし『此女は私の品物十餘點を取つて私か請求するも戻さぬから御說諭を願ひたい』と云ふので其譯をきいて見ると男は鍾路三丁目祭俯府洞所金學然（）で女は本町五丁目黑川方傭人金姓女（）である此二人は五年前から内縁を結んでゐたが夫婦共稼で水汲をやつて其日々々を暮らしいて居たが水汲をんで折角少し取つた金を男の方が酒をのんで仕舞ふので遂に水臭い仲となり本年十月相談の上別れたもの〻後になつて男の方から一緒にならうと云ひかけたが女が厭やだと云ふのでそれなら別れる時やつた品物を返せと訴へ出たものと判明した

大阪に火の手をあげた 龜戸事件糺彈大會
五百餘の警官で物々しい警戒

東京龜戸事件に對する關西勞働者の第一聲は愈々龜戸事件勞働者會並に官憲横暴事件糺彈大演說會と云ふ長い名稱の下に廿日夜大阪中央公會堂で火蓋を切つた開會は布施辰治、山崎今朝彌、赤松克麿氏等に依つて虐殺の事實から龜戸署と勞働團擁護士團の交涉其他の經過報告を爲し滿場一致を以て左記の提案を可決したが當局は朝來四十名の主義者を檢束する一方五百餘名の制私服警官を總動員し物々しい警戒振を示した

一、全國に亘つて一般民衆級に暴力的政治の弊を撤底せしむること
二、各國勞働組合に飛檄すること
三、虐殺されたる同志の遺族を救援すること
四、各政黨に大會の宣言決議を送付して無產階級の意志を表示し議會の問題と爲すこと（大阪電報）

震災答禮使として 秩父宮御渡歐か
麥飯一菜の質素な御生活で
思想問題を熱心に御研究

秩父宮殿下が震災に同情した米國を始めとし歐洲各國に答禮使として來春四月隨行德川赤十字社副社長と共に御差遣になるといふ噂が霞ケ關の一部からパッと立つた、然し宮内省では

答禮使 なら一つの重い儀式で政治上の意味も含む事になるから御在官の秩父宮よりは伏見大將宮も閑院元帥宮も在すことであるからと打消してゐるが何しろ外務省あたりがどう各國の同情に答へたものかと困り拔いてゐるのは事實だから成行に依つては皇族お一方御派遣の議も實現されぬとも限らぬがそれよりも問題なのは

秩父宮 の歐洲御見學で之まで皇族方の洋行は多く大學御卒業後であつたが殿下はお直り宮であるし御成婚も遠からぬ中であるからいつそ御婚儀前に一度外國を御巡察遊ばされ見聞を讀め給ふ事を望む宮内大官が多くなつて來た、さて秩父宮昨今の御精勵は非常なもので一日十三時間ぶつとうしで軍務御學問に餘念なく御食事も震災當時は一汁一菜どころか

玄米に 一菜でお過ごしになつてお働きになつたが昨今御食事は麥飯お召物は綿布を嫌はれひたすら御學問に專念で皇族方としては未だ其例さへ見ない思想問題やら『宗教』（姉崎博士の進講）を聞し召されてゐる、フランス語を講進する前田利男伯爵は『殿下御日常の御食事は麥飯御洋服などを始めとし

御居間 は日本座敷に椅子、テーブルを置いて午前中お辨ましになることでも察せられますがこの頃朝は七時半から八時までは騎隊に御出勤夕刻お歸りになつてから一時間の食事時間を除いて一木御用掛の憲法、典範、實際士の古典、フランス語、經作博士の思想問題など夜の八時半まで御勉強になる』と謹話した

羅南に生れた 闢北佛教
信徒既に五百名

咸鏡南道利原郡の生れの佛教僧侶李範大は過般來朝鮮佛教を再興すると稱し咸北羅南地方を巡錫してゐた所其後一般民の間に共鳴者が多數現れたので教名を闢北佛教と稱し羅南美吉町の金鍾式其他の地方有志を役員として去る十一日東本町曹溪寺隣家の布教所で奉佛式を擧行したが當日の會衆は既に五百名に達し益々増加の模樣である

女の手で密輸出
出發間際に取押へらる

横濱港が全焼以來密輸出犯人の根據地が關西に移り昨今神戸から滿洲南支那方面への密輸出事件が頻發してゐるが神戸水上署で數名の女犯人が捕はれた從來の如き乘組員に依らず女親分等が黑幕となつて來たのは乘組員の密輸出は其筋に看破され易いので女變りで其眼をくらまさんとするもので女犯人の中には殖民地の料理屋の女將や仲居等が多く犯人中長春市三笠町山下料理店仲居石田キヌ（）同吉野通り二丁目料理業幾代タデ（）外一名は當時滿洲旅行中の伊藤と共謀し大阪市内で伊藤が手に入れた拳銃二十四挺、彈丸二千四百發、價格四千五百圓を柳行李六個にかくして去る十一日出發のハルビン丸で滿洲に密送せんとする運び中逮捕されたが本犯伊藤は該品物を受取る爲め先廻りして既に歸滿した、又大阪東區大手町一丁目岡部キタヲ（）と云ふ女はハルビン在住の松本一郎と氣脈を通じ松本が大阪で買求めたモーゼルピストル五挺ブローニングピストル十挺實彈三百二十發價格三千圓をハルビン丸で渡滿の間際に取押へられたが本犯三名の行方搜査中（神戸電報）

誠意ない淀橋署
松元と滋野を糺問して 何處までも泥を吐かせる
糸山、武富兩辯護士の談

甘粕事件に關聯して殺人補助の嫌疑ある淀橋署の松元警部補滋野巡査部長は二十一日の軍法會議に喚問されることに決定したが右は山田檢察官の反對があつたにも拘らず糸山、武富兩辯護士が熱心に努力した結果とも見るべきだが右につき兩辯護士は交々法廷で語る『大杉殺し事件には陸軍側は甘粕の上官も其上官も其又上官たる福田大將まで引責したのに淀橋署は云ひ逃ればかりして居る、大杉殺しにはあれ程明白に便宜を圖つて置きながら知らぬ振りをして大杉が居所に居らないかと聞きにやつたり事件の三日後に尾行が發かれたなど、報告して居る、其報告のために甘粕などは累紲の恥を見てゐるではないか、淀橋署側の誠意のないことは森署長が御禮に於て行つた十圓紙幣に見ても判る、松元等は過日取調べを受けた際夫れは鴨志田上等兵が宿つた御禮だらうと言つて居るが夫れでは鴨志田にお櫃の蓋に載せた茶椀の飯と豆腐の味噌汁も十圓寄贈した譯だ廿一日の公判に質問された時の辯護人は飽迄糺問して泥を吐つぱくれてゐるやうなら十八の證據を見せる事件の面白味は之れからだ警視總監から内務大臣までの責任を明かにさせずには置かない。

新しい葉書百萬枚
朝鮮遞信局から遞信省へ注文

本年度中は在來の葉書だけで一般の需用を充し得る豫定であるが遞信當局では年賀狀の特別取扱が廢止されても其總數は昨年と差はないだらうといふ觀測をして居るので萬一に備ふる爲特に遞信省へ交涉して約百萬枚の新葉書きを急造して貰ふことにし本月中には遞信局へ到着する筈であるが新葉書は在來のと異つて表面にも通信文を認められるやうに出來て居るから新はかき賣出しと共に在來のはかきにも表面に通信文を認めて差支へなきものと誤解するものがあるかも知れないがこれは全然許されないのだから間違へないやうに注意する必要があるそれと同時に新はかきには行先市町村宛名等それ〲指定してあるから其指定通り間違へないやうに記入し差出人の住所氏名は下段の通信文欄の最後に書くとに定められてあるから若し從來のやうな書方をすると第一種郵便物として三錢の未納料金を徵收されるから一般に注意しなくてはならない右に就き遞信局の山本監理課長は語る『新はかきの賣出しは來月頃になるであらうが大體新はかきは當局者が内地のみを根據として作製したので市廳府縣名郡區町村字丁目番地と欄を設けたが朝鮮の如き道面里を以て區劃されて居る所には通じない、然しこれも印刷局の復興と共に改正されるであらうから使用期間も短かいだらうと思ふ』云々

僞造貨幣行使 事件判決

岡山縣生れ服部兄外十四名が大正十一年十二月から本年二月頃までの間に僞造貨幣を輸入して、靜岡栃木東京の各府縣で使用した僞造貨幣行使事件は東京地方裁判所にて審理中の處二十日午前十時半判決言渡あり徵役六ケ年以下五年三年二年一ケ年六ケ月と夫れ〲判決云ひ渡しがあつた（東京電報）

泥棒は大工
近所を荒す

去る十五日午前三時頃大邱東城町一〇鄭晋澤方へ泥棒押し入りキッド靴三十五足オーバー一著價格約五百八十餘圓のものを窃盜し又十六日午後七時頃八雲町八五刷業金岩久の留守宅を襲ふて現金六百餘圓を盜み取つた賊あり搜査の結果附近の大工建部勇吉の所爲なる事判明大邱署へ檢擧された（大邱）

荷物拔取
釜山棧橋の
嚴重に取締る

最近釜山棧橋方面に於て倂仕の荷拔き取行爲が頻々として起り荷主側は之が爲め非常の迷惑を感じて居るが其手段方法等頗る巧妙を極めて從々被害增大の傾向があるので之れが取締に關し十九日釜山地方法院檢事正は特に水上警察署司法主任を招致し今後は之等不正行爲の撲滅を期する爲め嚴重なる取締方法につき示達する處があつたので兩署に於ても特に此方面に注意を拂ひ徹底的檢擧を開始する筈で此際荷主側に於ても被害の場合は詳細なる被害申告を提出する樣相當機關に向つて夫々通達する處があつた（釜山）

小學校教員 同盟休校
校長を彈劾

東京府下王子町第三瑞光小學校教職員二十九名中首席訓導平山五助以下二十名は多年倉澤校長の間に不平を生じ反目の結果去月二十七日突如前記二十名が病氣を理由に缺勤屆を出して同盟休校をしたのみならず吾々は倉澤校長を信頼せずとの四項十七件に亘る長文の彈劾書を作成し上司に提出したので郡役所でも目下事實の眞相を取調べ中であるが教員の同盟休校は餘り類がない事である（東京電報）

遭難船に屍體

富川郡文鶴面東春里鹽田第一區附近の海中に去る十四日午後遭難船あるを同所派出所に屆け出でたるものあり係官現場に急行調査した結果永宗面中山里金容議（）所有のものと判り乘組中の同人も船共遭難死亡して居り多分去る十二日の暴風に遭ひ難破したもの〻如く損害約三百七十圓位の見込み（仁川）

剃刀で自殺
幸に生命は取止む

大邱三笠町無職内山鉄太郎（）は十八日午後一時頃自宅に於て鋭利なる剃刀を咽喉部に突き立て自殺せんとしたが家人に發見され生命は取り止めたるが負傷の事とて非常な騷ぎであつた原因は不景氣のところへ家族三人もあるので多分生活難の爲めならんと（大邱）

看守教習所修業式

朝鮮總督府看守教習所では二十日午後二時より第二十五期看守教習生の修業式を擧行し所長士居典獄は修業生に對し修業證書及賞與の授與をなし教官總代宮崎速任氏の祝辭並に訓話あり生徒總代山口孝熊氏の答辭あつて式後記念撮影をなし茶菓の饗應ありて午後五時終了した因に優等生は山口孝熊、池上貞治、工野茂吉、龜井哲之助

向上會館觀覽

東京へ轉任する事になつた南山本願寺別院輪番溪内弌惠師が朝鮮の文化に資する目的で建設した府内天然洞の向上會館は昨秋竣工と同時に著々豫定の事業を進めて居るが今度溪内師が前記の理由から京城を引拂ふことになつたので是を機會に同館の事業を紹介すべく取敢ず二十一日午後四時から各新聞通信記者を招いて内部の觀覽を請ふ事になつた

喜代中の新築披露 旭町一丁目の料理屋喜代中では今度其の新築が落成したので廿三日午後六時から盛大な披露宴を催す事になつた

藤井儀作氏夫人 藤井ます子氏は釜山運輸事務所長藤井儀作氏夫人釜山府立病院に入院中十九日午前死亡した

本社主催
專門學校劍道大會

日時　二十三日（祭日）正午より
場所　黄金町二丁目京城武德館

參加校
高等工業學校・醫學專門學校・高等商業學校・選手一校より十二名宛

參觀歡迎

當選御禮
今般仁川府協議會員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは偏に有權者各位の深甚なる御同情の賚と厚く御禮申上候 敬具
大正十二年十一月二十日
高木助市

當選御禮
今般仁川府協議會員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは偏に有權者各位の深甚なる御同情の賚と厚く御禮申上候 敬具
大正十二年十一月二十日
金相圭

當選御禮
今般仁川府協議會員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは偏に有權者各位の深甚なる御同情の賚と厚く御禮申上候 敬具
大正十二年十一月二十日
丁致國

當選御禮
今般仁川府協議會員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは偏に有權者各位の深甚なる御同情の賚と厚く御禮申上候 敬具
大正十二年十一月二十日
朱命基

當選御禮
今般仁川府協議會員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは偏に有權者各位の深甚なる御同情の賚と厚く御禮申上候 敬具
大正十二年十一月二十日
金允福

當選御禮
今般仁川府協議會員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは偏に有權者各位の深甚なる御同情の賚と厚く御禮申上候 敬具
大正十二年十一月二十日
鄭順澤

日用品　食料品　和洋酒　淸涼水　朝鮮特産物　旅行用具　魔法瓶　運動具　文房具　帽子類　洋服及附屬　吳服類　製靴　ゴム底靴　國際蓄音機

早くて親切

印刷インキ　各種時計　貴金屬　書籍出版　和洋雜貨　毛布膝掛　クラブ　化粧品　パイン　萬年筆　人蔘洋羊羹　各種エキス　開城白蔘　本場九谷燒　其他各種

▲わが代理部は最も安價に最も親切に又最も迅速に通信販賣をいたします
▲如何に遠方の地方でも御注文次第直に小包郵便（品により運送便）で發送いたします
▲御注文に對しては最も堅牢な新流行品を選擇してお求めに應じます
▲送品が萬一お氣に召さぬ時は何回でもお申越に從ひお取替へいたします（送料當部負擔）
▲御注文は前金か代金引換便で宜しう御座いますが物によつては内金を頂戴いたします
▲品物を多數お纏めになるか或は多數で共同購入になれば非常に安價につきます
▲代金引換便は割合に高價になりますので出來る事なら前金拂込の方が御德用であります
▲其他何んでも皆樣の代理部として御取次致しますから何卒續々御注文を願ひます

朝鮮總督府遞信局、各專賣購買組合、朝鮮總督府各警察署、銀行、會社、指定店
京城日報代理部
電話光化門長四〇〇番　電話光化門局六二二番　電話構内一九二三番　振替口座京城三〇〇番

當選御禮
今般仁川府協議會員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは偏に有權者各位の深甚なる御同情の賚と厚く御禮申上候 敬具
大正十二年十一月二十日
河野竹之助

當選御禮
今般仁川府協議會員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは偏に有權者各位の深甚なる御同情の賚と厚く御禮申上候 敬具
大正十二年十一月二十日
後藤連平

當選御禮
今般仁川府協議會員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは偏に有權者各位の深甚なる御同情の賚と厚く御禮申上候 敬具
大正十二年十一月二十日
加來榮太郎

當選御禮
今般仁川府協議會員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは偏に有權者各位の深甚なる御同情の賚と厚く御禮申上候 敬具
大正十二年十一月二十日
平山松太郎

當選御禮
今般仁川府協議會員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは偏に有權者各位の深甚なる御同情の賚と厚く御禮申上候 敬具
大正十二年十一月二十日
張錫佑

當選御禮
今般仁川府協議會員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは偏に有權者各位の深甚なる御同情の賚と厚く御禮申上候 敬具
大正十二年十一月二十日
丹羽茂三郎

當選御禮
今般仁川府協議會員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは偏に有權者各位の深甚なる御同情の賚と厚く御禮申上候 敬具
大正十二年十一月二十日
美濃谷榮次郎

當選御禮
今般仁川府協議會員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは偏に有權者各位の深甚なる御同情の賚と厚く御禮申上候 敬具
大正十二年十一月二十日
力武嘉次郎

當選御禮
今般仁川府協議會員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは偏に有權者各位の深甚なる御同情の賚と厚く御禮申上候 敬具
大正十二年十一月二十日
藤井八重藏

魂の力（第百十八回）

中川雨之助作　小寺柳村畫

血の滴り

「宜しい。そこ迄汝が僕の要求を避けるなら、僕も既う斷じて頼まん。その代り、汝は惡盜の罪で警察へ引かれるんだ」

立上がつた大館が、さう言つて冷やかに見下した。その足下には京子が姿を亂して泣伏てゐた。

それは瀧池の、ある待合の一室であつた。郊外の路で大館の爲に脅かされて歸つたその翌日、京子は病院へ行つてみやうといふ氣にもなれず、そのまゝ暗い不安な心持で家に引つ込んでばかり居たが、夜になると瀧池の待合から口がかゝつて來た。

京子はそれが大館であるらしく思はれてならなかつた。彼女は大館の座敷へ行くことが、魔の淵へでも近づいて行くやうで不安でならなかつた。併し然らかといつて行かずに居るのも何となく心臆りでならなかつた。

思ひ切つて來てみると、やはり客は大館であつた。大館は昨夕よりも更に露骨に更に執固く迫つて來た。けれども京子は必死となつて爭つた。さうして、その時にも佝且懷に持つてゐた二千圓を、大館の前に差出して、自分の罪を謝したのであるが、大館は耳にも聽けなかつた。

さうして彼は最後に、怒つて立上がつたのであつた。

『待つて下さい〳〵』

京子は、涙の中から、血を吐くやうに言つた。

『待てと云ふなら待つても還るが僕はもう何時までも、同じ事を繰返してゐるのは厭だ。お前だつて人を焦慮すも宜い加減にすれば宜いぢやないか』

大館の勝誇つたやうな眼が、ぢつと京子を見下した。

京子は默つて、猶も泣きつゞけた。

それからもの三十分も經つてから後であつた。突然消魂ましい物音が、眞夜中の靜けさを破つてその待合の一室から起つた。そして、それと同時に襖の外へ逃げ出さうとした京子の襟髮が、後から無闇と大館の爲に摑まれてゐた。そして大館は片手で左の眼を押へてゐた。その手の甲を傳つて、血が赤い毛糸が絡んだやうに流れてゐた。

脱れやうとして藻搔いてゐる京子の右手には、彼女の釵が固く握られてゐた。そしてその釵を握つた手にも、血が着いてゐた。

彼女は大館のために追られて、彼のために女としての生命を奪はれるか、然もなければ盜人として警察に行くか。何方かを擇ばねばならぬ破目にまで追詰られた。併し大館の目的は最初から京子の肉を得んとするのであつた。二千圓も警察も、只その方便に使はれてゐるに過ぎないのであつた。

いよ〳〵最後といふ時が來た。纖弱い京子の腕が、大館の逞い力に抱き窄められて、危險が目前に迫つた時、京子は我にもあらず自分の釵を拔いて、無暗やたらにそれを振廻した。

別段そこを狙つた譯ではなかつたが、京子の振廻した釵が大館の左の眼を深く突き刺した。

逃げやうとする京子を捉へながら、大館は眼の痛みに堪へ兼ねて大聲を立てゝ人々を呼んだ。

女中も女將も、その聲に驚いて起きて來た。そしてそれが血を見るやうな騷ぎであつたので、彼等は一層驚き狼狽した。

『ねえ大館さん、後生ですから、警察へ屆けないで、萬事內濟に躊すつて下さいまし』と女將や婢たちが、泣かんばかりにして左右から勸むのを退けて、大館は遂に警察へ屆させた。彼は眼の痛みと、酒の醉とで心が亂れてゐた。自身の名譽などを考へるだけの餘裕が無かつたのだ。

警官が來た。大館からの訴へを聞いた警官は、やがて京子に警察へまで一緒に行けと命じた。

京子はフラ〳〵として立上つた。彼女の顏色は、死人のやうに蒼ざめて居た。彼女の眼にはモウ涙が涸れ切つてゐた。

京日文苑　投稿歡迎

選歌　題「香」尾上柴舟選
俳句　題「入營」內藤鳴雪選
川柳　題「錢湯」井上劍花坊選
締切　十一月卅日（各類共）
賞金　天一圓半、地一圓、人半圓
注意　一題一人三句、各選別紙、用紙葉書、雅號住所氏名明記、京城日報社「京日文苑」宛の事
其他　各地會稿歡迎

俳句　內藤鳴雪選

題『月』―（九）―

○京城　丹山
月の出や見る間に丘を越えて射す
○開城　かもめ
月の川下す筏に酒酌みて
○京城　大眼
月の夜を又捨て難き假寢哉
○京城　定介
溢れ井に碎くる月の淸水かな
○大田　國花
月を見て歌の昔を語りけり
○新義州　良子
風も死してポプラ動かぬ月夜哉
○京城　自在丸
繊蕾に隣と月の話し哉
○京城　碧堂
月の出を待つ人多し丘の芝
○議政府　閑山
名月やぶらり〳〵と池の端
○鎭海　珍貝
宵の子は腰で仕舞ひけり夏の月
○平壤　相翠
牧童の歸る小路や宵月夜
○龍山　ゆふき
浦人にまじる女や今日の月
○京城　三星
夜を濯ぐ人もありけり今日の月
○京城　兎平
月すごく杉の木立を照しけり
○陽川　古城子
月一つ古城を照す夜更哉
○龍山　濟香
漢江の流れて盡きず月明り

枯野句會（京城栗香居）

軒裏に蜂の巢一つ茶の木咲く　綺楓
宵戶口障子洗ふや暮易し　番茶
茶の花道ともすれば見ゆる家　番茶
蜜柑畑に續く茶の花咲きにけり　有年
茶の花や色鳥歩む高畑　有年
コスモスに串柿白く乾きに鳬　紫光
淋しさや爐に火を焚くや暮の秋　紫光
日當りて納屋の戶溫き花茶哉　巖
茶の花の蕋ふくよかの日和哉　巖
茶の花のこぼれて溫き畑哉　巖
蒸氣湯の音胸を打つ冬の朝　蝸盧
宿直室の前なる小庭花茶哉　楠歐
芋汁や婢好みてよく吸へり　吸紅
蔭の地に音する落栗高み哉　耕牛
茶の花や眞蓮散りゐる日向土堤　耕牛
茶の花やダラ〳〵坂を登り行く　栗音
霧微に降る雨に茶の花靜か也　栗音
茶の花の膨らみ持ちし丸さ哉　宏堂
合歡の木の實に秋時雨哉　宏堂
夕刊に眠たくなりし炬燵哉　宏堂
茶の花や襟に編み居る僧の妻

◇寒い夜のまどゐ……（松葉居）
溫突のほてり程よき欠伸哉　松葉
溫突に尿壺暗く光りけり　同
溫突の廊道ふ柿や雨暮る　同
溫突にあたゝまり聞く夜の砧　耕牛
木枕や溫突の夢結ぼれす　同
曉近き溫突やゝに冷えに鳬　同
溫突や酒壺の燈の吊りばかち　泉園
牛飯や溫突せまく暮る市　同
溫突の匿々と寺とまりかな　同

川柳　井上劍花坊選

題『踊』……九……

七客の一　京城本町　曉星
踊子の足よんどころなくふとり
七客の二　慶北尙州　不知坊
踊から拔けて淋しい方へ行き
七客の三　孝子洞　董麟
女房の目光つて踊やめになり
七客の四　安東縣　呑草
地の方を見て右の足一ッ踏み
七客の五　京城　靜之助
乳放しにもし〳〵龜を踊らせる
七客の六　京城　赤短冊
ぐつたりと踊り疲れた孔雀なり
七客の七　京城　五曉
踊りとはいはずに天理教踊り
人　龍山　十の字
目くばせをして踊から二人ぬけ
人　京城　木蔭
脇息の方へ手をつく舞仕舞
地　鳥致院　吹竹
踊りたい氣を愁傷の型にはめ
天　鎭海　珍貝
盆踊り男の膝へ來てつかれ

評　かういふ句をとめば天に拔けると誤解してはいけない。この大膽さ、この力強さ、直ちに人を厭するものがある。

文鶴吟社川柳（三川）

來た時の新で留生二年も　樂天子
檢査場お次は着物掛けて待ち　同
本場一所に並ぶ留生部屋　虎之助
日曜日貯めた新聞に下宿を問ひ　正樂子
門にある車に歸宅首を曲げ　同
借りてゐる店に無駄な路を踏み　化堂
店仕舞ひ一だけに好く歸り　醉亭坊
披露會學生の腰の忙しさ　風來坊
日曜の朝寢を決めて夜を更かし　同
朝寢に皆が並ぶ日曜日　虎之助
花見にも下女も年頃で赤い帶　同
女の子丈に色物付けたがり　正樂子
するい目で客を待つてる店火鉢　同
會議者冗談も出る歸り途　虎之助

◇松の實幹部慰勞句會　此程發刊となつた『松の實』誌の幹部淺藏誰城、楠瀨俳人、安達綠童三氏の發刊中の勞を謝するため來る二十二日午後六時から市內京城俱樂部で慰勞俳句會を開くべく同志を勸誘してゐる。出席希望者は當日開會時刻までに申込まれたいと。會費金二圓

◇五の日十の日句會　碧梧桐氏の來城によつて著しく句作熱を煽られた五の日十の日會では二十二日午後六時より和泉町十三號官舍山下鳴洋氏方で句會を開催する由同好者の出席歡迎

新刊紹介

大震記（日本評論社編）今回關東を襲ふた大震災は生靈と富とを壓滅し眞に大正の國難とも稱すべきもので之か復興に就いては我國民は經濟的負擔のみでなく全國民を貫く新興意識に依らねばならぬ本記は評論社同人が震災と同時に懸命の努力に依り實地踏査の上或はペンに或は寫眞によりて正確なる國難の消息を傳へる爲めに編纂され子孫永遠に殘し得る大正國難史ともいふべきものである（一圓五十錢東京本鄕區弓町二ノ二五日本評論社出版部）

▲月球圖（西岡芳雅氏著）此の月球圖は天體望遠鏡に映じたるものを製圖したもので好參考資料たるばかりでなく月體に關する歌を附し說明を容易にしてある（十五錢大連浪速町大阪屋號）

讀者から

府協議選擧に關し東部有志者として十五名の推薦状に曰く『前略…三上豐君は府協議員にも適當の候補者と認定致しましたから東部は勿論』とあるが東部の有權者は貴下等に認定方を委任したのか又貴下等の會合で認定されたのか余は三上君の人格に異議なきも推薦者の僭越を快とせぬ一人である（東部有權者）▲新築二階建六疊敷二間に學生並に會社員を安價で家族的に世話します（櫻井町二の二三一明澗）▲賄付貸間あり（京龍留裏桐山）▲獨身教育者家庭的下宿を望む（東大門小學校河村）▲四十五才の官吏家族的お世話下さい（明治町一の七小栗）▲專門學校へ通學の貧書生です家庭教師か書生に屆はれたし（花苑洞一一五山內義雄）▲苦學生を黃金町大平町邊りで家族的にお世話下さい（若草町六四龍方村田）▲副業共進會に出品してゐたストーブ（ヒーター付五十圓）は何れの店で販賣してゐますか（鍾生）▲本町三丁目郵便所窓口へ寢口が忘れた婦人の方へ該品は郵便所へ預けてあります（老生）▲電話局其他女事務員はたいてい木で鼻をこするやうな取扱で不親切ですが十一日午後五時十五分頃の光化門局交換手第五四號さんはなか〳〵親切敏速で特に其營業を使ひが實に丁寧でした（感心生）△筆者の住所氏名なき投書は採らず（係）▲『文藝春秋』第十一號迄り紙十號迄お讓り下さる方なきや（南山町二宮下方高須生）

不動産競賣期日公告

左ノ不動産ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

大正十二年十一月廿七日　京城地方法院

競賣期日大正十二年十一月廿七日　午前十時
競落期日大正十二年十一月三十日　午前十時

一、京城府光化門通百拾參番地
垈五拾四坪
最低競賣價額金千六百二十圓
右地上建設
一、木造瓦葺平家建本家　壹棟
此建坪貳拾貳坪參合
附屬木造瓦葺平家建　壹棟
此建坪四坪六合九勺五才
最低競賣價額金六百七十二圓
申立人　尹[illegible]泰
債務者　宇山佐一

抱川郡西面塔洞里四四參番地
一、田四九參坪
最低競賣價額金十五圓
一、同里四四貳番地　田貳六九坪
最低競賣價額金八圓
一、同里四四五番地　田五貳壹坪
最低競賣價額金十六圓
一、同里四五貳番地　田壹六五五坪
最低競賣價額金五十圓
一、同里四五參番地　田四七〇坪
最低競賣價額金十圓
一、同里四五五番地　田九壹貳坪
最低競賣價額金三十二圓
一、同里四六參番地　田八七五坪
最低競賣價額金五十七圓
一、同里四七〇番地　田壹參九參坪
最低競賣價額金四十二圓
一、同里四七壹番地　田七五貳坪
最低競賣價額金二十三圓
一、同里四七五番地　畓貳參五坪
最低競賣價額金三十五圓
一、同里四七六番地　田壹壹參坪
最低競賣價額金九圓
一、同里四八貳番地　田貳參參坪
最低競賣價額金八圓
一、同里四八參番地　田九九五坪
最低競賣價額金二十五圓
一、同里四九〇番地　田貳參八八坪
最低競賣價額金六十圓
一、同里四九壹番地　垈六參貳坪
最低競賣價額金百圓
一、同里四九四番地　田壹貳壹五坪
最低競賣價額金三十七圓
一、同里五七六番地　畓四六五坪
最低競賣價額金七十五圓
一、同里五七七番地　田五貳八坪
最低競賣價額金四十二圓
一、同里四八九番地　田六六壹坪
最低競賣價額金二十三圓
一、同里五七八番地　田參九八坪
最低競賣價額金二十八圓
一、同里四五四番地　田壹四八坪
最低競賣價額金十二圓
申立人　佐々木タカ
債務者　李長埈外六名

京城府勸農洞五拾番地
一、垈參拾六坪
最低競賣價額金二百八十八圓
右地上
一、木造草葺平家建本家　壹棟
建坪拾八坪貳合五勺五才
最低競賣價額金三百圓
申立人　田村俊次郎
債務者　閔丙淑外一人

高陽郡龍江面新九德里百貳拾九番地
右地上建設
一、木造草葺平家建本家　壹棟
此建坪拾貳坪五合
最低競賣價額金九十圓
申立人　三澤佐四郎
債務者　文永俊

楊州郡柴屯面議政府里二百十四番地上
一、木造草葺平家建本家　壹棟
此建坪拾坪參合貳勺
附屬木造草葺平家建物置　壹棟
此建坪五坪五合五勺
最低競賣價額金二百五圓
申立人　金世榮
債務者　李基貞

高陽郡漢芝面下往十里八百五拾參番地
一、垈壹百參拾參坪
最低競賣價額金百三十三圓
右地上建設
一、木造草葺平家建本家　壹棟
此建坪拾坪六合八勺
附屬建物
一、木造草葺平家建納屋　壹棟
此建坪拾坪貳合七勺
最低競賣價額金二百八十圓
申立人　李圭顯外一人
債務者　洪淳龍

京城府漢江通七拾貳番地上
一、木造瓦葺貳階建本家　壹棟
此建坪貳拾參坪五合
外貳階坪拾五坪
最低競賣價額金千三百五十圓
申立人　大坪文吉
債務者　上田兵三郎

高陽郡中面白石里六百十番地
一、畓七百參拾六坪
最低競賣價額金八十八圓
一、同里六百貳拾四番地　畓五百八拾七坪
最低競賣價額金七十圓
一、同里六百四拾四番地　畓貳百八拾五坪
最低競賣價額金四十九圓
一、同里六百五拾四番地　畓千貳百四拾七坪
最低競賣價額金二百十二圓
一、同里六百五拾七番地　畓七百九拾坪
最低競賣價額金二百三十七圓
一、同里七百參拾貳番地　畓五千貳百貳拾坪
最低競賣價額金八百八十八圓
一、同里八百參拾貳番地　畓百四拾五坪
最低競賣價額金十七圓
一、同里八百五拾四番地　畓六百四拾四坪
最低競賣價額金七十八圓
一、同郡同面馬頭里三百四十九番地　畓千五百拾四坪
最低競賣價額金百八十二圓
一、同里五百貳拾七番地　畓千九百參拾八坪
最低競賣價額金二百三十三圓
申立人　西川健太郎
債務者　孟宗洙

京城府長沙洞百拾七番地ノ壹
一、垈七拾八坪
最低競賣價額金千百九十圓
右地上建設
一、木造瓦葺平家建本家　壹棟
建坪貳拾九坪八合
附屬木造瓦葺平家建　壹棟
此建坪六坪
最低競賣價額金千二百六十圓
申立人　長尾文吾
債務者　李圭大

始興郡北面黑石里壹百貳番地ノ壹
一、田壹百八拾四坪
最低競賣價額金二十四圓
一、同所貳百四拾壹番地ノ壹　田貳百八拾四坪
最低競賣價額金二十六圓
申立人　尹茂榮
債務者　禹致天

京城府桂洞十五番地ノ七
一、垈八拾六坪九合
右地上
一、木造瓦葺平家建本家　壹棟
建坪拾貳坪
附屬木造瓦葺平家建　壹棟
建坪拾九坪五合
最低競賣價額金千七百三十五圓
申立人　李桂植
債務者　金宗鎬

高陽郡漢芝面上往十里六百八拾九番地
一、垈七拾壹坪
最低競賣價額金三十六圓
右地上
一、木造草葺平家建本家　壹棟
建坪五坪〇七勺
最低競賣價額金三十圓
申立人　金東鎭
債務者　裵培元

楊州郡九里面土坪里四百十二番地
一、垈百五十九坪
最低競賣價額金二十三圓
一、同所四百九拾貳番地　田九百拾壹坪
最低競賣價額金五十四圓
一、同所五百貳番地　田六百拾貳坪
最低競賣價額金六十一圓
一、同所八百四拾番地　田八百九拾七坪
最低競賣價額金八十九圓
一、同所八百五拾七番地　田九百七拾四坪
最低競賣價額金六十八圓
一、同所六百拾番地　田八百拾五坪
最低競賣價額金八十一圓
一、同所六百拾貳番地　田八百八拾六坪
最低競賣價額金百六圓
一、同所六百六拾參番地　田五百七拾七坪
最低競賣價額金六十九圓
一、同所七百五拾四番地　田七百七十六坪
最低競賣價額金九十三圓
一、同所貳百七拾八番地　田千七拾壹坪
最低競賣價額金百二十八圓
一、同所貳百七拾九番地　田七拾參坪
最低競賣價額金二十六圓
一、同郡同面木檪里八百參拾番地　畓百四拾壹坪
最低競賣價額金十圓
一、同所五百九拾六番地　田參百拾六坪
最低競賣價額金十八圓
一、同郡同面土坪里六百拾壹番地　田壹萬百八拾坪
最低競賣價額金千二百二十一圓
一、同所貳百七拾番地　田貳千貳百七拾貳坪
最低競賣價額金二百七十二圓
一、同所六百貳拾壹番地　田貳百拾五坪
最低競賣價額金二十五圓
一、同所六百貳拾四番地　垈百九拾貳坪
最低競賣價額金二十三圓
申立人　株式會社殖産銀行
債務者　閔顯慶大郎外一人

京城府山手町百六拾貳番地
一、垈參拾參坪
最低競賣價額金二百六十四圓
右地上
一、木造瓦葺平家建本家　壹棟
建坪九坪五合
附屬木造草葺平家建　壹棟
建坪參坪壹合貳勺五才
最低競賣價額金二百三十四圓
申立人　山名タキ
債務者　趙寧明

京城府倭城臺町南山公園內拾號地
一、木造瓦葺貳階建本家　壹棟
建坪貳拾坪八合七勺
外貳階坪參坪七合五勺
最低競賣價額金三百二十圓
申立人　池田與三郎
債務者　堤伊六

始興郡君子面竹栗里參百五拾四番地
一、畓參百貳拾壹坪
最低競賣價額金九十圓
一、同所參百七拾四番地　畓六百貳拾貳坪
最低競賣價額金百七拾四圓
一、同所五百五拾九番地　畓四百四拾貳坪
最低競賣價額金百二十四圓
一、同所六百五拾九番地　畓九百四拾四坪
最低競賣價額金二百六十五圓
一、同所七百拾番地　田五百九拾四坪
最低競賣價額金四十八圓
申立人　朴晚萬
債務者　金成文

京城府並木町九拾七番地
一、垈四拾坪
最低競賣價額金九百二十圓
右地上建設
一、木造瓦葺平家建本家　壹棟
此建坪拾四坪壹合五勺
最低競賣價額金八百五十圓
申立人　村田源三
債務者　車辰甲

京城府西四軒町百四拾參番地
一、垈貳拾參坪
最低競賣價額金二百七圓
右地上建設
一、木造草葺平家建本家　壹棟
此建坪九坪七合
最低競賣價額金百二十圓
申立人　村田源三
債務者　金鎭煥

京城府昭格洞八十五番地
一、垈貳拾貳坪
最低競賣價額金二百六十四圓
右地上
一、木造草葺平家建本家　壹棟
建坪拾貳坪八合四勺
最低競賣價額金二百六十圓
申立人　鮮滿興業株式會社
債務者　崔貞[illegible]

高陽郡崇仁面踏十里四百貳拾四番地
一、田貳百四拾坪
最低競賣價額金五十三圓
一、同所四百貳拾六番地　垈壹百五拾九坪
最低競賣價額金五十六圓
申立人　姜錫淳
債務者　崔聰

京城府館洞七拾貳番地
一、垈貳拾壹坪
最低競賣價額金百十五圓
右地上建設
一、木造草葺平家建本家　壹棟
建坪拾參坪五合六勺
最低競賣價額金百六十圓
申立人　金錫奎
債務者　金聖祚

京城府茶屋町參拾九番地
一、垈七拾四坪
最低競賣價額金二千五百九十圓
右地上
一、木造瓦葺平家建本家　壹棟
建坪拾七坪五合八勺
附屬木造瓦葺平家建　壹棟
建坪拾四坪八合七勺
附屬木造瓦葺平家建　壹棟
建坪壹坪參合六勺
附屬木造瓦葺平家建　壹棟
建坪參合
最低競賣價額金千七百五圓
申立人　樋口若太郎
債務者　李重赫

楊州郡榛接面八夜里三百九拾五番地
一、田七拾坪
最低競賣價額金八圓
一、同所六百四拾七番地　畓四拾貳坪
最低競賣價額金五十一圓
一、同所六百四十八番地　畓百六拾六坪
最低競賣價額金五十九圓
一、同所六百四拾九番地　田四百貳拾七坪
最低競賣價額金五十一圓
申立人　高喆
債務者　李秀英

京城府黃金町參丁目百貳拾八番地
一、垈貳拾七坪
最低競賣價額金八十一圓
右地上所在
一、木造草葺平家建本家　一棟
建坪五坪七合六勺
最低競賣價額金九十八圓
申立人　提喜三郎
債務者　安[illegible]謙

京城府永樂町壹丁目六拾參番地
一、垈拾貳坪
最低競賣價額金三百圓
右地上所在
一、木造瓦葺平家建本家　壹棟
建坪八坪參合七勺
最低競賣價額金二百十圓
申立人　岡野健太郎
債務者　朴昌順

高陽郡纛島面中谷里百參拾六番地
一、田八百九拾九坪
最低競賣價額金百八圓
申立人　李昌林
債務者　崔天夫

高陽郡龍江面東幕上里壹〇九番地
一、垈參百拾五坪
最低競賣價額金七百八十七圓五十錢
右地上建設
一、木造瓦葺平家建本家　壹棟
此建坪壹百貳拾七坪四合參勺
最低競賣價額金二千五百五十圓
一、同里壹〇番地　垈七拾坪
最低競賣價額金百七拾五圓
右地上建設
一、木造瓦葺平家建本家　壹棟
此建坪參拾參坪貳合六勺五才
最低競賣價額金七百三十圓
一、同里壹八六番地　垈八拾四坪
最低競賣價額金二百五十二圓
右地上建設
一、木造瓦葺平家建本家　壹棟
此建坪貳拾四坪貳合壹勺五才
附屬木造瓦葺平家建　壹棟
此建坪參拾參坪八勺五才
最低競賣價額金八百七十五圓
一、同所壹〇四番地　垈四拾八坪
最低競賣價額金九十六圓
一、同所壹壹貳番地　垈九拾八坪
最低競賣價額金百九十六圓
申立人　陸定洙
債務者　朴寅燾

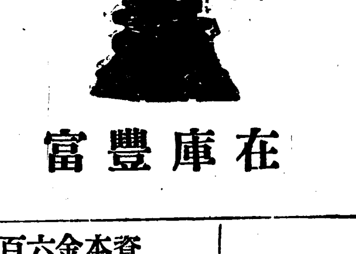
高陽郡崇仁面踏十里百拾壹番地
一、田八拾九坪
最低競賣價額金五圓
一、同所百拾九番地　田六百四拾八坪
最低競賣價額金九十七圓
一、同所百貳拾壹番地　田五拾參坪
最低競賣價額金十圓
一、同所四百四番地　田貳百參拾五坪
最低競賣價額金三十五圓
申立人　朴潤瑀
債務者　金顯禹

京城府元町貳丁目六拾七番地
一、木造瓦葺平家建本家　壹棟
建坪拾六坪
最低競賣價額金二百八十八圓
申立人　桂川末吉
債務者　山下留助

京城府元町貳丁目六拾七番地
一、木造瓦及鉛丹葺貳階建本家　壹棟
建坪七坪九合
外貳階建四坪九合
內鉛丹葺參坪九合
最低競賣價額金三百六圓
申立人　大和與次郎
債務者　山下留助

京城府麻浦洞百七番地
一、垈參百五拾壹坪
最低競賣價額金千七百五拾五圓
右地上
一、木造瓦葺平家建本家　壹棟
建坪四拾參坪八合
附屬木造瓦葺平家建　壹棟
建坪壹坪六合貳勺
同木造瓦葺平家建　壹棟
建坪八坪九合四勺
同木造瓦葺平家建　壹棟
建坪參坪五合壹勺
同木造瓦葺平家建　壹棟
建坪六坪四合
同木造瓦葺平家建倉庫　壹棟
建坪參拾九坪九合
同木造鉛丹葺平家建倉庫　壹棟
建坪參拾九坪九合五勺
最低競賣價額金四千四拾圓
申立人　株式會社漢城銀行
債務者　金溶植

外科・內科・皮膚花柳病科・エッキス光線及電氣科（院內隔離室・普通及隔離室）
京城府旭町二丁目四
島崎病院
院長　島崎龍
電話　病院本局二七三六番　院長本局二六九三番

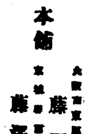
測量諸機械

在庫豐富
京城本町一丁目
篠崎商店
電話本局一三〇三番　振替口座京城一五四八番

藥
強第一
効切本位
在庫豐富
出荷迅速
釜山辨天町一丁目
合資會社　大黑南海堂
電話長四〇五　三七一
振替京城四五六

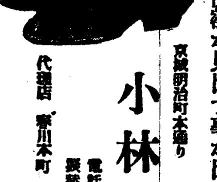
鼻耳內服藥
チクノール
蓄膿症……肥厚性鼻炎
等難病を短時日の內服で治し腦神經衰弱にも卓効あり
價十日分三圓五十錢、廿日分六圓五十錢送料四十五錢
新聞名記入申込者に「鼻耳の衛生書」無代進呈
服用者禮狀集
東京西巢鴨宮仲二六六八
製造發賣元　三鱗製藥社　振替東京四二一一六番
朝鮮代理店　京城本町一丁目　山岸天佑堂　振替京城二〇三番
類似品續出チクノールの名稱御注意

賛化病院
京城明治町一丁目
電話二四番
內科　小兒科
入院隨意
毎日五名を限り施療す
醫學博士　古城憲治

正しき補血強壯增進劑
ブルトーゼ
虛弱者の強健化と
健康者の精力增進
三大特長
一、芳香美味良藥にしてロに快し。
二、絶對に胃腸を害せず食慾增進す。
三、速かに消化吸收せられ血を增し肉を肥す。
故に貧血諸病、病後の衰弱、虛弱者、神經衰弱、姙婦、產後、授乳母、身神過勞、虛弱兒童等に適し無病の者は榮養を增し精力を强くす。

種類及賣價
補血強壯增進劑　單味ブルトーゼ　[illegible]
神經性疾患特効劑　アルゼンブルトーゼ　[illegible]
腺病質特効劑　ヨードブルトーゼ　[illegible]
健胃補血強壯劑　キナブルトーゼ　[illegible]
呼吸器系疾患特効劑　グアヤコールブルトーゼ　[illegible]
說明書進呈
賣捌　各地藥店にあり

本舗　大阪市東區道修町二丁目　藤澤友吉商店
京城本町四丁目　藤澤友吉京城支店
代理店　[illegible]　合名會社　高井商店

資本金六百萬圓
明治三十八年設立
當銀行ハ預金貸金爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城府南大門通一丁目十四番地
株式會社　漢城銀行
頭取　韓相龍
電話長光化門八一番　振替口座京城二一〇五番
支店所在地　水原・平壤・大田・開城　京城南大門・釜山　東京・大阪　京城東大門・大邱
出張所在地　東幕・平壤大和町・京城西大門・京城本町

特別の技能を有する當店に御注文の御希望の方は形ロクの御請求を乞ふ必ず御滿足の出來るスタイルと價額が見出す事が出來ます

京城明治町本通り
小林靴店
電話本局三五七一番　振替京城五九六番
代理店　榮川本町　中村商店

京城日報

（朝夕刊合せて十頁）
本紙定價　每朝夕一部金五錢　壹ヶ月金壹圓二十錢　▲參ヶ月同三圓六十錢　▲六ヶ月同七圓二十錢　郵稅共前金　▲地方代用郵券割增
廣告料　五號十五字詰壹行一圓二十五錢　▲二號活字七字詰同二圓五十錢　▲特別同六圓　▲四號十字詰同三圓
發行兼編輯人　泥谷良次郞
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社

伊太利の外交方針

首相上院において聲明

【羅馬十七日發電】伊太利首相ムッソリニー氏は本日上院に於て長廣舌を揮ひ政府の外交方針を聲明したが一節に曰く

伊太利は獨逸に對する聯合國の態度に關し英國と大體意見を同じうするものである、久しく魯所の月を眺めてゐた前獨逸皇太子も其の宿望が叶つて歸國を許されるが英國の如きは之に對し非常に神經を尖らし彼を國外に放逐せよと迄云つて居る併し之は決して賢明なる策ではなく徒らに問題を錯綜せしむるに過ぎないであらう、尙ほ伊太利は之れ以上に獨逸の領地を占領せんとする凡ての計畫に反對するものである、吾人は獨逸人の存在を認めこそすれ彼等の滅亡を席捲ふが如き事は思ひも寄らざる所である、

氏は又聯合國賠償問題に關する伊太利側の意見として左の六箇目を擧げ之を以て折衷的提案だと附言した

一、獨逸の賠償金額が削減されたる場合は聯合國間の債務に就ても之と同一の削減を行ふ事 一、獨逸に對し支拂猶豫を爲すこと、但し物品賠償は此の限りに非ざること 一、獨逸に保證責任の契約を行はしむる事 一、獨逸が之を履行した場合は直ちに占領地帶より撤兵する事 一、獨逸の內訌に干涉せざる事、尤も伯林政府が秩序を回復し財政の建て直しを爲す場合に吾人の援助を求めたる場合は精神的又は物質的に力を藉す事 一、領土の變更を認めざる事

氏は又ヤンナ事件に言及して曰く

余はヤンナ事件に對し國際聯盟が伊太利に反對の態度を採つた事を遺憾に思ふ、伊太利は弱少國の爲めに威信を枉げ屈辱する事は忍びなかつたのである、當時聯盟の態度を按ずるに恰も英佛兩國の獨占機關かの觀があつた、伊太利は今更ら聯盟から脫退しようとは言はないが現在の如き不遇の地位に甘んじてゐる譯には行かない、故に伊太利上院は政府の外交政策を承認した

破綻に導く英佛協調

【巴里十九日發電】月曜日の大使會議は恐らく英佛協商の決定的破綻に一歩を近付けたもので最も重要な意味を持つてゐるものと考へられてゐる之れは英佛兩國の立場が明瞭になり兩國の疎隔が益々可能性を增すのみであるからである

ジヨンソン氏立候補聲明

【市俄古電報】ハイラム、ジヨンソン氏は十五日市俄古に於て大統領立候補の意あることを聲明した

米現行移民法修正

埴原大使から抗議

【紐育十七日發電】加州選出上院議員ショートリッヂ氏を始め西部諸州選出上院議員は近日會合を開き現行移民法を修正し日本移民排斥の條項を挿入す可く協議の筈、之に對し埴原大使は如何なる動機に依り如何なる排日を煽動するも米國政府に對し或る種の抗議を試むるものと觀測さる

露國飛行隊編成

【倫敦電報】タイムスガリガより得た通信に依れば露國政府は財政困難に拘らず頻りに飛行機購入に勉めて既に購入したるもの約百五十臺にのぼり來週迄には飛行機隊を完成する筈であると云ふ

露全權殺害犯人無罪判決

【ローザンヌ發電】ローザンヌ會議中露國全權ヴオロウスキー氏を殺害したるコンラヂ及びポルニン事件はローザンヌ地方裁判所に於て公判中の處十六日同裁判所は犯人に對し無罪放免の判決をした

關稅剩金擔保抗議

【北京十九日發電】支那政府は日英米佛の四國公使に通牒を送り九月二十一日支那政府の發表せる財政整理案中、關稅剩餘金を內債擔保に充當する件に對する四國公使の十月十五日附の抗議を拒絕した

鐵道警備提議保留

【北京十九日發電】外交總長顧維鈞氏は十九日葡萄牙公使フレタス氏を訪問して鐵道警備提議の提出を暫らく保留する旨を傳へた

孫軍總崩れとなる

文官連は大部分逃走

【廣東十八日發電】陳烱明軍は廣東を去る二十哩の地點迄進擊し十七日夜來戰鬪は既に開始された敵に奪取された雲南軍の二司令將光了、范石生は既に兵を捨て將は沙面に、范は香港に避難した一兩日中に孫軍總崩れの恐れあり孫文は未だ大本營に數名の幕僚と泰然としてゐるが他の文官連の三分の二は既に逃げて仕舞つた

王氏渡日はカ氏牽制策

【北京十九日發電】王正廷氏の渡日は表面は日本震災慰問にあるも實はカラハン氏を牽制せんとするにあるは明かである

復興豫算上程

【東京電報】復興計畫に伴ふ豫算は二十一日の復興院評議會總會に於いて附議二十二日若くは二十三日の閣議に上程決定の上二十五日頃臨時議會の新議會に諮る順序である

刑事訴訟法打合

【東京電報】司法省では來る二十七、八、九の三日間各控訴院長檢事長を本省に召集し明年一月一日より實施さるゝ刑事訴訟法其他の件に付き打合せを爲す可しと

火災保險

貸付法案內容

【東京電報】火災保險會社は關西側の不同意から今尙ほ一部支拂が纏まらずに居るが政府は火災保險契約者に對し二億圓を限度として貸出の法案を通常議會に提出することに決し目下法案を作成してゐるが其要項左の如し

一、政府の火災保險會社に對する救濟資金は二億を限度とす

二、二億圓の財源は國庫剩餘金を以て之れに充當す

三、救濟資金二億圓の貸付方法は各火災保險會社に對し個々に契約の方法を執り償還期限は滿二十年

四、臨時利子は三朱五厘

五、各保險會社は一割を限度として支拂ふこと

北樺太の撤兵問題

時期についての意見は區々

【東京電報】北樺太の駐屯軍と日露交涉とは久しく不即不離の關係に置かれてゐるが駐屯軍撤去に對する關係當局の意嚮は（政府部內）財政困難の際六百萬圓の支出が助かる譯であるから對露問題解決の端緒ともある事なれば暫く現狀の儘とするを可とすとの意見に一致してゐる尤も外務省內一、二の新しがりの少壯外交官中には日露交涉開始前に撤去させるが好い等と唱へてゐるが互頭連は駐屯希望者で撤兵希望などを口にする者は一名もない一方海軍側では同省の明年度豫算に北樺太の油田開拓に要する經費二十萬圓を計上してゐる位だから駐屯軍撤退等は夢にも考へて居らぬ又陸軍側では日露交涉の再開期も決定しない昨今の撤兵論などは一笑に附せられてゐるが併し國策が撤兵に決したら何時でも撤兵に着手すると稱してゐる之を要するに同問題は未だ餘りに政治問題の中心には觸れて居らぬらしい

林少將攻擊さる

【北京十九日發電】駐在武官林少將が英國警備案妨害の爲め種々なる策を弄せし事暴露し東方時報で攻擊された併し芳澤公使は武官の行動は公使館と關係なき旨を聲明した

震災調査杜撰

福田博士が指摘

【東京電報】福田德三博士は罹災者の生活狀態を調査したが其日に困るものは三十萬六千人で當局の調査の杜撰なるを具體的に指摘した

總督府東京出張所落成期

【東京電報】過般の大震災にて燒失した總督府東京出張所は其後建築に取りかゝり工事を急いでゐるが非常に進捗し來る二十七日頃落成の豫定

領事會議開かる

朝鮮では始めての試み

朝鮮關係在滿領事官會議第一日は既報の如く二十日午前十時より貞洞中樞院會議室で開催、劈頭總督總監より一場の挨拶があり、それより協議事項に入つたが本會議は朝鮮として始めての會議であり、亦會議も頗る重大な意味を有してゐるので、其の內容は絕對秘密に附せられてゐるか推測する所によれば協議事項に入るや大塚內務局長先づそれに對して詳細なる說明をなし、之に對して間島總領事鈴木要太郞氏及び奉天總領事船津辰一郞氏等續々意見を述べ午前中は一協議事項をも終らず而も會議は餘程熱心に行はれつゝある模樣

軍司令官邸招宴

而して午後は一同菊池軍司令官の招宴に臨み午後三時からの協議は日程を變更市內見物をなす事となつた

總督官邸晩餐會

更に午後六時半からは一同總督官邸に於ける晩餐會に列席する筈である。尙當日の會議は各領事の外總督府としては事務局長及總督部長を除いたる各局部長並に松村殖產課長、中村秘書課長、鶴原農務課長等保安課長等出席した會議は第二日も同一場所に於て續行せらるる筈であると

朝鮮會館設立決定

六箇年計畫經費三百萬圓

朝鮮會館は愈よ有吉總監の骨折りで朝鮮問題の會談等に充てるべく費用は藏相の膽煎りで或方面から補給を受け櫻田本鄕町の總督府出張所構二百坪を構內に取入れ明年度豫算から每年五十萬圓六箇年計三百萬圓を計上することゝなつた（大村京商書記長歸任談）

朝鮮關係在滿領事會議　右 有吉政務總監　左 齋藤總督

私鐵新線開通

馬山鎭北間

朝鮮私鐵會社慶南線馬山鎭北間八哩三分（鎭北晉州十九哩）は竣工二十四、五日本府の竣工檢査の上十二月一日より營業を開始する豫定

遞信歲入增加

本年四月から九月までの半年間に於ける遞信歲入（郵便電信電話切手收入）豫定額は五百十六萬一千六百六圓であるが前年同期に比し六分五厘の增收であると

郵便規則一部改正

十五日附府令で公布された

十五日附總督府令を以て郵便規則中左の通り改正さる

第十六條　郵便葉書の表面に設けたる宛所欄內には受取人の宿所氏名、郵便取扱上の指定（書留、留置、通知等の類）及陸海軍人召集通報を示すべき徽號を限り記載し欄外に差出人の宿所氏名通信文其他の事項を記載することを得

宛所欄の設けなき郵便葉書の表面には前項宛所欄內に記載し得べき事項の外差出人の宿所氏名を限り記載することを得

往復葉書には發信の際其の返信部に前二項の規定に抵觸せざる限り返信に必要なる事項を豫め記載することを得

郵便葉書には原形の儘使用し契約書、委任狀、受領證書等と爲さむが爲め收入印紙を裏面に貼付する場合及第十九條の二第二項に規定する場合を除くの外何等の物件と雖も添付することを得ず

本條の規定に違反したる郵便葉書は第一種郵便物と同樣の取扱を爲す

第十九條の一　郵便葉書は之を私製する事を得但し往復葉書及封緘葉書は此の限りに在らず

私製葉書は通常葉書と看做し之と同額の料金を徵收す

第十九條の二　私製葉書は左の各號に依り之を調製すべし

一、紙質は通常葉書の紙質と同等以上とす

二、厚さは通常葉書を以て標準とす

三、寸法は縱四寸五分以上四寸七分以內橫二寸八分以上三寸以內とす

四、重量は一枚八分を以て標準とす

五、表面の色合は白色又は他の淡色とす

裝飾又は愛玩の爲寫眞、薄き紙片、織物、若は木羽を私製葉書の裏面に貼付せむとするものは前項の制限に抵觸せず且容易に剝奪毀損せざる樣其の全面を紙に密着せしむべし

私製葉書には其の表面宛所の記入及郵便切手の消印に妨げなき程度に於て透し又は浮出の文字圖紋を施すことを得

第十九條の三　私製葉書の表面は其の上部又は左側部の中央に『郵便葉書』又は之に相當する文字を明かに印刷又は筆書すべし

『萬國郵便聯合』の文字又は之に相當する歐字は前項の文字に之を併記するも妨なし

第一項の表示なきものは實物に付種類相當の取扱を爲す

第十九條の四　私製葉書の表面は通常葉書に準し下部二分の一以內に線條を畫し宛所欄を設くることを得

第十九條の五　私製葉書の表面には宛所の記入を妨げざる限り左の事項を印刷することを得

一、郵便葉書表面の記載方並通常葉書又は萬國郵便聯合葉書に準し郵便切手を貼付すべき位置及其の貼附方の注意文

二、印刷所、發行所、又は賣捌店の所在、名稱

三、單純なる輪廓

私製葉書の表面に宛所欄を畫したるものは前項第二號の事項は其の欄外に印刷することを要す

第十九條の六　萬國郵便條約の施行規則に依り調製したる私製の通常郵便葉書は之を私製葉書と看做す

附　則

本令は發布の日より之を施行す從前の規定に依る郵便葉書に關しては當分の內仍從前の例に依る

三派の往來は頻繁となつた

合同は時機の問題

【東京電報】普選を中心とする非政友合同運動が著しく其機運を速進し爾來憲、革、公の普選三派の往來は益々繁くなつた而して憲革兩派の間に殘されてゐる問題は

憲政側としては 一、犬養氏及其周圍即ち革新派本態の意志が果して合同に誠意ありや

革新側としては 一、憲政會が單に非政友合同で自らの殼を固く迄固守して自己の政權慾の滿足の具に供せんとするが如き考へなきや一、加藤總裁の眞意如何の疑念

にあるやうであるが憲政の懸念してゐる點に就ては革新では今與吾々に誠意ありやなど云ふ時ではない既に國民黨解散當時から之を明かにして居るではないか殊に吾々の標榜する處は非政友合同ではない主義政策の同一なる同志の團結を望むであると云つて居り又憲政側は總ての殼を脫して新勢力團體を組織せんとするから革新派の懸念は無用である殊に加藤總裁の意中何等懸念す可き事がないと云つてゐる要するに合同は時機の問題となつた

憲政院外團總會

【東京電報】新政黨樹立に關する憲政會院外團役員總會は十九日午後五時より日比谷公園高柳に開會富田、小西兩氏以下十五名出席種々意見の交換を爲したる後滿場一致左の申合せを決議し八時散會した

吾人は普通選擧を主張する各團體を基礎とし更に天下の同志を糾合し新政黨を樹立し以て政界革新の實を擧げん事を期す

革新俱樂部決議

【東京電報】革新俱樂部では十九日午後一時から常務委員會を開き左の件を決議した

一、湯淺凡平氏の提案に係る酒造官營論を當該政務調査部會に附議の上今期議會へ提出す可き成案を造ること

一、林田龜太郞氏提案にかゝる火災保險問題解決案を當該政務調査部會に附議成案を造ること

犬養氏引退說

【東京電報】非政友合同問題の裏面に普選實施を一段落として犬養木堂引退すべしとの說傳へらる

磐州翁經過不良

【東京電報】先に福島縣會議員の選擧を應援して歸京後風邪に罹り

仙石氏を訪ふ

岩佐鈴木兩氏

小石川の自邸に靜養中の河野磐州翁は其後の經過思はしからず三浦博士等も心配してゐる

【東京電報】憲政會所屬前代議士岩佐孝太郞、鈴木萬次郞兩氏は十九日午前十時同會前代議士會を代表して仙石貢氏を訪問し非政友合同速進に關し盡力ありたしと懇請する處あつたに對し仙石氏は御希望に添ふべしと答へ兩氏は之を諒として辭去した

選擧區制

結局原案可決

【東京電報】法制審議會總會は十九日午後二時より首相官邸に開會總裁、平沼正副總裁以下各委員出席前回に引つゞき審議に入るや花井卓藏氏より

一、全國一選擧區、比例代表の法に依ること

二、府縣及び二人以上選出の市を一選擧區とし比例代表の法に依ること

三、强制選擧制を設けること

の三案を提出し小野塚喜平治氏は

一、六大都市に限り比例選擧を行ふこと

二、一區三人乃至四人を選出すること

三、單名移讓式投票とすること

との動議を提出し副島義一氏は中選擧區即ち市郡を通じて一區三、四名を適當とするとの動議を提出し論議する所あつたが三案とも少數否決となり結局主査委員會の原案通り可決し五時散會した

床次氏松方邸へ

【東京電報】床次政友會總務は十九日午前十時松方老公を三田の私邸に訪問し帝都復興其他に關し一時間餘會談した尙同氏は葬參の爲め二十日前夜鹿兒島に歸省來月四日頃歸京の豫定

西公使近く歸る

【東京電報】目下歸朝中のブラジル公使堀口九萬一氏は羅馬尼駐箚公使に任命せらるゝ事に內定し西ルーマニア公使は近く歸朝の筈

朝鮮貿易

對內地外國概況

十月中朝鮮對內地及外國貿易額は輸移出一千六百十七萬餘圓、輸移入二千百六十九萬餘圓、合計三千七百八十七萬餘圓で前年同月に比し輸移出四百四十二萬餘圓、輸移入四百四十八萬餘圓合計八百六十一萬餘圓を增加した、而して一月以降累計額は輸移出一億九千三百四萬餘圓、輸移入二億二千七十八萬餘圓、合計四億一千二百八十三萬餘圓にして輸入超過二千八百七十三萬餘圓で之を前年同期と對すれば輸移出二千五百七十五萬餘圓、輸移入八百六萬餘圓合計三千三百八十一萬餘圓の增進で入超額は著しく輕減である

退いて本月貿易の內容を觀るに輸移出では[illegible]萬餘圓を算し[illegible]パルプ[illegible]石炭等も不振[illegible]然るに前月來盛況を呈した[illegible]小麥[illegible]の外引續き好況で[illegible]七十八萬餘圓、大小豆は十四萬餘圓を增進し其の他綿及生絲計七十六萬餘圓の增加を首め木材、金鐵肥料等も出增の見るべきものがあつた。次に輸移入では諸機械鐵管鐵板、石油及藥等入荷不振を呈したものもないではないが、多數の貨物は好況を告げ食糧品では外米、小麥粉、砂糖、鹽の四品計五十一萬餘圓、彼服料品では綿絲及打綿、綿織絲並諸布帛を通じて百八十萬餘圓、建築材料では『セメント』鐵條竿及板、鐵筒及管、軌條類、木材の五品で約八十九萬圓を增進し內地向豆糟を主とする肥料の入增額も七十三萬餘圓を算した

辭令（總督府）

咸南北靑郡北靑面長　齋藤鐵五郞

總督府道慈惠醫院醫官　境田民彌

奏任官を以て待遇せらる（十六日附）

兼任總督府道技師　叙高等官四等　全羅南道在勤を命ず　同　菊地茂七

兼任總督府道技師　叙高等官四等　黃海道在勤を命ず　同　土橋末雄

兼任總督府道技師　叙高等官五等　江原道在勤を命ず（十七日附）

公會私會

◇總監會計課長招待　有吉政務總監は目下遞信局に於て開催中の會計課長會議に列席の爲め入城中の各分掌局郵便局課長及會計會議關係者十名を招待し十九日午後五時から京城倶樂部に於て茶話會を催ふした

人事消息

▲和田財務局長　廿日午前十時發列車で東上

▲林司計課長　十九日夜東上

▲村田素一郞氏（元總督府鑛務課長）十九日夜入城廿日朝退城

▲尾崎敬義氏（東拓理事）二十三日頃東上の筈

茶話

▲朝鮮關係在滿領事會議は廿日から中樞院で開催された▲何分協議の內容は絕對秘密で隨行員など會議室の入口さへ覗くことがまかりならんと云ふ嚴しさ▲時節柄朝鮮でこの會議が催されたのが既に何となく妙に世上の視聽を尖らしてゐたのだへソレが恐ろしい入揃ひと來たので更に一段と注意を云つてゐる▲然し只聽すると別段大した意味合のものではなくホンの意思の疏通と親睦とを兼ねたやうなものだと▲餘りに打解けた會議であるので水入らずで行る方がいゝと云ふのにあるのだそうだ▲府協選擧は愈々今日で當選か落選かの運命は午前八時半から午後五時迄の間にあの投票函に封じ込まれたのである▲候補者立會演說會の壇上で苦しまぎれに安來節を唸つた手合もある程だ▲蓋を明けたら定めしどんな顏觸が當選することか▲とにかくふざけた議員は擧げたくないものだ若し當選したら府民の面目上宜しく制裁を下すべきだ。

氣象日報（二十日）

廿日朝低氣壓は本邦の東北地方に去り高氣壓は支那中部から朝鮮に擴張し滿洲北部は氣壓が低い、全鮮天氣恢復して氣溫下降し昨朝よりは八度內外低い二十一日京城は概ね晴天なれども後曇り稍溫暖であらう

天氣豫報（二十一日）

晴　後曇

二十日正午　華氏　三七度四

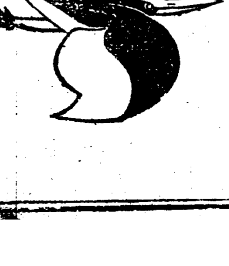
廿一日最低　華氏　二九度

大震災後の最も經濟的に出現したる 岡山製作所の 優良 小型發動機
三馬力のもの金五百圓
專賣特許 五〇〇〇三號
本機はマグネツトを使用せず運轉極めて簡易 燃料の石油僅少にて足る經濟的發動機なり
特約店の申込に應ず
製造元 岡山市中山下 岡山商事株式會社

自宅職業
●熟練●月收三圓位●說明書
大阪玉造舟橋町電停前 豐國總本店

最新刊
白路を見つめて　沖野岩三郞著　一、九〇
大地　山本文三郞著　一、五〇
日本脫出記　大杉榮著　一、六〇
地震の智識　諏訪德太郞著　一、九〇
教育敎授の高等批評　水木梢著　三、〇〇
朝鮮史講座（第二號）　朝鮮史學會　一、〇〇
大阪屋號書店　振替京城二五七三　電話本局 六八四、二〇、八六

京城自動車講習所
生徒大募集●自動車運轉手養成二ヶ月卒業●保證優良●成功者多數
自動車界益々有望利益多●規則送呈●　京城府貢金町三丁目


消化と毒けし 仁丹
金言 健康は寶の寶（仁丹保健標語）
サギサギ いサギよい聲を 仁丹は異れます
仁丹鳥偶語三

景品に景品付又其景品に景品付又其景品に
十一月二十一日より
大景品附
大賣出し
十二月三十日まで
例年の通り十二月に入りますと御誂物が一時になりまして自然御客樣に御滿足を缺くおそれがありますので其れを緩和さして頂く爲め十一月二十一日より非常に興味ある大景品付大賣出し致候間多少に不拘御下命願上候
京城本町三丁目（若草町大通）
Ⓐ 丸英吳服店
電話本局二二六六番

其の日の選擧場附近

四十餘名の候補者の運命がきまる決戰の日
うすら寒い二十日の府議選擧
南大門附近は人と天幕と立看板で埋まる

四十餘名の候補者が旬餘に亘つて力戰奮鬪した府協議會員改選の當落の鼓る〻日が來た、前夜來建てゝゐた各候補の天幕張も前夜の風に倒れたりして二十日朝來南大門附近には各候補選擧事務所の事務員等が詰懸け大看板を立てるやら椅子机を並べるやら、選擧場なる南大門小學校では府尹以下七十餘名が各係に事務を分擔し、選擧場に充られた講堂の正面一段高い所に選擧監督官中津川京畿道屬、選擧管理人谷府尹、選擧立會人等が居並左右の兩側に人ケ所の投票記載所を設け正面に候補者の生命を摑かる投票箱が据いてある、

選擧場入りのイの一番
南山町二丁目の山岸富雄君

選擧場前の各派事務所は學校正門から右へ金聖旭、堀直喜、方台煥、中昇均、緒永十作、閔溶鎬高木、劉、古城、韓、曾我、平山、中井、李、畛鎬、李康、高山、三七、肥塚、梅林、服部金、安藤、金允鏞と二十三名の事務所が內鮮雜居し南大門の側に大垣、澤田、武上、李圭顯、肥塚、高山と天幕を張り學校正門から左へ申、元、內、大村、福島、竹內、惠日、吳鎮善、宋(劉文煥)、金顯洙、金夢濟以上十四名の事務所が軒を連ね中には料亭の仲居やカフエーの女給を賴んで接待してゐる處もあり又中には夫人自らが運動員、有權者を猶つてゐる所もある、定刻八時半頃には選擧場前あたりで各候補が出揃ひ敵味方出逢頭に「やあ〳〵」を繰返す、イの一番に南山町二丁目の山岸富雄、續いて三坂通鮮銀舍宅飯田松太郎、和泉町松本吉治、元町二丁目錦月懲麿などの諸クンが選擧場に入り九時までで一時間の投票者が四百五十名約三分の一が鮮人である寒いので選擧人の出足が鈍く候補者の氣を揉むこと夥しい

思案坂に立つ美人の群れ
熱心に名刺を配る
午後一時までの投票者三千

十時頃から有權者の足は陸續と續き學校正門の受付には百餘名の有權者が混雜してゐる學校への坂道には雙に學組選擧の當時誰に入れやうか思案すると言ふので思案坂と名をつけたが上り口に澤田候補の孃さ艷姿の麗妓二名に曾我候補の孃さんが何れも有權者に名刺を配り高木候補の夫人や孃さんも大切の瀬戸際なので頻りに努めてゐる十時半までに九百四十七名の投票者があり十一時半に一千九百八十三名午後一時頃までに約三千名の投票があつた

有權者狩出し
運動員八方に飛ぶ
競爭頗る激烈

正午前後から有權者の出足が遲いのに氣を病むだ各派參謀は運動員を督勵して狩り出しに努め中にも古城候補の本町二丁目は赤地に白字で町名を染拔いた小旗を揭げて往き來する正午前後南大門附近は非常の雜沓で府廳幹部の有様で思案坂の上り詰めには二十餘名の候補者が一列に並んで有權者に萬遍となく叩頭する正午頃晝食のため有權者の出が鈍り午後一時頃から又續々と續いて一時間約千四五百名宛の入場を見午後三時頃から各派運動員の狩出し運動猛烈を極めこの前後より諸官廳に勤務する人々の投票が續いて午後五時半全く選擧を終つた

二百餘圓
選擧場で納付

京城府財務課では豫て營業稅車輛稅を滯納せる爲め今回の府協議員の爲き一票の行使が出來ないでは選擧の爲めにも又有權者のためにも惜いことなので府財務課では二十日の選擧當日南大門小學校內に臨時出張所を拵へ納稅を受付けたが午前中に約二十件二百餘圓が納付されたさうである

學校に奉安する御眞影の問題
震災の經驗に鑑みて御警備の方法を改善

震災に罹つた學校の御眞影は奉安所が燒失したので何れも宮內省に奉安してあるが畏多くも燒失した御眞影は約三百に及學校當局は恐懼し學校の奉安警衞の方法にも最善の方法を講ずる爲既に當局者が數回協議を重ねたが最近桐生高工長西田博士は文部省を訪ひ諸學校では金庫に奉安して今回の如き震災に處するが好いとの意見を述べたが文部省は金庫に奉安する事は實行して居るが何分奉安者の責任が重大なる爲非常な犠牲を拂ふ者もあるので何とか考へねばならぬと云つて居る近く決定するだらう(東京電報)

新嘗祭は
正式に執行

本年度中に於ける秋季皇靈祭新嘗祭は大震災後の事とて略式に依り執行皇族御總代御一方並に下總代一人のみ略裝にて參拜した事に就ては朝野共相當非難が起つて居るが來る二十三日新嘗祭は最も重大なる祭典であるから例年の通り皇族を初め大勳位親任官勅任官待遇以上並に伯、子、男爵各總代一人(大禮服正裝)午後五時四十分參列する事に決定した(東京電報)

女官長に
島津治子夫人

良子女王殿下の御婚儀後奉仕すべき東宮女官長に宮內省御用掛島津長丸男夫人治子は新たに女官長に任命され勅任女官と內定した(東京電報)

野砲隊運動會 龍山野砲兵聯隊では廿二日午前十時より營庭で陸上運動會を擧行すると

紐育學童の義捐金
日本兒童の文房具代にと五萬六千弗送つて來た

紐育の小學校生徒等は日本の罹災學童に同情し擧て義捐金を募つてゐたが此の程五萬六千弗の寄附を我總領事館に托して日本の兒童の文房具代にと送金して來た(東京電報)

玉川水電紛擾

[illegible]

【東京電報】東京市商工課の調べ[illegible]

[illegible]した十三年度豫算の內遞信省所管の電話擴張費の既定年額二千七[illegible]總越繰額約一千五百萬圓を一般會計から支出する事とし之の財源で[illegible]

[illegible]月末現在は左の如くである ▲組合數＝都市金融組合十ケ[illegible] 加▲出資金＝百五十四萬圓前月に比し五千四百圓增加▲政府[illegible]落預金の減少は目下米穀出廻り期で直接米穀資金に廻はす者多き爲めである▲貸入金＝三百[illegible]る▲殖銀媒介貸付＝百二十三萬四千圓前月に比し九千圓減少

千二百八十萬、貸上金高五萬九千九百四十五圓▲日の丸水電會社＝取扱數量[illegible]▲合計＝取扱數量九萬一千七[illegible]大貫貸上金高十五萬六百九十五[illegible]圓五十錢[illegible]期と比較すれば引[illegible]一分七厘の增加せるに反し[illegible]一分七厘の減少[illegible]

東京の火事
三十戶全燒

十九日午後七時四十分小石川區西丸町四五鈴木義雄方より發火し附近家屋三十戶を燒失したが損害約五萬圓餘ならんと(東京電報)

七戶全燒
釜山の火事

十九日午後十時二十分釜山富平町三丁目七十七番地の七日本建平屋五軒長屋の中央中瀨仙太郎方から發火したが折柄の烈風と水道斷水中であつた爲め消防意の如くならず見る〳〵火は左右に擴がり忽ち一棟五戶の外更に裏側二戶建一棟を燒きつくし十一時半鎭火したが附近一帶に耐火式建物もなく然も家屋櫛比せる處柄とて一時は非常の混雜を呈した、原因は夕食後の七輪の不仕末からで活動見物の留守中發火したものらしく損害は未定である(釜山特電)

後藤內相を槍玉に上げる
甘粕事件や大杉の旅費問題を提げて
臨時議會と政友會の作戰

來月十日召集の臨時議會に於て政友會が山本內閣に對し反對的態度を執ることは明かなことであつて例へ最後には妥協するにしても相應手厳しい質問を政府に浴せかけることは想像に難くない所であるが其質問中最も辛辣なのは甘粕事件と是に伴ふ大杉の洋行に後藤內相が金を出したと云ふ同大尉が豫審廷及公判廷で告白した一條であらうと觀測される甘粕事件に就ては例へ甘粕が責任を一身に負ひ背後の上官に責任を分つやうなことは云はなかつたにせよ政友會としては敢て是を以て滿足するものに非ず飽迄陸軍全體の責任として是を糾問する方策らしい又同大尉が大杉に對しては藤田某から旅費が出て居り其藤田に對しては全く政友會の思ふ壺に入つた攻擊材料を與へられたものでさらぬだに政友會の滅亡を計つてゐる後藤內相を槍玉に上げるにはあつらへ向の材料として此點を猛烈に突込み後藤內相をして青息を吐かせる作戰らしい野に小川鐵相は內閣の長官會議に於ける私鐵敷設の批評に於て[illegible]な態度を攻擊してゐる位で先方不明となり目下京都にありとさる、某大學教授の如きも內相との間に種々の取沙汰されてゐる程であるからたとへ內相に於て何等かゝる事實が無いとしても是等の質問に對しては苦しい汗を出すことだらうと噂されてゐる(東京電報)

小作人の狂言

高陽郡纛島面芝前下往十里六九六番地農業李聖文(五〇)は去る十二日籾四石が盜難に罹つた旨東大門署へ屆出たので係官が臨檢すると外部より賊が侵入した形跡がなく嚴重に取調べた結果小作料を免れん爲淺薄な考へを起し虛僞の申告をしたことが判り拘留五日に處せられた

お寺荒し
不良少年三名檢擧さる

十九日晩府內訓鍊院派出所前を迂路ついて居る擧動不審の鮮童三名があるのを詰問した處合鍵が發見し派出所に連れ込んで取調べた所忠南禮山郡生れ當時住所不定の朴鍋[illegible](一七)金熙[illegible](一七)中福童(一七)と云ふ不良少年で數箇月前より共謀の上京城仁川間を股に掛けて神社佛閣の賽錢箱を破壞して現金を盜み買喰ひに費消して居たことを自白したが京城では常に若草町西本願寺、南山町東本願寺、新町高野山等を覗ひ被害數百圓位に達して居ると

(上)ズラリと並んだ候補者連 (下)彩りを添へた二人の美人

選擧雜觀

震災地行の年始狀
居所判明したもの以外は控へるやうにと注意

年賀郵便物の取扱ひを廢止されたことは屢報した所であるが、それにも拘らず年首を機として各地より關東地方の罹災地居住者に對し、住所宛先等の者の安否を照會する意味を含んで賀狀に類する郵便物を差出すものがある模樣で、これは漸次非常に增加する事は免れぬ樣である。所が一方罹災地各局では局舍、器具等の設備が未だ完全しないので平年の數に處理する事は頗る困難であるのみならず、斯くては徒らに郵便物の增嵩を來すのみで輸送、遞付に少からざる手數料を要し、これが爲遂には一般郵便物さへ遲延せしむるの因となるので、此際罹災地宛の郵便物は成るべく震災後の居所判明したもの以外は差出しを控へて貰ひたいと遞信省から總督府宛依賴があつたとの事であるがこれによつて一般はなるべく注意して貰ひたいと。

四萬圓の小切手事件
無事に解決

府內東四軒町三〇七番地金根成(五七)は豫て自己所有の全北鎭安郡所在の鑛山を賣渡す爲め仲介人に依賴して居た處京畿道漣川郡二二番地金然光に賣渡契約が成立し同人より銀行小切手四萬三千五百圓を振出さしめたが其後根成は破約して鑛山を賣渡さず自分勝手に該小切手を債權者に手渡し屢々督促されても相手にならず困つた揚句然光より詐欺取財として東大門署に告訴され取調べ中の處仲裁者の奔走で該小切手を返還することゝなり無事に解決したと

四消防手へ

江原道春川郡春川面街洞里居住の料理屋鶴田菊市仲居中川キク兩名は去る十一日附本紙『田中組頭を泣かせた四名の義勇消防手』の記事を見て同情し鶴田は金二十圓中川は金五圓を春川警察署の手を經て本町署に見舞金を寄贈して來たので鈴木署長は十九日四名の罹災義勇消防手を呼び出し交付した孰れもこの奇特な行爲に對し嬉し淚に咽んだと

日本一 京城の滯納者
然も知識階級に多い
効果の擧がらぬ納稅宣傳

納稅は國民の重大義務であるのに社會になればなる程滯納者が多く朝鮮も田舍の面より各都市に多くなつて居る京城の滯納者は全鮮第一否日本第一と云はれて居るがそれに就き府當局では語る京城は人の異動が非常に多いのと人々が餘り利己的で處分期日迄金利が何程になると云ふことを計算して居るらしく比較的智識階級に滯納者が多い內地人と比較して鮮人はよく稅金を納めるが近頃鮮人の滯納者も增加して來た又京城程高利貸の多い所はないと聞いて居るがそれ等の徒に限つて算盤ばかりを見て居るので滯納者が多いのであらう督促や處分手續に莫大な費用を投じて居る府でも納稅觀念の涵養にはあらゆる方法を講じて居るが餘り効果が上らない云々

春畫賣り控訴

府內大和町二ノ二八元朝鮮總督府土木部雇員をしてゐた大町喜三郎(三〇)が府內西大門町一ノ四七名迦注文敎貞烈(三〇)と共謀して春畫を販賣してゐた事は旣報の通りなるが第一審に於て二人共罰金三十圓宛に處せられたが金は不服を申立て控訴したので京城覆審法院吉田部長係若城檢事立會ひの上近く公判開廷の事になつた

滿鐵武道大會

十九日午後六時から京鐵局武道大會を社友會々館に開催し參會者四百名劍道は春田四段、庄司三段柔道は水野、鋼屋兩三段鈴木二段の審判で午後十時盛會裡に閉會したが尙明春二月十一日紀元の佳節を期として全鮮武道大會を開催する事に決定した

看守を袋叩きにして破獄を企てた四人
京城覆審法院へ控訴

本年七月八日淸津刑務所にて脫獄を企てた同所收容囚四名仁學(三)金東淳(三七)李福南(三七)金道彬(三)林乘允(二七)李龍虎(三七)李永求(二七)崔孫寬(三二)崔始弘(二九)の九人に對する逃走、傷害被告事件は淸津支廳で懲役四年以下十月迄の判決を受けたのに不服を申立たので京城覆審法院に移され不日吉田裁判長、中野、藤村兩判事陪席岡本檢事立會の上公判開廷されることになつた被告仁學、東淳外四名は七月八日は日曜日の全休であるので看守が少い處に手紙を書いてくれと賴んで出房せしめた後で破獄せんと企み同日午後三時頃仁學は千葉看守に突然組付き喊聲を擧げた、それつと云ふので東淳は同看守の鍵を奪つて其綱を以て前額部を毆りつけ、其怯む處を被告等が寄つてたかつて第六監房に押込み出入口を閉ぢて鍵をかけて監禁した一方福南、道彬は合圖と同時に監丁の[illegible]を有合せたバケツを以て亂打しこれも第五監房に監禁して逃走したのである

玩具展覽會
社友會の主催

滿鐵社友會では數年前から兒童部を設け一方兒童圖書館の新設と相俟つて社員兒童の智識運動趣味の向上發達を圖り時々兒童教室に關する各種の催しをして來て居るが今回は父兄に對して玩具の教育的價値及個性に應じての玩具の選擇に關する思想宣傳の爲め來る二十三日から三日間兒童會館で玩具の展覽會を催し併せて自由畫の展覽會を催す由で一般の參觀を希望して居る

腦脊髓膜炎
流行性のものは朝鮮には稀れ
內地では一時に三百人も死んだ實例がある

仁川宮町に腦脊髓膜炎患者が出て十四日死亡した事は既報の通りであるが右に就て周防衞生課長は語る『腦脊髓膜炎は時々朝鮮にもありますが流行性のものではなく散發性のものだけです左樣です、朝鮮で流行性のものが發生した事は未だ聞かぬやうです內地では流行性のものが發生して大騷ぎをする事があります、廣島縣では一時に三百人も出てバタ〳〵死んだ例もある位で恐るべきものです、それで內地では傳染病の中に入れてあるが朝鮮では傳染病の中には入れてゐないが只其取扱をして消毒をすることになつてゐる、兎に角流行性のものは稀なもので呼吸器の傳染だと云はれてゐます』

淸州の修養團支部
發會式を擧行

既報の通り忠北淸州修養團支部の發會式は十八日午後二時擧行され會員約百五十名に達し支部長道理事官立野新五郎氏司會の許に一同國歌を合唱し教育勅語及び今回發布された詔勅を奉讀し野村幹事支部設置の報告をなし支部長官蔡本部よりの祝辭に次で來賓村知事及び澁谷本社主筆の祝辭あり總督の祝電を始め萩原學務課長の祝文及び各地よりの祝電披露をなして式を終へた、其後團員は校庭の美化作業を行つて國民體操に氣勢を揚げた

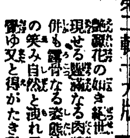
夜の講演會 同夜淸州驛和會及修養團支部主催の許に講演會が開かれたが來會者二百數十名で山崎郡守歡迎の辭を述べ澁谷本社主筆の講演があつたが、演題は『光つ損を甘んぜよ』と云ふので具體的實例を捕へ來り一時間餘に亘る大講演で聽者に深い感動を與へた、續いて淸州師範學校長及び松本京城支部長等の講演あり非常の盛會であつた

教育普成社增資
雜誌『朝鮮兒童』發刊

府內永樂町教育普成株式會社では今回『朝鮮兒童』と題する兒童雜誌を發刊し尚今回活動寫眞部を擴張する爲め之が增資をなすことになり十九日午後七時から鐵路國一館に於て府內教育關係者九十餘名を招待階下廣場にて教育琵琶劇『乃木と鬼』並に內務省推薦映畫『征服されて』を映寫、高橋社長の挨拶があつて栗栄暖外數氏の答辭があり午後八時半散會したが株は一株二十圓で引受申込所は黃金町三丁目三四九同社

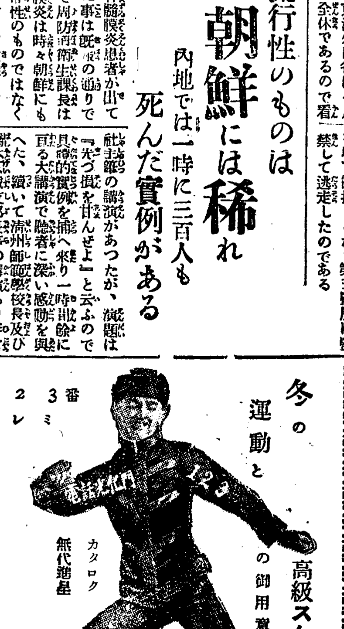
遭難者死體 搜查打切

過般城津沖にて會寧丸と衝突沈沒した朝郵會寧丸の遭難は軍艦一隻と相手方の朝郵會寧丸、同浦川丸の他發動機一隻を繰出し二日間等を以て極力努力したが四十餘名に近い溺死の事とて成績擧がらず地方官民及び遺族の同意を得て十九日限り打ちきつた被害の全額は本船の時價三萬圓程度なるも其他は書類と共に沈沒の事とて未だ調査完了せず又遺族に對する弔慰金の贈呈に付いても目下地方廳に書類等を提出し調查中で確定を見るに至らぬ(朝郵某當局談)

一見忽ち全卷に漂ふ肉の香に醉はん!
裸體美人寫眞集 ◇◇◇キャビネ形◇◇◇二十四枚組◇◇◇紙質極上◇◇◇印刷鮮明
大好評 第一輯廿七版 第二輯十九版
各冊 金壹圓七拾錢 代金引換送料十八錢 前金注文送料八錢

絕世の美人が大膽にも赤裸々に現せる艷麗なる肉體の曲線美の實術的にして併も露骨なる姿態は一見忽ち恍惚として快心の笑み自然と洩れ言はんとするも言ふべからざる〇〇を覺ゆ又と得がたき稀代の珍寫眞!
希望者はハガキで新聞名を記入し(第何輯)御注文と申込次第御送付す
大震災寫眞一組無代添附 此際の御注文者に限り特に無代にて洩なく進呈す
◎東京市麻布區富士見町六番地 電話芝五〇八〇番 正文社書房

咲良喜の文化施設
一宴會の廣間も一離れ座敷の小間も『スチーム』の設備あり溫暖心地よきこと此上無し
一料理は時代文化に順應し美味滋養實質本位
御宴會は特に勉强 薄利安値
『スチーム』は毎日焚いて居ります
咲良喜 旭町二丁目電話本局一八二八番

產婦人科 小兒科
女醫遠山醫院
京城永樂町二丁目交番所前 長電話本局一六三四番

冬の運動と高級スケートの御用意は

番 1 2 3 ドレミ
カタログ無代進呈
國產 米國製 1號 2號 4.50 5.00 5.50 5.90
一足に小包料金四十錢付
京城鍾路大通り(鍾路警察署前) 米國貿易輸入元 セヤマ樂器店
電話光化門一一二三番 振替京城一〇七五六番 私書函京城局入

一〇感謝狀金銀杯拜領
明和元年創業 攝津有名の本御影石及諸國名石
主義は親切 記念碑、神社佛閣石、燈籠、塔、手水鉢
石碑は專門で信用ある 大阪天滿天神小橋 平清
普通石碑は正札附陳列 電車森町(御)下車 型錄呈上
平清は登錄商標 電話北二六五五番 堀大阪二六五五番
大阪唯一の美術石匠

荊妻ます儀豫而病氣之處養生不相叶十九日死去致候間此段謹告仕候
追而來る二十二日午後三時途中葬儀を廢し土城町妙心寺に於て告別式相營可申候尚供花放鳥之儀は勝手御辭退申上候

掘井儀作

親族總代 堀井佐男 小寺百助

友人總代 富田哲造 藤本英一 岡村正雄 小原爲

【東京電報】玉川水電は■前派と■■の解散派とが衝突し解散派は臨時總會を召集し會社側は無効であると主張■■あつてゐたが臨時總會■■之を機會に郷誠之助男等が調停に努力してゐる

東京食糧品高値

電話の擴張費 四割三分は繰越

【東京電報】十二日の閣議で遞信省の■■■■てあつたが最近大藏遞信兩省の間に大體の諒解成り略決定を見たとの事である其内容は前記二千七百六十二萬圓中約四割三分位は之を■■■

震災を中心に 海運界の變動（中）

朝鮮郵船營業課 高井春五郎

震災前と震災後の海運界

海運界の推移は特に著しい出來事のない限り換言すれば所謂アザー、シングス、ビーイング、イコールの場合には毎年殆ど同様の經路を辿るもので即ち一年中の最も好況季は四、五、六の三ケ月あつて最も不況期が十二、一、二の三ケ月の多枯期と八、九兩月の夏枯季であるが本年も震災前の八月迄は略ぼ平年の經路を辿つて來た樣である今假に前年度卽ち大正十一年度及本年度に於ける標準運賃及び傭船料の推移を月次に依つて比較すれば大體此の季の消息が判る

標準運賃（單位圓）

石炭

月次	若松横濱 十一年	若松横濱 本年	若松伊勢灣 十一年	若松伊勢灣 本年
一	一、八五	一、八五	一、八五	一、八五
二	一、六〇	一、六〇	一、六〇	一、六〇
三	二、一五	一、六〇	二、一〇	一、六〇
四	二、一〇	二、一〇	二、一五	二、一〇
五	二、一〇	二、四〇	二、一五	二、四五
六	二、〇五	二、四〇	二、〇五	二、七〇
七	一、八〇	二、一〇	一、八五	二、六五
八	一、八〇	一、八〇	一、八〇	一、八〇
九	一、八〇	二、一〇	一、八〇	二、〇〇
十	一、八〇	二、三〇	一、八〇	二、三〇
十一	一、八〇	二、三〇	一、八〇	二、三〇
十二	一、七五	[illegible]	一、七五	[illegible]

同 豆粕（單位錢）

月次	十一年	本年	十一年	本年
一	一七	一二	一六	一一
二	一八	一五	一八	一四
三	一六	二〇	一五	二〇
四	一五	二一	一四	二一
五	一四	二三	一三	二三
六	一三	二三	一二	二一
七	一二	一九	一二	一九
八	一〇	一六	一〇	一四
九	一三	二〇	一二	一六
十	一五	二三	一五	一七
十一	一三	三〇	一二	一八
十二	一一	—	一〇	—

傭船料（單位圓重量一噸に付）

月次	大型船 十一年	大型船 本年	中型 十一年	中型 本年	小型船 十一年	小型船 本年
一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

右の如く震災前に於ける本年度の我海運界は殆ど前年同様に推移したるものであるが然らば震災に因り果して如何なる比率に於て影響を受けたかと云ふと之を震災前と現在の標準運賃及び傭船料の比較に見れば我海運界就中近海に與へたる其影響が如何に大であるかを知る事が出來る

運賃騰貴歩合

積揚地	品名	騰貴率
若松横濱	石炭	十二割一分強
同 伊勢灣	同	六割
同 上海	同	三割六分強
門司 香港	同	七割七分強
室蘭 横濱	同	三分強
同 新潟	同	三分弱
大連 横濱	豆粕	七分強
同 神戸	同	二割八分強
同 ■■	同	一分強
樺太 内地	丸太	四割強

傭船料騰貴歩合（單位圓重量一噸に付き）

船型	震災前	現在	騰貴率
大型	一、九	二、〇	五分強
中型	二、四	三、七	一割二分強
小型	三、二	四、五	四割強

海運界變動の原因及經路

我海運界今日の變動の直接原因が震災に在る事は今更論ずる迄もないが然らば震災を原動力として更に如何なる從的原因を作り經路を辿つたかと云へば大體次の如し

一、震災の突發
二、應急救護策としての罹災民輸送並に救援品及び應急除材料輸送の激增
三、御用船の徴發及び國家奉仕的準備用船の提供
四、社外船主及び大荷主筋の思惑的臨時配船
五、日供契約若は一航海船腹契約に依るツリツプチヤーターの激增
六、小型船の震災地集中
七、船腹不足に基く各地の滯貨激增
八、長期傭船の續頭

以上の諸項目に就て説明を略するも陸軍省、鐵道省、大阪府、兵庫縣等にて御用期六十五隻此の總噸數二十萬五千九百噸に及び更に郵船、商船、三井等の提供に係る準備用船の郵船十六隻商船二十隻三井五隻を加ふれば總計百六隻に達して居るから大體に於て其總噸數は二十五六萬噸見當である

客月物價

前月に比し平均千分七高騰で當所調査京城主要商品六十種に付き其騰落狀況は前月に比し低落せるもの米織物を始め二十五品保合十四品無取引にて相場立たざるもの六品騰貴せるものは綿紗を始めとして十四品なるが物價最高時大正九年三月を百として指數を見るに當月は六八、七に當り此の中食糧品六八、二燃料品七六、七織物六一、二に當る又之を前月に比すれば食糧品〇、三織物品二、九の騰貴燃料品一、二の低落■〇、七の騰貴なり

品名	品位	騰落	十月指數
▲食料品			
玄米	三等	＋	五四、二
同	地摺	一	五二、二
白米	内地人向	一	五七、四
同	鮮人向	一	五六、〇
大豆	龍山三等	一	四六、〇
小豆	水上物	＋	四九、三
大麥		一	五四、四
小麥		一	五〇、一
西米	海城	一	四〇、二
清酒	櫻正宗	×	六九、四
同	白鶴	×	六四、三
同	一鶴	×	六六、二
同	地物上	×	六六、六
同	同中	×	六四、四
濁酒		×	六八、〇
燒酒		×	五四、二
麥酒	札幌	一	七五、〇
醤油	龜甲萬	×	七五、〇
同	龜甲菊	×	七八、一
味噌	赤	一	七七、一
同	白	一	七七、一
食鹽	官鹽並	＋	一五七、八
同	再製	×	九一、四
砂糖	七一四	＋	六九、六
麥粉	綠ダイヤ	一	五六、一
茶	正喜撰	＋	九八、〇
鷄卵	大玉	一	七〇、〇
牛肉	骨付	一	七〇、七
干鰮餅		＋	七〇、四
平均		＋	六八、二
▲燃料			
石炭	筑豐塊	一	六〇、〇
同	撫順	＋	一三〇、〇
同	平壤無煙	×	一四〇、〇
煉炭	ピッチ入	＋	九六、七
木炭	白並	一	七九、五
同	根並	一	七〇、七
薪	樫	一	八八、九
同	松	一	八四、二
石油	松	×	七四、二
同	勝利	×	七二、〇
松葉		＋	八五、七
平均		一	九六、七
▲纖物類			
和金巾	三A	一	四六、七
晒金巾	進軍A	一	四二、一
細布		一	五五、三
白木綿	竹印	一	三六、九

商品市況

密柑（手堅し）

紀州ものは尚色付かず廣島ものも未だの模樣にて殆んど伊豫もの丶みに市場は限られ居る模樣にて石油箱入四圓五十錢乃至七八十錢と相場は手堅く二百七八十入の上物は六圓處で仕切られて居る今月一杯は大した下値も見せざるべく察せられる東京方面は販路の破壞とこれに關聯して爲替取組困難なるべければ積出減退すべく從つて産地は軟弱を豫想さるれど勞働界活況に消費の旺盛も見込まれ本年は又密柑の如き頗る景氣付き居る模樣もあれば密柑の如きも相當消化さるべしとの觀測もある

鹽鮭（氣迷）

上物十貫十八圓五十錢据物十六圓見當にて産地の相場は割合手堅けれど消費地の事情が異なるため目先きに就ては強氣を許さぬものがある地場の賣行に就ても樂悲兩樣であるが大體に於ては假りに幾分の減退はありともさまでにはあらざるべし

綿絲布（好勢）

米綿五十錢安銀塊八分の五高にて三品前寄先七三一本年の新高値を示し大阪現物益々騰りを呈せり
茲許大阪高と實需筋買進みにより相場強含み現物粗布三四圓綿絲三圓方昂騰を示し稍々活氣を缺たり
粗布三エ一二百六十四圓九龍二百五十九圓大エ一二百五十四圓金剛山二百三十三圓金閣二百十八圓煙管二百十二圓白頭山百七十八圓長鼓二百十五圓栗錢二百五圓
紬布猿犬（十三封度）十三圓六十錢世樂馬十二圓十五錢
晒金巾進軍十三圓四十錢金鼎十二圓八十錢
綿絲扇面（十六封度）二百六十七圓双女二百四十圓
晒木綿竹一圓十錢棒一圓四十八錢

鮮魚（閑散）

時寒のため各地よりの入荷薄にして市場は一般に閑散氣味なり
たい四十圓小たい四十五圓車えび六十五圓もえび六十圓小ぶり二十五圓ひらす二十五圓さは十圓さわら二十七圓あち十圓ほら二十圓あなご十五圓ひらめ二十圓たこ十七圓あわび二十圓にべ十五圓

鮮銀券週報

十一月十七日に至る朝鮮銀行發行高は一週間報に依れば銀行券總發行高一億二千七百五十九萬二千圓にして前週平均高七千九百二十四萬二千二百三十一圓内正貨準備發行高平均高三千九百四十五萬七千六百八十一圓保證準備發行平均高四千九百七十八萬五千五百五十一圓にして又週末銀行券發行高は八千百五十一萬四千九百八十五圓であると

鮮銀帳尻（十八日）
發行高 八三、八九〇、二一六
正貨 三二、二八〇、五二四、〇三
限外 一、六、九、六九一、九九
内普金利（十九日）

	東京	大阪
無條件	一九〇	一七〇
翌日物	一七五	一五〇
月越物	二六〇	二五〇
六十日物	二六〇	二五五
普通割引歩合	二七〇	二五〇

品名		十九日
韓山苧	黒	九六、五
漢陽木	並	四〇、六
鐘紡油		六二、五
唐元羅		七一、四
黒羅紗	内地品	六五、一
同	舶來	五五、六
紺セー	内地	五九、二
同	舶來	五〇、〇
綿糸	十六手	八六、六
打綿	京印	八九、〇
平均		六一、二
總平均		六八、七

株式 一齊活躍（二十日）

前場一齊高 後場大新高

昨強硬に打止めたる氣先を受けて今朝は大阪大新八十圓六十錢の續騰を入れて周圍の情勢愈良化し來れるに大新京取を始めとし諸株一齊に買氣旺盛となり短期の大新は一氣八十一圓九十錢にに寄り付いた跡大阪の續騰を入れて遂に八十二圓ドタと躍進せしより其他短期の諸株も長期の京取も亦頗る活況を呈し結局大新は一圓十錢高、仁取は三高、仁新八十錢高、仁新八十錢高安取六十錢高にて短期は一齊に好調を示し中心の京取は當三十六圓七十錢先三十六圓五十錢と寄り付いた跡ギリ〱昂げて難なく七圓臺に活躍結局當七圓八十錢先七圓三十錢と好勢に打止め當一圓五十錢先一圓六十錢方躍騰（一齊活況）裡に大引した
▲後場は大阪大新八十二圓三十錢の續騰を入れて大新に對する人氣更に強調を加へ八十一圓四十錢と寄り付いた跡二圓ドタと爆進し二圓六十錢と大阪同調に打止め一圓方續騰引跡更に大阪三圓ドタの新値を入れ氣配益強硬を呈したが京取其他の地株は買方の見送りと小口崩れ物の一巡と共に一般模樣を呈し仁取は出來ずに仁新は三十四圓七十錢安取十六圓六十錢京取當三十七圓三十錢先三十六圓九十錢と氣乘薄に大引した

愈京取相場が活氣付いて來た

裡にギリ高歩調を辿り相場の底堅き一面吉見筋の振り買に對する懸念も伴ひ兎角輕視され勝であつたが昨大阪高の見直りと共に仁取新舊安取等迄買氣が廻り京取相場に力を添へることゝなつたので漸く相場の前途に對する人氣の轉向となり恐るべき伸騰力を認めらるゝに至つた機樣で相場も亦少しの浮調子に進み來れる折柄今朝は大阪大新八十圓六十錢の續騰に跡に躍進を入れ更に大新を始め仁取新舊安取等にも買氣迴漫し爲めに買氣頓みに加はり其一面遂に買り懷ろとなり居れる敵派筋をして崩れ退くの餘儀なきに至らしめ是等の大口崩れ退きに買方の追擊を加へて常物は七圓八十錢先物は七圓卅錢と續騰近來の商盛を告ぐるに至つた活躍の中心は大新を一巡して既に京取に移れる以上一般の興味は漸く京取中心に地株にも加はつて來た形勢である從つて採算を本位とせざる京取純然たる投機性を有する京取としては今後の商狀に多大の考慮を拂ふ要があらうと觀察されて居る而て今朝の續騰並に今後に期待さるゝ理由としては妙とも左の數項を列擧せねばならぬとせられて居る
一、大阪市況が眞に出直り步調となり今後多少の懸念が生ずるとしても下値は望み難く上値に多くの可能性を有すること並に地株にも買氣が迴つて京取職に力を添へること
一、買方が長期計畫の許に潔く深く買推み容易に利を入れる模樣はなく妙くとも取引昇格迄は買手の緩まないと見らるゝこと
一、從來賣聯へられて居た京取に人氣が集つて來たこと及地場の多くが賣り懷ろとなつて居り今朝あ

京畿金融狀況

京畿道管内に於ける金融組合の十月末現在の狀況は組合員數一萬三千九百三十一名で前月に比し二十四名增加し組合數は九ケ所であつたが十月二十日西大門金融組合を新設したので一ケ所增加▲組合員數一萬三千二千百十四人前月に比し百名增に比し增減なし▲預金一萬二千百四十二萬二千八百六十二圓前月に比し都市二萬七千圓增加村落に於て二萬三千圓減少▲貸付金一萬七千圓減少▲貸付金一萬六百三十二萬九千圓前月に比し八萬七千圓減少した其理由は貸出し手控へと一般事業縮少の爲めである

大新爆進

たりから崩れ出して來たこと等は確に買氣を刺戟し易いことであると觀察されて居る要するに近因等は差當つて買氣を誘發する此鼻の市場は大新高を看として引續き京取を中心に買氣を持續し納會にかけて一と相場を現はすものと見られて居た
前場八十二圓を高値として一圓六十錢と打止めた大新は後場大阪の八十二圓三十錢の續騰を入れて買氣更に加はり高値は三圓六十錢と手堅く打止め引跡大阪三圓ドタの新値を入れ氣配益強硬を呈した大阪好勢の原因に就ては詳報なく從つて今後の如何は窺知し難いが此天井と見る新田筋の大口賣乘せがあり一方室岡筋吉見筋田中筋等と全く買進みて取組約五千に達し京取一服商狀と共に更に大新に對する一段の興味が加はり亦も大新中心に人氣を呼べき商狀となつた

仁取躍騰

大新の躍進に連れて一般的買氣頓に加はり仁取新は遂に百圓大關門を突破し百一圓と躍進三圓方奔騰同新株も亦三十四圓八十錢と昂騰し從來の買氣に不氣乘なりし地株も漸く人氣擡頭の振合があり之等は漸く進展し來れる京取職に大なる刺戟を與ふるものと見られ今後京取と相俟つて此相場は尚持續せらるゝものと見られて居た

安取も續騰

安取株は今朝大新京取を始め諸株の一齊好調を呈せるより買氣を刺戟し高値は十七圓ドタまであり六圓九十錢と打止め六十錢方昂騰した周圍の事情が斯く買氣が擡頭し來れる上は其係頭調係から尚上値はあるものと見られて居た

大新喰合尻（二十日前場現在）

取組高四、九九〇代引一、一一〇
▲賣方、白井百、新田千七百四十、定岡七百四十、金秀七百八十、白樂三百四十
▲買方、洪柱二百二十、吉見三十、田中千二百六十、金秀三百、閔二百三十、市川百十、趙五百十

算定

仁取百一圓仁新三十五圓安取十七圓大新八十二圓

日歩

仁取四十錢仁新十五錢朝紡五錢拓新十錢滿取逆十錢安取十錢大新五十一錢

出來高

▲長期二千六百十枚累計二十二萬四千百六十一枚▲短期四千九百五十枚累計二十六萬一千七百七十枚

前場手振

▲大新賣り方新田四百、定岡二百、市川二百、趙百五十、外マバラ、買方白井百五十洪柱三百、吉見百五十、因三百、外マバラ出來高千五百枚▲京取賣り方田中二百外マバラ買方定岡百五十、中村八十外マバラ出來高五百五十枚▲同先賣り方洪柱百、吉見百、田中百五十、新田二百、井口三百外マバラ買方金龍三百、定岡五百外マバラ出來高千枚

後場手振

▲大新洪柱新田南賣り、田中、吉見、有田、定岡閔買八百五十枚

後場歩み

▲大新 八一、四〇 九〇 三〇 三〇 二〇 五〇 八〇 三〇 九〇 四〇 二、九〇 三、〇〇 六〇（大引）

大阪長期取引

銘柄	二十日前場寄付	前場大引	十九日後場大引	二十日後場寄付
大株	九九・九〇	九九・八〇	九八・七〇	九八・〇〇
同新	八一・五〇	八一・六〇	八〇・〇〇	八三・六〇
郵船	八四・六〇	八四・四〇	八五・一〇	八五・〇〇
商船	二八・五〇	二八・五〇	二八・三〇	二八・三〇
同新	四三・二〇	四三・二〇	…	…
鐘紡	一一・五〇	一一・〇〇	…	…
同新	二八・〇〇	二八・〇〇	二八・五〇	二八・五〇
東紡	二六・九〇	二六・二〇	二六・〇〇	二六・一〇
日紡	一二・二〇	一二・二〇	一二・〇〇	一二・一〇
	九九・一〇	九九・〇〇	九八・六〇	九八・七〇

大阪短期取引

銘柄	二十日前場寄付	大引	後場寄付	大引
大新	八一・六〇	八一・〇〇	八二・二〇	八二・七〇
鐘新	二七・八〇	二七・九〇	二七・六〇	二七・七〇

安東株式

	寄付	大引
○十九日後場 安取（當）	一五・九〇	一六・一〇
同（先）	一五・七〇	一六・〇〇
○二十日前場 安取（當）	一六・二〇	一六・三〇
同（先）	一五・八〇	一五・九〇

鎭平銀

	寄付	大引
○十九日後場 當限	一・二四九	一・二五四
先限	一・二六一	一・二六四
○二十日前場 當限	一・二五八	一・二五三
先限	一・二六五	一・二六三

米況（二十日）

仁川期米 前場一息

今朝天候晴天大阪寄三十四圓五十一錢と前日の止値より十九丁安を入れ當出來ず中强氣の斷引買ひに二十八圓五十錢と皮肉高を演じたるも先買氣添はず二十八圓二十錢と二十丁安に寄付
▲第二節　當中出來ず大阪二節七十九錢の高移りに先四十五錢に始

現株中値出來値（二十日）

銘柄		前場 當限	前場 先限	後場 當限	後場 先限
京取	寄	三六・五〇	三六・五〇	三七・三〇	三六・九〇
	引	三七・八〇	三七・三〇	三七・三〇	三六・九〇
仁取	寄	九九・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	三四・八〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
鮮銀	寄	一八・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
殖銀	寄	四四・八〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	三一・〇〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
實銀	寄	二一・四〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
商銀	寄	四〇・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	三七・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
漢銀	寄	三七・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
韓銀	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
東拓	寄	二五・〇〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
鮮土	寄	三二・〇〇	…	…	…
	引	三五・五〇	…	…	…
朝紡	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
滿毛	寄	四・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
京電	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	一四・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
電興	寄	二五・三〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
釜産	寄	一八・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
朝郵	寄	二〇・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
朝鐵	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
京南	寄	九・〇〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
金剛	寄	一三・九〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
滿鐵	寄	一〇五・〇〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	三五・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
東亞	寄	九・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	一・六〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
取勸	寄	四・六〇	…	四・七〇	…
	引	…	…	…	…
信託	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
朝信	寄	六・〇〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
穀信	寄	六・九〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
滿取	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
奉信	寄	三・〇〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
安取	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
大新	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…

短期取引

銘柄		寄付	大引	高値	安値
大新	前	八一・九〇	八二・六〇	八二・〇〇	八一・五〇
	後	八一・四〇	八二・六〇	八三・〇〇	八一・四〇
仁取	前	九九・五〇	一〇一・〇〇	一〇一・〇〇	九九・五〇
	後	…	…	…	…
同新	前	三四・六〇	三四・八〇	三四・六〇	三四・三〇
	後	三五・〇〇	三四・七〇	…	…
朝紡	前	…	…	…	…
	後	…	…	…	…
拓新	前	…	…	…	…
	後	…	…	…	…
滿取	前	…	…	…	…
	後	…	…	…	…
安取	前	一六・七〇	一六・九〇	一七・〇〇	一六・七〇
	後	一六・六〇	…	…	…

七千圓減少▲貸付金一萬六百三十二萬九千圓前月に比し八萬七千圓減少した其理由は貸出し手控へと一般事業縮少の爲めである

客月魚市場賣上高

京城魚市場の十月分賣上高を聞くに左の如くである
京城魚市場＝取扱數量三萬六千■■■賣上金高■■■
■山水産會社＝取扱數量一萬六千六百十五貫、賣上金高三萬一千四百十圓五十錢▲仁川水産會社＝取扱數量一萬四千五百二十貫、賣上金高一萬八千八百七十四圓

■■局取扱に係る十一月一日より同廿八日迄の四週間に於ける通常郵便物數は■■三十萬四千六百十二通にて■■達八十五萬九千一通にして昨年同

仁川正米

不良にて現物の出廻り薄に依るものなるが然し此の調査外に於ける數量の入荷を加算すると相當の額に達するであらうとの事である

賣買差引殘

	賣方	買方
㊀	五四〇〇	五二〇〇
㊁	二八〇〇	一八〇〇
㊂	三〇〇〇	二二〇〇
丸大	一四〇〇	六〇〇〇
丸タ	二〇〇〇	四〇〇〇
㊃	一〇〇〇	四〇〇〇
㊄	…	三〇〇〇
金釜	…	三〇〇〇

二十日前場

節	前場	後場
寄付	二八・二〇	二八・二〇
止値	二八・三〇	二八・五五
高値	二八・四五	二八・八〇
安値	二八・一〇	二八・一〇
○前場公定値		後場公定値
一節	二八・二〇	二八・二〇
二節	二八・三〇	二八・五五
三節	二八・一九	二八・六七
四節	二八・一二	二八・六五
五節	二八・一二	二八・六二
六節	二八・一八	二八・五五
七節		二八・五五

	當限	中限	先限
値段	二八・二五	二八・八二	
取組高	五千八百石	二萬〇三百石	
出來高	十三萬八千九百石		
累計	三七四五〇〇石		

仁川 鳥居仲買店 電話六六三八番

後場又復沸騰

▲第一節　當中出來ず先二十八圓二十錢と十丁安に寄付
▲第二節　當中出來ず先十六錢より十■と押したるも大阪五圓臺の新高値に見るく七十五錢と沸騰し六十五錢と強硬に引
▲第三節　當中出來ず中九十錢先八十錢より六十三錢と押し先五錢引
▲第四節　當中出來ず先七十錢より二錢と綿りしも五十錢と反落して引
▲第五節　當中出來ず先七十錢よ

夕 仲買店

仁川米豆取引所 仲買人

買方骨拔か

熱心強氣の㊁筋は昨夜坂㊃に還せし買玉五千石も自店に附替へ利喰ひを行ひ今朝寄りは傍觀の態度であつた尚㊂太を中心とせる主力筋は既報の如く寧ろ吹値買りに方針を替へた目下注目すべき買方は㊇を中心とせる強氣一派なるが之れは或有力な鮮人筋が利乘せに買進み居る力武筋は軟化した樣にも傳へられて居るのであつて其處を根據として居る等昨今の仕手關係から云ふと買方は骨拔きと云ふ狀態である

沿線刈入模樣

新米出廻り遲れは天候不良が原因なるも又た暖氣持續の爲め賣りの騰勢を期する爲め態と刈入れを遲延せしめたる事も一因なるが如し今沿線地方の收穫模樣を聞くに昨今全北約九割全南五割の刈入れにて江景方面は略ぼ完了し現在野外乾燥中で大田附近は刈殘り五分位であるから出廻りの盛期は十二月中旬前後となるべき見込みで本年は新米の移出先約案外多き模樣なれば眼先多少出廻りの增加を見るとも傍らより之等の手當と各集散地の潤米に消化せられて尚當分在米の餘裕は見られめであらうと

山田一派肩代

昨今朝鮮の各地に亘つて手當米の買附中と傳へられて居る阪地賣方主力の神戸山田一派は今朝三木の賣玉五萬石を肩代りして飽迄買方に對抗すべく其態度は却々侮り難い處があると

農家の態度一つ

天候不良のため農家の收穫が遲れ從つて籾摺りが遲れて居るのも事實であるが値頃から賣惜んで居るのも事實である然し年末を控へて農家も種々なる方面に決濟資金の必要を感じて來る事も確かであるから今後農家が如何なる態度に出るかは一般に注目を拂はれて居る處で若し買方の理想通り内地作柄不良から農家が明年は吃度高いとふ自信を有つて依然賣惜むとせば農家の懷ろを引當てに先賣りして居るを得ない譯だが然し金融業者が土地其他不動產物に對する固定資金の貸出し嚴拔に農家の金融逼迫は例年より著しい樣でもあり若し諦めをつけて手近の米を年末にかけ一巡賣出して來れば商人の思惑資金に困難の折柄其の米の消化力は頗る疑はしいもかあるそうなると勢い 定期にでも賣繫いて金融の道をつけるより仕方がなく從つて賣方には賣米の可能性が多くなり其處で始めて買方をして自暴自棄に陷らしめるのではなからうか何れにせよ效許全くの勝敗に付ては農家の態度如何が注目の焦點であらうと說く向もあつた

米界餘聞

此頃の時候は一雨毎に寒くなるのが每年の例であるのに今年は反對に暖かくて櫻の花でも咲きそうである▲櫻の花と云へば大正七年の多であつたと思ふ今年の樣に暖くて東鄕旅館の庭に櫻の花が吹いた事がある其年は内地の凶作で米山時代も歷四百餘萬石の大相場を出現し五千はずと上るは上るは十二月の末には阪地がとうく三十八圓臺に喰き上げて大納會を告げた▲して見ると今年の作柄模樣と云ひ亦時候の加減と云ひ丁度大正七年度に酷似した處があるので今一段高い處に噴出す の が本當かも知れない▲殊に本年の如く内地が凶作で金廻りの惡い年柄には商人の產地買出しが思ふ通りに行かず各集散市場は常に在米薄のため相場を上げたくても容易に下げられない例も多いから賣方もとしても迂かり油斷の出來ない年柄である

京城穀物

正米現物

天候不良から弗々籾摺りの出廻り增加し始めたる折柄丈け高に各地正米の割高や連日の期米高移りも地摺正米には感じ薄きのみか地摺玄米の賣物潤澤に連れて氣配は却つて軟調を帶び角チ四等小口物二十八圓五六十錢處の賣驛なるも買人は二三十錢より進まず地摺玄米は神力二十五圓八十錢前後を唱へられ前日に比し一二十錢安の見當である

大豆

現物は品ガスレの折柄弗々ながら買望みありて又た或種の物は期日切迫の急ぎ買や積合せ物の買進みもあり人氣強硬を呈し天安直積十五圓五十錢京元線直積十六圓六十錢迄見送りの狀態にて京元線來月渡し十五圓四十錢にて後場人氣は一般に先物は強含みとあるが先物は二十錢へ金汗來月渡し十五圓十錢に出來跡二十錢處の賣物あるらしきも唯々しき望人少なき模樣である然し手持筋は先

豊仲買店

仁川米豆取引所仲買人 電話長■■

仁川在庫米

仁川穀物協會が調査せし十九日迄の仁川在庫數は合格品二千三百五十九石地摺玄米五千四百十八石にして前週に比し僅か四百四十八石の增加に過ぎない之れは要する天候

仁川正米

九キ四等二十九圓地摺玄米二十六圓二十錢籾神力八錢より上物八錢に崩れ良■付に■の出廻りの鏡である

釜山正米

一圓在來種七錢七厘大豆龍山十六圓二十錢白川十六圓見當なるも品薄の爲め商内不進捗である

群山正米

現物殿良都三十圓十錢神力二十九圓四十錢十一月末限二十九圓二十錢より〇五錢十二月末限二十九圓より〇五錢一月中限二十九圓十錢より十三錢出來高六千石

大邱正米

現物三十圓二十錢十二月末限二十九圓より十錢一月中限二十九圓〇五錢より二十三錢出來高二萬五百石

現物十二月末限二十八圓六十五錢より六十錢一月中限二十八圓六十二錢より四十五錢出來高一萬七千石

東京期米

	二十日前場	二十日後場
寄	三五・七九	三〇・三〇
先	九七	二九
二節	九九	一五
三節 止	…	五一
四節	…	…
五節	六・二〇	…
六節	…	…

大阪期米

節	二十日前場	二十日後場
當寄	三四・二四	三五・一六
中 止め	三四・七八	三五・一〇
中 寄	三四・三〇	三五・二九
止め	三四・六〇	三四・九〇
先 寄	三四・五一	三五・〇五
止	七九	五・〇〇
二節	六一	四・九五
三節	五六	五・〇九
四節	五九	五・〇〇
五節	五八	四・八五
六節	五九	…
七節	…	…

兵庫期米

節	
三節	六一
四節	五六
五節	五九
六節	五八
七節	五九
八節	六二
九節	五八
十節	五八

下關期米

	二十日前場	二十日後場
寄付	三三・〇九	三三・八九
止め	三三・二〇	三三・二九

桑名期米

	二十日前場		二十日後場	
	寄付	止め	寄付	止め
當限	…	…	…	…
中限	…	…	…	…
先限	三三・九八	三三・一〇	三三・九九	…

大阪三品

	二十日前場	二十日後場
寄付	三五・一一	三五・二三
止め	三五・〇三	三五・五五

限月	二十日前場寄付	前場大引
十一月限	二三四・七〇	二三三・五〇
十二月限	二三三・五〇	二三三・八〇
一月限	二三三・五〇	二三三・八〇
二月限	二三三・五〇	二三二・八〇
三月限	二三四・五〇	二三三・五〇
四月限	二三四・五〇	二三二・〇〇
五月限	二三五・〇〇	二三二・五〇

限月	○二十日後場寄付	後場大引
十一月限	二三四・三〇	二三三・〇〇
十二月限	二三四・四〇	二三三・八〇
一月限	二三五・〇〇	二三四・〇〇
二月限	二三五・〇〇	二三三・五〇
三月限	二三五・八〇	二三三・五〇
四月限	二三六・一〇	二三三・五〇
五月限	二三五・五〇	二三二・五〇

公設市場小賣値（二十日）

品名	品位	價格
漬大根	内地 上十〆	三、五〇
同	並同	三、二五
支那白菜	上同	二、五〇
同	並同	二、〇〇
朝鮮白菜	上百株	七、〇〇
同	並同	四、五〇
同	下同	三、〇〇
朝鮮大根	上百本	五、五〇
同	下同	二、〇〇
聖護院大根（一本三百匁位）		六〇

石油暖爐並に料理用石油ストーブ値下

又々寒い冬が參りました
ストーブの御準備は如何
社會奉仕の爲め石油暖爐
並に料理用石油ストーブ
の賣値を引下げました、
御買求めを願ひます

御申込次第目錄進呈

値下げ

値下げ

京城　釜山　仁川　平壤　元山
木浦　群山　鎭南浦　安州　新義州

紐育スタンダード石油會社

通俗太閤記

松林伯知講演　加藤由太郎速記

三百一回

[illegible]燈火の如く、今は強右衛門も[illegible]すには[illegible]されず『ソレ敵の[illegible]を逃がすな、搦め取つて敵營に引かれ』と十重二十重に取圍んで來た、是非なく強右衛門五六の兵を其場に斬倒しましたが稲麻竹葦と取巻いて來た、どうしても逃るゝことは出來ませぬ、と云つて今自分が斷死すれば一大事を城中に告ぐるに由なく、アア困つたことになつたと太刀を振上げて思案に暮れた、劇場でいたすと鳥居強右衛門は亡くなつた市川左團次の役廻り、今の役者で申ますと八百藏か幸四郎でございませう、却々勇ましい面白い幕でありますが、

寫眞　京城旭町一丁目　河原寫眞館　電話本局二九八一番

講談師は大薩摩も下座も役者も鳴物も一人で受持つのですから芝居程引立ちませぬが、其處は御勘辨を願ひます、偖て鳥居強右衛門は斬り死いたすは易きことなれど、夫れでは城内へ援軍の來ることを知らせる者がない、若し短氣なことでもされた日には成らぬと思ひますから、爰は一度生捕りになつて能く考へて見たらばまた好い手段もあらうと存じましたに由つて振上げた太刀を大地にポーンと投げて手を後へ廻しました、ソレッと云ふので河原彌太郎が飛込んで縄を掛け、大勢してこれを穴山梅雪の陣所へ引來り斯く〳〵と云ふ、梅雪大いに喜んで早速強右衛門を傍近くに呼出し見ると筋骨逞しく威風自から備はり雑兵原の類とは見えませぬ、梅『コリヤ其方は何れの陣の者だ』強『左れば某をか隠さん、今長篠城中に籠城せる奥平九八郎定昌の臣鳥居強右衛門と云ふ者なり、甲州の寄手優勢にして迚も勝算なきを以て竊かに城内を忍び出で岡崎表に至り援兵を乞ふての歸り途、運拙くして斯る有様』梅『左様か、シテ織田勢は出陣いたすと申せしか』強『總軍十萬に近き大軍を以て岡崎表に屯同をなせり、甲州勢の粉微塵となつて敗走するも近きにあらん拙者の申すことは是までなり』と跡は一言も申しませぬ、梅『運は容易ならぬ事なり』とあつて強右衛門には手當をして置いて、梅雪は直様武田勝頼公の御前へ出て斯く〳〵と申上げた、委細をお聞き遊ばした武田勝頼、先づ其強右衛門なる者をこれへ引けとある、大將の上意なれば鳥居は勝頼の御前へ引出されました、勝『其方が鳥居強右衛門と申すか……』強『左ればでござる』勝『只今穴山梅雪より委細の儀は承はつたが、城中の兵士數少く落城旦夕に迫り居るに、加勢を乞ふたればとて助かるべきものにあらず、如何に』強『去れば、長篠城中の兵は數少しと雖も一粒選りの精兵にて、且つ死を惜まず城を守り居れば甲州勢如何に攻むると雖も容易には落城は致さず、唯城中兵糧乏しくこれを以て一日も早く戰ひを決したく岡崎表に援兵を乞ひ、最早織田勢は牛久保まで、續いて家康公の軍勢も打立つべく、某は速かに首を刎ねて賜はるべし』勝『憎き武士なり』と仰せあつて、既に一條右衛門太夫信龍を招き鳥居を預け、頼『天晴の勇士なり、其方に預くるに由つて斯く〳〵取計らはるゝやうに』信『委細心得ましてござる』と一條信龍は強右衛門を引連れて陣所に至り、先づ戒めの縄を解き信『扨て強右衛門とやら其方は天晴の勇士なり、大將深く其方を惜ませ玉ふに由つて當陣へ招き[illegible]武田家へ臣事いださせては如何、長篠城中に立歸りなば籠城の中に討死の外はあるべからず、武士は渡り物といふことがある、奥平が當てがはれたる食祿の十倍を宛行ふに由つて心を改めて御當家に忠義を勵まれるやうに……』強右衛門考へた、爰で不の字を云へば首を斬られて了ふ、一つ欺いて呉れやうと考へた。

衛生ハム入　ハムパン　一包十錢　明治町　木村屋

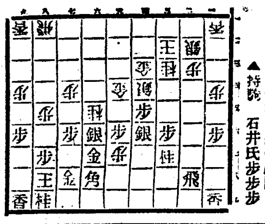
名菓　松の雪　資生堂製菓　明治屋　發賣元

修養團支部協議

修養團光州支部では十五日午後三時より道廳會議室で左の諸件を協議した(光州)
一、幹事會開催の件二、基本金造成の件三、事務所設立の件四、各地方と連絡を取る事五、一夜講習會の件

將棋新手合(五)

於仙台市東一番丁輝呂木將棋所　飯塚五段歡迎會席上
▲五段　飯塚勘一郎(東京)
角落▲三段　石井萬之助(青森)
圖は前號指了迄の局面
▲持駒　石井氏歩歩歩



▽持駒　飯塚氏歩歩

△五三銀▲三四歩△同金▲三五歩△二四金▲同飛△同歩▲五五歩△六四金▲四四歩△同銀▲三四金△四三歩▲五七銀右△同桂ナル▲同角△六五歩▲四五歩(以下次號)

X光線の治病効果

Xが光線感覺も無く眼にも見ない患部は病巣へ適當に潜入せしむると忽ち其獨特の作用を起して色々の病菌や病的細胞等を破壊して治病上偉効を表して來ます然し若し其線の波長が病巣の深さに相當せぬ場合にはX線は病巣以外に吸收されて全く無効と成るものですから技術の熟練に依て始めて偉効が表はれるので有ます

◇最も良い適應症は

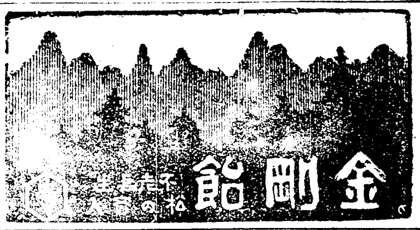
るいれき。わきが。癩ね。肋膜炎。腹膜炎。にきび。水蟲。頑固な皮膚病。癜腫。肉腫。抔等ですから是等に困つて居る方は我社の物理療法へ來られん事をお勧め致し升

京城日報社代理部内　電話光化門四〇〇　六二三

十一月廿二日

(舊曆十月十四日)　▲七赤　▲暗劍西方　▲水木　▲己亥　▲大安　▲建　▲井宿

▼七赤▲油斷のならぬ日萬事を見合せ自重して安全●南と乾と艮が吉
▼八白▲何事もすら〳〵と片付く順調の日●新計畫上首尾●南と壬が吉
▼九紫▲何かと口説の多い日●他人の世話事禁物●北と坤と南と乾が吉
▼一白▲元氣發剌向上發展の日●開店披露大口の商取引有利●巽が吉
▼二黒▲諸事面白く捗る●縁談●求職●就任其他何事にも大吉●巽と乾が吉
▼三碧▲努して變なき日●内輪に行りて安全●盗難注意●艮と坤が吉
▼四緑▲有利益な問題を持ち込まる●[illegible]日●有利●北と壬と癸が吉
▼五黄▲[illegible]願望の叶ふ好運の日●大いに進んで成功する●乾と南と南が吉
▼六白▲穏かな日●入學●求職●建築●開業●又は名弘に[illegible]へ向き●南と艮が吉



足袋は福助

ゼニワ香油
ゼニワポマード
ゼニワ洗顔クリーム
ゼニワ石鹸
お迷ひなく是非御使ひ遊ば

私はこんなに美しくなりました

品質本位　一點張
釀造石數　鮮滿第一
キッコーリウ
最上醬油
御用　第一等
釀造元　仁川港　日本醬油株式會社

內科、小兒科　仁川仲町　高木醫院　電話七一九番

御料理　安東縣　由良之助　電話二五九　五九二番

御料理　安東縣　太陽樓　電話七三番

◎入荷御案内
㊟臺灣總督府專賣局
臺灣特等原鹽入荷仕候
多少ニ不拘御用命御願申上候
見本御申込次第送呈
釜山府南濱町一丁目　許斐商店鹽業部　電話長四一一番
仁川府本町一丁目　許斐仁川出張所　電話一、〇二七番

りん病　ばい毒　請合藥
定價　別製八圓　特製四圓　並製三圓
定價　別製四圓　特製三圓　並製二圓
百圓進呈
本劑りん病藥の主藥は治淋劑こして、ばい毒藥の主藥は駆梅内服藥こして世界實藥界上第一有効こ確認せられつゝあり且内務省衞生試驗所が檢査封緘せる高貴藥を配劑せること帝國醫科大學病院等に於て賣揚配劑せられ認せられるここを保證す若し分析の結果前述の證言に違へる事を發見せる時は分析料こして金百圓を進呈す。
◎あらゆる治療法を講ずるも効なき患者は兎に角最後の手段として當商會に來れ。
◎花柳病病理模型は全國及び海外に設置の專賣所店頭に陳列しあるを以て參考の爲一見せられたし。
◎本劑は請合藥に付き他の藥店に販賣を許さず故に入用の諸君は下記專賣所へ直接申込あれ。
發賣元
關西・大阪三休橋北詰　電話船場一六一四番二三四番
關東・東京日本橋通四　電話本局一〇七七番三三八四番
有田ドラッグ專賣所
朝鮮　京城　南大門外　黃金町　鐘路四　龍山練兵町
仁川宮町二　大田春日町一　群山東栄町　全州高砂町　木浦栄町　光洲本町　麗水町　大邱弓町　甘浦港町　釜山辨天町　馬山京町三　慶南統營面　兼二浦本町　平壤郵便局前　鎭南浦三和町　新義州常盤町　元山本町二　咸興本町二　羅南生駒町
にせドラッグにお氣をつけ有田ドラッグ

京城日報

（朝夕刊合せて十頁）
本紙定價　每號金參錢▲一ケ月金一圓▲參ケ月同前金二圓九十錢▲六ケ月同前五圓六十錢
廣告料　五號活字每行一圓▲二號同前特別▲四號活字詰同前
發行兼編輯人　泥谷良次郎
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話光化門（長）五〇〇番　振替京城三〇〇番

朝鮮最古の木造建築（四）

關野貞氏語る

師の記錄に依ると、元の順帝の十七年至正戊戌の年に敵兵之れを燒き、洪武九年に再興したと書いてあるのですが。之には倭火……倭賊の爲に倭寇の爲に燒かれたが洪武九年に新に作つたと云ふのです。兩方とも同じ意味ではありますけれども、字句が敵火堂を燒くと一方にあり、一方は倭寇之れを燒くとなつて居る。さうして洪武九年に燒けたのを改造したが、萬曆三十九年に自ら頹木が折れたので修繕のために、翌年工事を初めてさうして更に癸丑の年八月を以て畢つた、夫れは萬曆四十一年に當るのです。そして其あきに大施主の名前、大工、石工、瓦屋等の名が揭げてあります。彼と之れとは大體同じ時に書いたものでありますが、之れに依ると無量壽殿は至正年間に倭寇の爲めに燒かれ、洪武九年に再建されたことになるのです。洪武九年は日本の南北朝の天授二年、今から五百四十年程前になります。

若し此の記錄が確なものとしますれば無量壽殿は高麗の恭愍王の二年に當りますので末期の建築となるわけです。そして之に依つて高麗時代の建築と云ふものゝ樣式が確になるのであります。併し此の洪武九年の再興と云ふことには、少し疑ひがあるのです。夫れは後でお話申上げますが、次に無量壽殿を修繕されました際に、又墨書が現はれました。之は祖師堂の前の壁の下に書いたものであつて、祖師堂を建てるに付いての由來を書いて居りまして、何時燒けたとも書いてない、そしてお了ひに『宣光七年丁巳五月初二日立柱』と書き、其次ぎに大施主や寺の坊さんの名前が列記してあるのであります。宣光七年は北元の年號である。元の至正二十八年に元は明の太祖の爲めに亡ぼされましたが、夫れは恭愍王の十七年に當るのです。朝鮮では其翌年の至正十八年の五月の年號を止めました。夫れは元の至正の年號を用ひて居りましたけれども、元が明に亡ぼされましたからそこで至正の年號を用ひることを止めて、七月に至つて初めて明の洪武の年號を用ひたのであります。然るに元が明に亡ぼされましたけれども、更に其一族が北に於て國を建てまして、之を北元と稱したのであります。そして宣光と云ふ年號を用ひたのであります。そこで其後丁度洪武十年即ち僞主辛禑の三年に當りますが、其三月に初めて宣光の年號を用ひたので、丁度洪武二年に初めて洪武の年號を用ひ、十年三月に至つて洪武の年號をやめて又北元の宣光の年號を用ひまして、翌年即ち僞主辛禑の四年の八月に至つて、洪武の年號を再び用ひたのであります。さうすれば宣光は僞主辛禑の三年の三月から四年の八月まで、丁度一年半許り用ひた年號で、之が僞主辛禑の宣光七年丁巳と云ふのは、七年は間違で丁巳は宣光の九年に當り、七年は九年の誤りであると思ふのです。更に宣光九年五月は、辛禑の三年五月に當り、二箇月後になり丁度歷史上の事實に合致する。宣光九年は洪武十年に當るのであつて、即ち萬曆四十年の無量壽殿の記錄に依れば、洪武九年に之れを再興して居る。夫れから此祖師堂は翌年の洪武十年（宣光九年）に柱を立て工事をやつたと云ふのでありますから事實此記錄……無量壽殿の記錄が確かだとすれば、矢張倭寇の爲に皆燒かれ、さうして本堂と共に祖師堂が再興されたものと考へられるのであります。然るにまた祖師堂の中の間の下桁の下に此處に揭げた記錄があるのです。之に據れば、祖師堂重創記とありまして大施主や坊さんの名やずつと名前を列記しまして、終りに弘治三年庚戌今から四百三十年程前になりますが宣光九年から十四年程後れて居るのです。

藝術の變遷と俳句（三）

河東碧梧桐氏講演

以上の如くワグナーの樂譜は謠にでも奏し得ると同一に、五七五調もそれに似て之も謠にでも唄ひ得るのである。然しながら日本人なれば誰でも唄ひ得るとして、サテ其七五調の歌ひ所を唄ひ得る人が果して何人あるであらうか。單なる言葉で五七五調に當て篏めて何の價値があらふか。これは詰まりワグナーの眞似と同一ではあるまいか。即ち形式的に單なる言葉から五七五調は美しいと云ふ考へ方は全く誤りであらねばならぬ。之を極論すると七五調を踏襲して俳句の形に捉はれて居る人と、我々の如く七五調を破壞したものとは孰れが眞に七五調を尊重して居るかを考へて貰はねばならぬ。例へばここに『今朝花が咲いた』……と云ふ言葉があるとして、それが何等內容のないつまらぬものとすれば、これを五七五にして見た所が何の價値があらうか。して見ると內容が問題で、今一つ藝術とは何ぞや、詩とは何ぞやと云ふ事を考へて貰へば、單にそれが五七五と並べて見た所が何等の價値のあるものではなく、即ち詩とか藝術とか云ふものは、單なる形だけで決定されると云ふ事は絕體に不可であると云ふ事を肯定しむるものと信ずる。從つて私は俳句が藝術である以上其人の全生活を打込んだ眞劍な自己表現でなくてはならぬと思ふ。最も簡單に云へばこれだけの話しである。亦之れを譬喩に見るなれば赤ン坊が火のつく樣に泣く場合があるが、赤ン坊は其時自己を表現する爲めには全身の力を集めて泣いて居る。それは私は立派な藝術であり詩であると思ふ。更に圍碁や將棋も良く遊戲に行はれて居るが、それを生命とする場合には一石にも全生命を打ち込むものである。これは德川時代の話しであるが、某、碁客は憐み續けた揚句最後の一石を打つて其碁盤上に氣絕したと云ふ話がある。其一つの石は今も碁界では最も尊い石とされて居るとの事であるが、吾等も其一石を打ち込む全生命は詩であり藝術である。吾等は何れも階級の場合であるが、然し俳句藝術に於いても詩は國語を通し調は色を通さねばならぬことは同一である。然し苟くも詩であり藝術であると云ふ事になると、階級の場合と同一其處に全身を打ち込んだ自己表現でなくてはならぬ。從つてそれがその刹那に於て五七五に合致しようが合致すまいが、それは全然問題にはいらないのである。俳句が藝術であり詩である以上斯ふした立場を脫して決して私は俳句はないと信ずる（未完）

種の話

◇日本の墨汁を使ふ米人　米國ワシントン州の一日本人が先年米人某と土地契約をするに當りインキで書くと何年かの後に消える虞れがあるとて日本人が平素使つてゐる墨汁を使用した所が動機となり心ある米人は重要書類の署名等に日本の墨汁を使用する者が大分增加して來たさうである。

◇猛獸狩に前科者　英領印度には恐ろしい猛獸が多數棲息して居り從つて猛獸狩りを職業とせる者も可成り多いのであるが、カルカタ市の統計家が在印度の猛獸狩及び親類關係につき調査した處に依ると彼等の中には前科者が多い事で中にも傷害罪及び殺人未遂罪を犯した者が多いのに一驚を喫したと

◇極めて小さい字引　今回米國シカゴで出版せられた米國中等學校の生徒用の字引は長が僅一インチで幅が一インチの八分の六平、使用活字は隨分細かいのを使用して居るが携帶に便なのと試驗の場合教室內で盜み讀みするのに都合がよいので相當の賣れ行きであるがこんな小さい字引は餘あるまい。

新年文藝を募る

短歌賞　歌題『曉』　尾上柴舟先生選
▲天位選者肉筆色紙▲地位同上▲人位同上

俳句賞　句題『櫟』　內藤鳴雪先生選
▲天位選者肉筆色紙▲地位同上▲人位同上

川柳賞　柳題『玉』　井上劍花坊先生選
▲天位選者肉筆色紙▲地位同上▲人位同上

情歌賞　歌題『髮』　本社編輯局選
▲天位五圓▲地位三圓▲人位二圓

締切　十二月十日

注意　一人一題三句以內▲用紙は葉書▲住所姓名雅號明記の上『京城日報社編輯局新年文藝係』宛

スフィンクスの下に立ちて（五）

アレキサンドリヤへのニレデー

守屋榮夫

退屈をまぎらさうとして再び甲板へ出てみると、船客が集まつて妙齡の二婦人を中心に高笑をして居る。とそれは此處からいよいよ船に別れやうとするアレキサンドリア駐在日本綿花社員の二夫人を捉へて口の惡い連中が盛んにからかつて居るのであつた。兩夫人は夫君の出迎ひをうけて本日アレキサンドリアへむかふ筈であつた。そして吾等が檢疫などに暇取つて居る際に、其夫君と吾等の案內者たる横田君とをのせた船が香取丸の下に來て、熱心に上船を求めた相であつたが、無情な埃及の官吏が檢疫が濟まないのを理由に取つてこれを許さないので、止むを得ず二組の夫妻が言葉をかはすことも出來ず握手もせずして、只打振るハンケチに無限の意味を含まして別れたといふことであつた。それを傍に見て居つたといふ口さがない連中が、兩夫人を分毒舌を揮つてひやかすので、兩夫人もいさゝか閉口の氣味であつた。かゝる間に時は用捨なく經つて六時も過ぎたこんなことでは果して七時スエズを發する汽車に間に合ふであらうかと氣遣はれた。何故なれば夜が明けて見ると、港にすぐ近い所に碇泊して居ると思ふたのは大なる間違ひで、船はスエズの港から一哩半も沖にかゝつて居ることが明かになつたからである。六時半ちよつと前に辛うじて横田君のモーターボートが來た。港務課の認可を得る爲にかけ廻つたのだ相な。一同急いて船に乘る。いづこにあるか判然しないが、東の方であれば定めし亞剌比亞の嶺頭であらう今し旭が昇つた。只見渡す限り薄赤い大圓盤が脆い霧の上に揭げられたかのやう、燦然たる旭日といはむよりはむしろ光り薄き朗月が出たといつた風であつた。スエズの波止場に著くと矢張り檢疫、稅關檢察などがうるさかつたが、横田君のすゝめた藥ぐすりのきゝめか無茶苦茶に簡單に通過されて與れた。そしてやつとこさでカイロ行きの汽車に間に合ふことが出來、一同胸をなでおろした。

當選御禮
大正十二年十一月廿日
平壤府協議員
黃錫煥
鮮干鎬

當選御禮
今般平壤府協議會員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く感謝仕り候此段乍略儀紙上を以て御禮申上候
大正十二年十一月廿日
松尾六郎

當選御禮
平壤府協議員
內田錄雄

當選御禮
今般平壤府協議會員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く感謝仕り候此段乍略儀紙上を以て御禮申上候
大正十二年十一月廿日
辰巳彥三郎

當選御禮
今般平壤府協議會員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く感謝仕り候此段乍略儀紙上を以て御禮申上候
大正十二年十一月廿日
奧田英一郎

當選御禮
今般平壤府協議會員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く感謝仕り候此段乍略儀紙上を以て御禮申上候
大正十二年十一月廿日
瀧本理

當選御禮
今般平壤府協議會員選擧に當り首尾能く當選の榮を得たるは有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く感謝仕り候此段乍略儀紙上を以て御禮申上候
大正十二年十一月廿日
丸山理平

當選御禮
今回鎭南浦府協議員選擧に際し當選の榮を得たるは偏に各位の深堪たる御同情の賜と感謝仕り候茲に不取敢以紙上御禮申上候
次第不同
中田紋三郎　重技大索　野田良二　柳原龜一　立川六郎　服部角二　伊丹儀平　府中喜一郎　林炳日　金熙善　張瑞奎　馬載坤　李昌燮　金洙衡

當選御禮
今回元山府協議會議員選擧に際し當選の榮を得候段偏に有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く奉感謝候右乍略儀以紙上御禮申上候
大正十二年十一月
杉野多市

當選御禮
今回元山府協議會議員選擧に際し當選の榮を得候段偏に有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く奉感謝候右乍略儀以紙上御禮申上候
大正十二年十一月
鳥居千三郎

當選御禮
今回元山府協議會議員選擧に際し當選の榮を得候段偏に有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く奉感謝候右乍略儀以紙上御禮申上候
大正十二年十一月
本岡卯之吉

當選御禮
今回元山府協議會議員選擧に際し當選の榮を得候段偏に有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く奉感謝候右乍略儀以紙上御禮申上候
大正十二年十一月
平松龜太郎

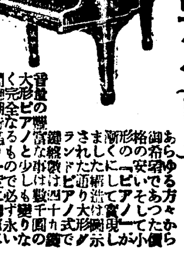
當選御禮
今回元山府協議會議員選擧に際し當選の榮を得候段偏に有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く奉感謝候右乍略儀以紙上御禮申上候
大正十二年十一月
新谷新七

當選御禮
今回元山府協議會議員選擧に際し當選の榮を得候段偏に有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く奉感謝候右乍略儀以紙上御禮申上候
大正十二年十一月
岩男百造

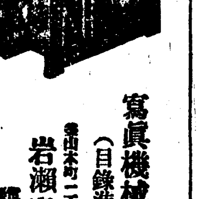
當選御禮
今回元山府協議會議員選擧に際し當選の榮を得候段偏に有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く奉感謝候右乍略儀以紙上御禮申上候
大正十二年十一月
岩中半六

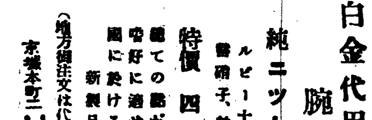
當選御禮
今回元山府協議會議員選擧に際し當選の榮を得候段偏に有權者各位の深甚なる御同情の賜と深く奉感謝候右乍略儀以紙上御禮申上候
大正十二年十一月
小島守治

創業十周年の爲め說明書請求者全部へ特價及紀念品無代贈呈
刷新　製繩機
大阪天王寺　帝國商社　營業案內進呈
全國到る處毎年農會の指定御用を蒙る　特約店募集

世界的大發明　小形ピアノ（勝山正俊）

あらゆる方々から御希望であつた價格の安い小形の「ピアノ」が漸く出現しました[illegible]鍵盤數は四十九鍵[illegible]音量の豐富な事は數千圓の大形ピアノと少しも變りなく完全なるもので必ず永い間御期待通り一度に御需要に召すことと存じます。
寸法　高サ二尺五寸　巾二尺五寸三分　重量八貫九百目
價格金百貳拾五圓　荷造費金五圓
（ニセモノ御注意）
◇市内は電話光化門ドレミ番へ
どうか此の一台を學校に御家庭に御愛用賜らむことを!!
於朝鮮樂器界元祖　米國貿易輸入元
京城鍾路大通り（鍾路警察署前）セヤマ樂器店
電話光化門一二三番　振替京城一〇七五六番　私書函京城局四八

東海生命相互保險會社　共同火災保險會社　フンデツウード火災保險會社
代理店
綿布仁川及雜貨
本町四丁目　河野本店


寫眞機械材料（目錄進呈）
京城本町一丁目　岩瀨寫眞機店


白金代用最高級腕卷時計
純ニツケル型無地
ルビー十五石最上機械　曹硝子、飾紐リボン、箱付
特價四拾五圓
總ての點が最も現代の嗜好に適せるスイス本國に於ける新製品です
（地方御注文は代金引替にて送ります）
京城本町二　村木時計店
電話長四七　振替三六九〇

肺病には
新鮮なる空氣と此の藥が必要
一　肺病と云ふものは持久戰です。一擧に病原を撲からうとする無慮、所謂短兵急の戰法は必ず失敗に終ります。
二　肺病患者に特に必要なるは不潔なる空氣を出來る丈け避け、務めて安靜を保ち、滋養食物を執り、煩悶を避け、而して服藥としてホシアンチツベルケンを用ひ給ふべし。
三　之れ以上の肺患治療法はないのであります。
四　潤澤なる資財を擁する富者は高名なる國手の來診を乞ひ或は轉地に或は入院に萬金を惜しまないかも知れませんが、一般人士には殆んど不可能の事であります。
五　ホシアンチツベルケンは東洋第一の我星製藥が最も深き自信の下に賣出せる有名なる肺病藥にして其の効果の如何に顯著なるかは一度び服用し方から聞いて頂きたいのであります。
定價　一圓五十錢　三圓　五圓五十錢
ホシアンチツベルケン
資本金二千萬圓　星製藥株式會社　東京大崎